

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
出口 義信・橘 幸子			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(保健医療学部)	010001L2POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	安全を理解し確保するための基礎知識と手法を身に付けることを目標とする。		
授業の概要	将来医療職に従事する学生が安全に関する基本的素養を身に付けることは必須のことである。本授業では、安全の基本概念、リスク表現と安全目標、ハザードの同定、確率論的安全評価、事故分析、ヒューマンファクター、リスクマネジメント、リスクコミュニケーション、安全規制、安全システム、安全文化について教授する。		
授業計画	第1回	授業の進め方、成績の付け方等についての説明 ・医療現場と危険性、質の担保 (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第2回	安全学の基本概念、 ・前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第3回	事故はなぜ起こるのか、どう防ぐのか、リスク表現と安全目標・前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第4回	ハザードの同定、安全評価 ・前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第5回	事故分析 1 ・前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第6回	事故分析 2 ・前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第7回	ヒューマンファクター、ヒューマンエラーの考え方・分類・心理学・防止対策・前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第8回	リスクマネジメントのプロセス、リスクマネジメントのための組織、技術システムの安全設計・前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第9回	人のリスク認知とリスクコミュニケーション、前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第10回	コミュニケーションエラー、前回の復習と小テスト (担当：橘幸子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第11回	自己紹介・ミスのない医療の大切さ・医療ミスはなくなるならない・知ってほしい医療事 (担当：出口義信) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第12回	医療安全 の基礎知識・医療事故防止活動の経緯・福井総合病院の医療事故防止対策の現状と課題 (担当：出口義信) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)	
	第13回	病院とは・医療の質・医療安全の指標・医療安全に関する政策、法的側面 (担当：出口義信)	

	<p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第14回 事故発生のメカニズム・事故防止対策・KYT・虐待・暴力対応（担当：出口義信） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第15回 医療事故防止のためのコミュニケーション（チームステップス）・チーム医療・これまでのまとめ（担当：出口義信） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>定期試験</p>
テキスト	古田一雄・長崎晋也著：安全学入門、日科技連、2023年出版
参考書・参考資料等	村上陽一郎著：安全学、青土社、2000年出版 ジェームズ・リーズン著、高野研一・佐相邦英訳：組織事故、日科技連、2005年出版 （公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本、株式会社ぎょうせい 篠原一彦：医療のための安全学入門、丸善株式会社、2005年
学生に対する評価	筆記試験 出口義信 30% 橘幸子 70%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
趙 雪梅			
講義	養護教諭対象科目	010002L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	学校と社会、子どもの発達と教育をふまえて学校教師の役割を学ぶ
授業の概要	この授業では以下のことを学び検討する。①歴史的ルーツをたどることによる教育に関するイメージの形成 ②社会変動の中の教育と教育の国際化 ③子どもの発達と教育について、子どもの学びと学校教育について、今の子どもを取り巻く状況 ④その上で、学校・教師（養護教諭も含めて）の役割を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 教育の歴史 西洋 事前学習：図書館で西洋史を調べる。(2時間) 事後学習：プリントやノートを用いて、習得した知識を整理する。(2時間)</p> <p>第2回 教育の歴史 日本 事前学習：図書館で日本史を調べる。(2時間) 事後学習：プリントやノートを用いて、習得した知識を整理する。(2時間)</p> <p>第3回 教育思想の名人からの学び 事前学習：教育思想家について調べる。(2時間) 事後学習：プリントやノートを用いて、習得した知識を整理する。(2時間)</p> <p>第4回 社会変動と教育 事前学習：社会変動について調べる。(2時間) 事後学習：学習内容によって、教育の社会性を深く理解する。(2時間)</p> <p>第5回 教育の国際化 事前学習：国際化の意味について調べる。(2時間) 事後学習：学習内容によって、教育における国際化の重要性を深く理解する。(2時間)</p> <p>第6回 小括と討議 事前学習：これまでの学習内容から興味関心があるところを考える。(2時間) 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。(2時間)</p> <p>第7回 子どもの発達 事前学習：人間形成とは何かを考える。(2時間) 事後学習：学習内容によって、現代社会における子どもの成長を深く理解する。(2時間)</p> <p>第8回 発達と教育と学習 事前学習：特別支援教育について調べる。(2時間) 事後学習：学習内容によって、発達・教育・学習の関連性を深く理解する。(2時間)</p> <p>第9回 教科学習と学力 事前学習：学力の意味を調べる。(2時間) 事後学習：学習内容によって、大学の学習から育成する学力を深く理解する。(2時間)</p> <p>第10回 「教える」と「学び」 効果的な方法 事前学習：「学び」の角度から、教え方を考える。(2時間) 事後学習：学習内容によって、自分らしい方法を整理する。(2時間)</p> <p>第11回 小括と討議 事前学習：これまでの学習内容から興味関心があるところを考える。(2時間) 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。(2時間)</p> <p>第12回 現在の子どもを取り巻く状況 事例研究 その1 事前学習：課題によって、資料を調べる。(2時間) 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。(2時間)</p> <p>第13回 現在の子どもを取り巻く状況 事例研究 その2 事前学習：課題によって、資料を調べる。(2時間) 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。(2時間)</p> <p>第14回 学校・教師（養護教諭も含む）の役割 事前学習：自分の学校時代を思い起こし、学校・教師のことを考える。(2時間) 事後学習：学習内容によって、学校・教師の役割を深く整理する。(2時間)</p> <p>第15回 小括と討議 事前学習：これまでの学習内容から興味関心があるところを考える。(2時間) 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。(2時間)</p>
テキスト	特に定めずその都度資料を提供
参考書・参考資料等	堀尾輝久『教育入門』岩波新書54 安彦忠彦・藤井千春・田中博之『よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房
学生に対する評価	通常のクイズ(40%)とレポート(60%)で評価する 評価基準：教育課程の理解と具体的な展開の理解がなされたかどうか、発表とレポートの内容より評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
趙 雪梅			
講義	養護教諭対象科目	010003L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	教育方法の歴史的展開や動向を理解し、教育実践の位置づけを理解する。グループでの検討を通じて、レポートをまとめ、実践的に活用できることに対する認識を深める。
授業の概要	学習の方法および技術についての基礎的な理論や考え方を調べ、意味を理解する。事例を通して、指導技術を理解する。ディスカッションやグループワークを行い、教育方法に関する議論を展開する。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション（講義の内容や流れの確認） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第2回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（古代・中世） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第3回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（古代・中世） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第4回 教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（古代・中世） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第5回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（中世・近代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第6回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（中世・近代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第7回 教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（中世・近代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第8回 小括と討議 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第9回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（近代・現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第10回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（近代・現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第11回 教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（近代・現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第12回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第13回 教育方法の歴史的展開と基礎理論（現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第14回 教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p> <p>第15回 小括と討議 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）</p>
テキスト	特に定めずその都度資料を提供
参考書・参考資料等	佐藤学 『教育の方法』 左右社、2010年
学生に対する評価	通常のクイズ（40%）とレポート（60%）で評価する。 評価基準：教育課程の理解と具体的な展開の理解がなされたかどうか、発表とレポートの内容より評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】言語【選択】理学, 作業, 看護
担当教員			
塩見 格一			
講義		010004L1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	記述統計学と推測統計学の理解とそれらの応用ができるまでを目標とする。
授業の概要	日常的に出会う多くのデータを読み解き意味のある命題を導出するための統計的な手法を身につけるために、統計学における基礎的な概念や手法を、それぞれ幾つかの課題を例として分析することで理解を図る。
授業計画	<p>第1回 講義内容、授業の進め方、成績の付け方等についての説明 事前学習： 統計学の授業においては、毎回、アクティブ・アカデミーを利用して、授業で使用するデータを *.csv あるいは *.xlsx 形式で事前に配布します。各人においてこの配布されたデータをダウンロードして、エクセル等の表計算ソフトウェアにより開き、折れ線グラフや散布図の生成が可能であることを確認し、また以下のキーワードについて、その意味を参考資料等により調べてノートにまとめておくことが必要です。(2時間) キーワード： 保健統計、統計データ、質的データ、量的データ 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第2回 記述統計学・推測統計学の概略説明と統計学の全体像説明 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 記述統計学、推測統計学、フィッシャーの統計学、ナイチンゲールの業績 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第3回 データの分類、データの図示、度数分布表、ヒストグラム 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 度数分布表、ヒストグラム、階級幅、階級値 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第4回 最頻値、中央値、平均値 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 標本データ、平均値、中央値、最頻値、四分位数、四分位区間、外れ値 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第5回 範囲、分散、標準偏差、歪度、尖度 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 範囲、分散、標準偏差、歪度、尖度、標本標準偏差、不偏標準偏差、自由度 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第6回 正規分布とその応用 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 正規分布、標準正規分布、累積正規分布、誤差関数、カール・フリードリッヒ・ガウス(人名) 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第7回 t分布、χ^2分布、F分布、2項分布、ポアソン分布 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： t分布、χ^2分布、F分布、2項分布、ポアソン分布、ヤコブ・ベルヌーイ(人名)、シメオン・ドニ・ポアソン(人名) 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第8回 母集団、標本、標本平均の分布、母集団と標本の関係、中心極限定理 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 母集団、標本、標本平均の分布、中心極限定理 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第9回 母集団の母数の区間推定 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 標準誤差、区間推定、95%信頼区間、下限値、上限値 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p>

第10回	<p>仮説検定とは、仮説検定の手順、帰無仮説、対立仮説、有意水準 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：仮説検定、帰無仮説、対立仮説、有意水準、危険率、検出力、第1種過誤、第2種過誤、P値 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p>
第11回	<p>両側検定、片側検定、Z検定、t検定 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：両側検定、片側検定、Z検定、t検定 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p>
第12回	<p>母平均の検定、2つの母平均の差の検定 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：母平均の検定、母平均の差の検定、母相関係数、母比率、同等性試験、非劣性試験 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p>
第13回	<p>分散分析とは、一元配置分散分析 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：分散分析、一元配置分散分析、二元配置分散分析、主成分分析 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p>
第14回	<p>相関図、相関係数、回帰直線、順位相関係数 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：相関図、相関係数、回帰直線、順位相関係数、回帰分析、ロジスティック回帰分析 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p>
第15回	<p>ベイズ統計、21世紀の統計学 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：ベイズの定理、ベイズ統計、ベイズ推定、コンピュータ・シミュレーション 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間) 定期試験</p>
テキスト	縣俊彦著：やさしい保健統計学(改訂第5版増補) 南江堂
参考書・参考資料等	倉田博史 監修：東京大学の先生伝授 文系のためのめっちゃやさしい 統計 NEWTON PRESS 倉田博史 監修：東京大学の先生伝授 文系のためのめっちゃやさしい 確率 NEWTON PRESS
学生に対する評価	定期試験(筆記試験100%)
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	9時から18時、講義終了後にも適宜対応する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
塩見 格一			
講義		010005L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<p>情報処理の基礎知識を理解し、文書作成からプレゼンテーションまでの情報処理技術、及び表計算ソフトによる統計等データ処理に係る情報処理技術を身に付けることを目標とする。</p> <p>1) コンピュータのハードウェアとソフトウェア等システム構成を理解し、情報表現・情報処理・情報検索等を実施する技術を身に付ける。</p> <p>2) 一般的な情報技術として、具体的にオフィス・アプリケーションの統合的な用法を習得する。</p> <p>3) 情報倫理とリテラシーを理解し、インターネット・アプリケーションを利用して、日常的な様々な問題を解決するインターネットの応用技術を習得する。</p>
授業の概要	<p>医療分野では広くコンピュータが使われ、基本的な情報処理技術は全ての医療従事者に必要不可欠なものとなっている。そこで本授業では、社会に普及している情報処理基盤の利用に要する技術的な知識を、これを支える知識として情報科学の発展の経緯から将来的な展望までを基本的な概念の理解と共に身につけられるように、実践的な課題を処理して学習する。</p>
授業計画	<p>第1回 コンピュータのハードウェアとソフトウェアについて説明できる 情報科学の授業では、実際にパソコンを使用して課題を解きます。 インターネットに Wi-Fi 接続できるように調整したパソコンを準備する必要があります。 事前学習： 課題は事前にアクティブ・アカデミーにより配布致しますので、配布された課題やデータの内容を確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： コンピュータの起源と発展の歴史、ハードウェア、ソフトウェア、アラン・チューリング(人名)、ジョン・ノイマン(人名) 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第2回 高度情報化社会で使われる情報表現・情報処理・情報検索の技術、インターネットや情報倫理について説明できる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 情報表現・情報処理・情報検索の技術、インターネットの仕組みと応用、情報倫理 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第3回 ワープロソフトWordを使った基礎的情報表現ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： Word 画面構成、文書の作成、表の作成、文書の編集、文書の保存・印刷 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第4回 ワープロソフトWordを使った応用的情報表現ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 図形を使った文書作成、長文の作成、文書の校閲、Excel データの利用、便利な機能 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第5回 表計算ソフトExcelを使った基礎的情報処理ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： Excel の画面構成、表作成、表内計算、ソート、検索・抽出、グラフ作成、保存・印刷 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第6回 表計算ソフトExcelを使った応用的情報処理ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 関数の利用、データベースの活用、ピボットテーブル、便利な機能 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第7回 プレゼンテーションソフトPowerPointを使った基礎的プレゼンテーション資料の作成ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： PowerPoint の画面構成、文字入力、表作成、グラフ作成、図形作成、画像挿入、保存・印刷 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第8回 プレゼンテーションソフトPowerPointを使った応用的プレゼンテーションができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 画像の加工、Word・Excelデータの利用、原稿作成、プレゼンテーションの校閲、</p>

第9回	<p>スライドショー 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>インターネットの基礎的活用ができる 事前学習：配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：インターネットの歴史、インターネット・ブラウザ、ホームページの検索・利用、YouTube、SNS</p>
第10回	<p>事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>インターネットの応用的活用ができる 事前学習：配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：メディカルオンラインを使った医学文献検索、翻訳機能</p>
第11回	<p>事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>表計算ソフトExcelを使って、基礎的統計計算ができる 事前学習：配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差、変動係数、歪度、尖度、度数分布表作成、ヒストグラム作成</p>
第12回	<p>事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>表計算ソフトExcelを使って、相関分析と回帰分析ができる 事前学習：配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：散布図、相関係数、相関分析、回帰直線、決定係数、回帰分析</p>
第13回	<p>事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>表計算ソフトExcelを使って、2項分布、ポアソン分布、正規分布を求めることができる 事前学習：配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：2項分布、ポアソン分布、正規分布</p>
第14回	<p>事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>表計算ソフトExcelを使って、母平均の推定ができる 事前学習：配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：推測統計学とは、母集団、標本、標本平均の分布、母集団と標本の関係、中心極限定理、信頼度、区間推定</p>
第15回	<p>事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>表計算ソフトExcelを使って、仮説検定ができる 事前学習：配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード：仮説検定とは、仮説検定の手順、帰無仮説と対立仮説、有意水準、両側検定、片側検定、Z検定、t検定</p> <p>事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個人の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>定期試験</p>
テキスト	<p>杉本 くみ子, 大澤 栄子 著：30時間でアカデミック Office2019 実教出版 小舘香椎子他著：教養のコンピュータサイエンス 情報科学入門 第3版, 丸善, 2020年出版</p>
参考書・参考資料等	<p>小林健一郎他著：教養情報科学概論ーユビキタス時代の情報活用ー, 共立出版, 2006年出版 菅民郎著：「Excelで学ぶ統計解析入門 - Excel2019/2016 対応版, Ohmsha, 2020年出版」</p>
学生に対する評価	定期試験(筆記試験50%), 課題50%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	9時から18時, 講義終了後にも適宜対応する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
塩見 格一			
講義		010006LIP0SN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	人間工学は、使い易い機器や安全で快適な生活環境等を実現し、更に、技術をより人に優しくし、機械をより使い易くし、より快適な生活環境の実現を目的とする学問である。従って、人間工学は、その地域に、またその時々の人間の生活に密着したものでなければならず、本授業では、日常生活における人間工学的な成果を理解するために知識を獲得し、日常生活において経常的に人間工学的な眼差しを持ち続ける姿勢を身につける。
授業の概要	人間工学は、人に優しい技術、使いやすい機器、生活しやすい環境を創るために生まれてきた学問であり、いろいろな分野で広く応用されている。現代はコンピュータ技術、情報科学、システム工学などの進歩によって人間と機械との境界がなくなり、人間と機械・機器・システムの関係が変化してきている。人間と機械の関わり、人間の運動特性と心理・感性、人間工学の応用とヒューマンインターフェース、医療技術と人間工学などについて、具体例に基づいて学ぶ。
授業計画	<p>第1回 人間工学の目的とその意義、歴史的な人間工学の成果 事前学習： 人間工学の授業では毎回の講義の前に、アクティブ・アカデミーによる当日の資料を配布します。 ・配布資料には、章毎に、また適宜キーワードが示されていますから、キーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード： 人間工学と安全工学、原子力事故、航空宇宙事故、20世紀の重大事故、21世紀の重大事故 ・また、YouTube などの動画資料も示すこともありますから、その場合はその動画を見て下さい。 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、各々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第2回 人間工学の枠組みと周辺の学術分野との関係 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード： 航空機のcockpitや自動車の運転席の発展の歴史とその発展に寄与した科学と工学 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、各々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第3回 日常生活における快適性の向上を具体的に実現した人間工学的成果 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード： 日常生活における必需品の変遷の歴史、筆記具の歴史、計算機や計量器の歴史、情報処理機器の歴史 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、各々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第4回 産業環境・社会基盤の効率化と安全性向上を両立させる人間工学の役割 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード： 社会基盤の構成要素、産業革命と情報革命の類似点と相違点、文化的な差異による人命に対する考え方 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、各々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第5回 「使い易い」という事柄の科学的・工学的な理解 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード： キッチン・ツールは使い易いか？、家電製品、情報処理機器、自転車や自動車 ・使い易いという事はどのようなことか考察します。 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、各々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第6回 人体の形状と機能を考慮した作業目的に対する合理的作業環境と作業姿勢 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード： オートクチュール、プレタポルテ、ユニバーサル・デザイン、ロナルド・メイス(人名) 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、各々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第7回 人体の生理機能、またその概日周期や高齢化等による変化 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード： 身体と精神の健全性、自律神経の働き、高齢化 ・高齢化により低下する機能や失われる機能は如何に代替・支援されるべきか？ 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、各々の学習資料を作成・追加する。(2時間)</p> <p>第8回 ストレス(精神負担と生体負担)の概念と、その計測手法 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノート</p>

	<p>第9回 にまとめて下さい。(2時間) キーワード: 疲労とストレス, 汎適応症候群, 心身症, 神経症, ハンス・セリエ (人名) 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 疲労とストレスの関係, また健全性を維持するための手法</p> <p>第10回 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 疲労やストレスの計測, 疲労指標, 自律神経系における反応, 過労死, 上畑鉄之丞 (人名) 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) スリップや躓きの防止等, 生活環境の危険を排除する人間工学の役割と成果</p> <p>第11回 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 転倒・転落事故の防止, 家庭内での事故防止, 風呂場とトイレ, 屋外での事故防止, 交通事故の防止 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 事故や高齢化により低下した身体機能の補完技術における人間工学的な考え方</p> <p>第12回 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 認知機能, 事故の認知, 錯覚, 誤解, 能力の不足・欠如, ・・, 知的機能の補完技術としての AI ・個々人の必要性に対応した技術支援が必要ですが, ユニバーサル・デザインの考え方などを踏まえて, 集約・共通化は可能でしょうか? 「何をする場合も AI を呼び出して, リクエストして, 自分では直接的な操作などは一切行わないで済ませることは可能になるのでしょうか?」 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 具体的事故例から考えるヒューマンファクターとヒューマンエラーの関係</p> <p>第13回 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: (家電製品やガス器具などの) 誤操作, 自動車の運転における誤操作 ・誤操作はなぜ起こるのか? なぜ繰り返されるのか? 自動車の運転における誤操作は技術により防げるか? 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 生活環境や作業環境におけるリスクアセスメント</p> <p>第14回 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 理想的な生活環境, 未来社会における生活必需品, QOL, ドナルド・ノーマン (人名) ・人間らしい生活に必要な最小限なモノと社会環境基盤の関係を検討・考察しましょう。 ・生きることと, 生き活きと生きることについて考察しましょう。 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 未知の事態への対応とその準備として人間工学において為すべき事柄</p> <p>第15回 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 太古の衣食住, 文明黎明期の衣食住, 中世社会の衣食住, ルネッサンス期の衣食住, 近代・現代の衣食住, 未来の衣食住 ・中世からルネッサンス期の衣食住については, キリスト教社会, イスラム教社会, 中華儒教社会, 日本の平安時代から江戸時代, などなどと区別して考える必要がありますが, それぞれの社会においても上流階級と中下流階級では全く異なる生活をしていたのかも知れません。想像力を働かせて, 個々人は何のために, 何を求めて現世を生きていたのか? 考えてみましょう。 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 人の幸福の実現のための人間工学と人間工学の可能性を広げる周辺科学</p> <p>定期試験</p>
テキスト	特になし, 毎回資料を配布する。
参考書・参考資料等	福田収一著「デザイン工学」(財)放送大学教育振興会 D.A.ノーマン著「誰のためのデザイン? 増補・改訂版」新曜社。
学生に対する評価	定期試験(筆記試験100%)
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	9時から18時 講義終了後にも適宜対応する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
青井 利哉			
講義	A T対象科目	010101L1POSNA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	人の心を科学的に扱うことができるのかについて学ぶとともに、自分自身や他者、日常における様々な問題について心理学的視点から捉えることができるようになる。		
授業の概要	現代の心理学は、人間についての科学的で総合的な理解を目標に、心の働きと行動について研究する学問である。治療やケアの対象となる人間の心理や行動を追及し、多面的に理解するための心理学の基礎(知覚や感覚、学習、記憶、情動や動機付け、思考や言語、発達、性格)を学ぶ。 また心理学を学習することで、自己理解や自己統制を助け人間形成にも役立てる。心理学の基礎知識、方法論を学習し、自他の理解について、心理学的なアプローチがあることを学習する。		
授業計画	第1回	心理学の歴史と広がり II-3-① いわゆる近代心理学が成立した年としては1879年があげられる。エビングハウスが1908年に出版した心理学要論の冒頭には、「心理学の過去は長いが歴史は短い」と書かれてあるが、その意味について概説する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第2回	心理学の研究法 実験法、質問紙法、面接法、観察法、心理検査法といった基本的な研究法の実証的論理を把握する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第3回	人間行動を心理学で説明するための基礎を理解する 心理学は「行動の科学」などと言われている。心理学には研究の領域によってさまざまな分野に分かれている。実験心理学、認知心理学、学習心理学、社会心理学、臨床心理学などのそれぞれの領域では人の行動をどのように説明しようとするのか概説する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第4回	感覚と知覚 感覚は、感覚器官を経由して外部世界や身体内部に関する情報を受容する過程のことで、知覚は感覚器官からの情報を過去の学習・経験によって活用したりすると考えられているが、具体的にどうということなのか説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第5回	学習（1）古典的条件づけ、オペラント条件づけ、学習理論 III-3-③ 学習というと学校の勉強という印象が強いが、心理学では、私たちが経験を通して身に付けたものを学習と捉える。学習（1）では、古典的条件づけにみられる基本的な学習を学ぶ。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第6回	学習（2）技能学習、社会的学習 III-6-② 技能を獲得するとはどういうことなのだろうか。自転車に乗れた経験や、楽器がうまくなりたくて猛練習した経験など、学習（2）では、特に動作や技術の習得についての学習を説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第7回	演繹的推論、帰納的推論、思考について 思考が果たす機能には、直面している問題を解決したり、対処したりするという特徴がある。例えば、「全ての人は死ぬ、ソクラテスは人である」から導かれる答えは何だろう。推論に見られる人の思考のあり方について説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第8回	感情、動機づけ II-3-②, II-3-③ 人のさまざまな行動の背景には、行動を起こそうとする心の働きがある。行動を起こそうとする心の働きを動機づけと言い、行動を起こそうとする心の働きと、行動を起こした結果には、感情の揺れ動きが大きくかかわっている。	

第9回	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 記憶の特徴（感覚記憶、短期記憶、長期記憶） 心理学で扱う記憶を、感覚記憶、短期記憶、長期記憶に分類して説明する。</p>
第10回	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 記憶と忘却 忘却とは何か、なぜ忘却が起きるのか、さまざまな説を紹介しながら説明する。</p>
第11回	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） パーソナリティやパーソナリティを調べる諸方法、個人差について III-6-① パーソナリティとは、人格・個性・性格と同義で、特に個人の全体的な特性の総体を言うが、私たちのパーソナリティをどのように調べるのか、具体的な検査を紹介しながら説明する。</p>
第12回	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 欲求不満とストレス ストレスが引き起こす心理的な反応について説明する。</p>
第13回	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 発達の特徴（発達段階、発達課題） III-10-⑥ 人の成長過程においては、個人差はあるものの、多くの人に共通して見られる発達段階ごとの特徴がある。種々の発達段階や発達理論を紹介するので、自分自身の発達と照らし合わせて聞いて欲しい。</p>
第14回	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 他者を知ること（対人認知、印象形成） 周りにいる他者について、その人がどんな人か推測したり、他者の内面についてさまざまに思いめぐらせることは誰もが行うことである。人がどのように他者の印象を形成するのか説明する。</p>
第15回	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 心理アセスメント III-6-①, III-10-⑥ アセスメントには、評価や査定という意味がある。心理療法などの臨床心理学的援助の過程において、面接や心理検査などの技法を用いて行うかわりのことである。なぜ心理アセスメントが必要なのか、事例を紹介しながら説明する。</p> <p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 定期試験</p>
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書・参考資料等	松川順子 編：「心・理・学」、ナカニシヤ出版、2009年 鈴木常元、谷口泰富、有光興起、他6名：心理学、新曜社、2014年 リファレンスブック 公益財団法人 日本スポーツ協会 発行
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日、水曜日の午後 研究棟2階教員室
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
高木 祐介			
講義		010102L1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	生命倫理学の視点から、「生命」、「ヒト」、「死」、「性」、「幸福」、「医療」、「研究」等について考察し、社会で顕在化する関連事象について、多義的に解釈できるようになることを目指します。
授業の概要	テレビや新聞等を毎日眺めると、実に多くの生命倫理に関するニュースがあることに気づきます。皆さんは、どのように感じ取っているのでしょうか。自身の価値観で、あるいは感情のままに考えている方、いるかと思います。皆さんは、将来、医療従事者になる可能性が高い大学生です。「生命」や「ヒトが生きること」、「性」や「死」等に関して、広く深い見聞が求められます。また、医療現場における多種多様な人々との対応の中で、これらに係る考え方が基礎となって解決されることもあるかと思います。そういったことから、皆さんがこれから培っていく考え方に、生命倫理学の視点を入れ、生命に係る様々な事象に対して多義的な解釈ができるようになって欲しいと思っています。本講義では、以上のような考えを基に、生命倫理学の基礎とそれに係る社会的な事象、関連する学問分野（社会学、法学、心理学、等）について、皆さんと共に考えていきます。
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、ヒトとは何か？生命とは何か？ 事前学習：シラバスを熟読しましょう。ヒト科の生物の意思伝達方法や子育て等も調べましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第2回 ヒトの理想の生き方とは何か？（1） 事前学習：自己の理想の生き方について、考えてください。人生設計図をつくることもよいです。（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第3回 ヒトの理想の生き方とは何か？（2） 事前学習：前回講義で学習した内容を整理し、延命や多様性に係る様々な問題を調べてみましょう。（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第4回 ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（1） 事前学習：自殺、他殺、死刑制度、人体実験について、関係する歴史・社会問題を調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）</p> <p>第5回 ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（2） 事前学習：緩和ケア、リビング・ウィル、尊厳死、安楽死について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）</p> <p>第6回 ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（3） 事前学習：人工妊娠中絶について、様々な視点から調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）</p> <p>第7回 ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（4） 事前学習：宗教上の問題、呪術療法、戦争、をテーマとした種々の問題を調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）</p> <p>第8回 ヒトが摂取するものについて、生命倫理学の視点から考える 事前学習：人工的に細胞を培養してつくられた食物について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第9回 医療における自己決定権と説明責任を考える（1） 事前学習：医療過誤や医療従事者の法的責任について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第10回 医療における自己決定権と説明責任を考える（2） 事前学習：前回授業で作成したノートを整理し、復習しましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第11回 医学研究における不正を考える 事前学習：捏造、盗用、改竄について、その読み方と意味、それらに係る事件を調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第12回 育児・介護に係る倫理的課題（1）</p>

	<p>事前学習：赤ちゃんポスト、児童虐待、子どもの権利について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第13回 育児・介護に係る倫理的課題（2） 事前学習：認知症、高齢者虐待、ターミナルケアについて、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第14回 育児・介護に係る倫理的課題（3） 事前学習：障がい者虐待、ノーマライゼーション、ユニバーサル・デザインを調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）</p> <p>第15回 まとめ 事前学習：これまでにノートに記したことを整理し、学習した内容を振り返りましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、全講義内容を理解しましょう。（2時間） ※授業進度や状況等によって、予定変更もあります。</p> <p>定期試験 実施します（授業内で出題範囲等に関するアナウンスをします）</p>
テキスト	適宜資料等を配布します。
参考書・参考資料等	講義中に適宜紹介する。
学生に対する評価	定期試験 70%、課題（ミニレポート、あるいは、発表等）30%とします。その他、適宜加点あるいは減点し、総合して評価します。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時に対応する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
浅井 純子			
演習		010103S1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	高校で学んだ基礎的知識を補強しつつ、基礎レベルの英文読解力・聴解力・英文作成能力・英会話力の充実を図ることを目的とする。
授業の概要	日常的な文化・社会・国際問題などや学生が関心を寄せることができる身近な話題を題材にして、語彙力の増加と基本的な構文の再確認及び英文の反復練習に重点をおきながら、上記の四つの英語コミュニケーション能力をバランスよく身につけられる学習を行う。またポスタープレゼンテーションを通してプレゼンテーションの基礎を学ぶ。
授業計画	<p>Week 1 Introduction オリエンテーションを行った後、英語で自己紹介をする 事前学習 (2時間) テキストに目を通しておく 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 2 Unit 1 Meeting People Unit 1 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う 事前学習 (2時間) この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 3 Unit 1 Meeting People Unit 1 を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習 (2時間) この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 4 Unit 2 Countries and Nationalities Unit 2 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う 事前学習 (2時間) この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 5 Unit 2 Countries and Nationalities Unit 2 を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習 (2時間) この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 6 Unit 3 Family Unit 3 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う 事前学習 (2時間) この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 7 Unit 3 Family Unit 3 を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習 (2時間) この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 8 まとめのテスト Week 1～Week 7 までの総まとめを行った後、まとめのテストを実施する 事前学習 (2時間) まとめのテストに向けて復習を行う 事後学習 (2時間) まとめのテストの結果を見直し、理解不十分な点について改善を行う</p> <p>Week 9 Unit 4 Describing People Unit 4 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う ポスター発表の準備をする 事前学習 (2時間) この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 10 Unit 4 Describing People Unit 4 を用いてリーディング・ライティング活動を行う ポスター発表の準備をする 事前学習 (2時間) この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 11 Unit 5 Food and Drinks Unit 5 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う ポスター発表の準備をする 事前学習 (2時間) この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 12 Unit 5 Food and Drinks Unit 5 を用いてリーディング・ライティング活動を行う ポスター発表の準備をする 事前学習 (2時間) この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする</p>

	<p>事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 13 Unit 6 Things We Do Unit 6 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う ポスター発表の準備をする</p> <p>事前学習（2時間）この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする</p> <p>事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 14 Unit 6 Things We Do Unit 6 を用いてリーディング・ライティング活動を行う ポスター発表の準備をする</p> <p>事前学習（2時間）この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする</p> <p>事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 15 ポスター発表 プレゼンテーションを行う 事前学習（2時間）プレゼンテーションに向けてリハーサルを行う 事後学習（2時間）プレゼンテーションの評価を見直す</p> <p>定期試験 行わない</p>
テキスト	<p>Stretch: Second Edition Starter Student Book A with Online Practice Oxford University Press (2024) ISBN 978-0-19-413568-9</p>
参考書・参考資料等	英和・和英辞典が必要
学生に対する評価	<p>小テスト 20%</p> <p>授業中のアクティビティへの積極的な参加 10%</p> <p>まとめのテスト 30%</p> <p>ポスター発表 40%</p>
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます
備考	本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします

英語Ⅱ			担当教員		CLYNES PETER			
学科専攻		看護 学科	リハビリテーション学科			配当年次	単位数	開講形態
			理学	作業	言語			
科目区分	必修		○			1年次後期	2単位	講義
	選択							
	自由							
資格取得必修			PT					

PT AT OT ST Ns 養 障

授業の到達目標及びテーマ

看護とリハビリテーションの領域における医療英語の読解・聴解・英文作成・英会話の四分野の基本的英語コミュニケーション能力の育成を目的とする。

授業の概要

平易な英文で書かれた医療関係の情報の収集方法の習得と、英文記事などを読解するために、かつ簡単な英文を作成するために基礎的な医療英語の語彙・用語と文章表現を学習する。臨床現場で簡単な会話もできるように、医療英会話の基本的表現の聴解と運用の学習を行う。またポスタープレゼンテーションを通してプレゼンテーションの基礎を学ぶ。

授業計画

Week 1 Introduction

オリエンテーションを行った後、英語で自己紹介をする

事前学習 (2時間) 英語での自己紹介の準備をする

事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する

Week 2 Unit 1 At the Reception

Unit 1 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う

事前学習 (2時間) Unit 1 の予習を行う

事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する

Week 3 Unit 2 Medical Consultation

Unit 2 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う

事前学習 (2時間) Unit 2 の予習を行う

事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する

Week 4 Unit 3 Medical Examination

Unit 3 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う

事前学習 (2時間) Unit 3 の予習を行う

事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する

Week 5 Unit 4 Guide to Medical Departments

Unit 4 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う

事前学習 (2時間) Unit 4 の予習を行う

事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する

Week 6 Unit 5 Review Unit 1-4

Unit 5 を用いて Unit 1-4 を復習する

事前学習 (2時間) Unit 5 の予習を行う

事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する

Week 7 まとめテスト

Week 1～Week 6 までの総まとめを行った後、まとめのテストを実施する

事前学習 (2時間) これまでに学習した箇所を再度復習し、まとめのテストに向けての準備を行う

事後学習 (2時間) まとめテストの結果を見直し、理解不十分な点について改善を行う

Week 8 Unit 6 Diagnosis Results

Unit 6 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う

ポスター発表の準備をする

事前学習 (2時間) Unit 6 の予習を行う

事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する

Week 9 Unit 7 Medicine

Unit 7 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う
 ポスター発表の準備をする
 事前学習 (2時間) Unit 7 の予習を行う
 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する
Week 10 Unit 8 Preoperative Testing 1
 Unit 8 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う
 ポスター発表の準備をする
 事前学習 (2時間) Unit 8 の予習を行う
 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する
Week 11 Unit 9 Preoperative Testing 2
 Unit 9 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う
 ポスター発表の準備をする
 事前学習 (2時間) Unit 9 の予習を行う
 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する
Week 12 Unit 10 Review Unit 6-9
 Unit 10 を用いて Unit 6-9 を復習する
 ポスター発表の準備をする
 事前学習 (2時間) Unit 10 の予習を行う
 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する
Week 13 Unit 11 Hospitalization before the Operation
 Unit 11 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う
 ポスター発表の準備をする
 事前学習 (2時間) Unit 11 の予習を行う
 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する
 Unit 11 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う
 ポスター発表の準備をする
 事前学習 (2時間) Unit 11 の予習を行う
 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する
Week 14 Unit 12 Operation
 Unit 12 を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング・ライティング活動を行う
 ポスター発表の準備をする
 事前学習 (2時間) Unit 12 の予習を行う
 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する
Week 15 ポスター発表
 プレゼンテーションを行う
 事前学習 (2時間) プレゼンテーションのリハーサルを行う
 事後学習 (2時間) プレゼンテーションの評価結果を見直す
 定期試験 行わない

テキスト
First Steps in English for Nursing
 ここからはじめる看護英語 ー基本から実践へー
 朝日出版社 (2025)
 ISBN 978-4-255-15742-9

参考書・参考資料等
 英和・和英辞典が必要

学生に対する評価
 小テスト 20%
 授業中のアクティビティへの積極的な参加 10%
 まとめのテスト 30%
 ポスター発表 40%

課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法

講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
浅井 純子			
演習		010105S2POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の学習を基にして、医療領域での総合的でより高度な英文読解力・聴解力・英文作成能力・英語によるプレゼンテーション能力の獲得を目指す。
授業の概要	福祉・文化・社会・国際分野における様々な時事情報に関して、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」より難度の高い英文の読解・記述・聴解を通して、語彙の増加を促進しつつ、英語で思考する習慣を身につけ意思疎通もできるようになる学習を行う。
授業計画	<p>Week 1 Introduction オリエンテーションを行った後、英語で自己紹介をする 事前学習（2時間）自己紹介の準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 2 Visit to the clinic 1 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 3 Visit to the clinic 2 復習テスト1 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 4 Injury and pain 1 復習テスト2 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング活動を行う 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 5 Injury and pain 2 復習テスト3 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション1の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 6 Medical examination 1 復習テスト4 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション1の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 7 Medical examination 2 復習テスト5 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション1の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 8 Presentation 1 プレゼンテーション1を行う 事前学習（2時間）プレゼンテーション1の準備をする 事後学習（2時間）プレゼンテーションの評価結果を見直し、次回のプレゼンテーションに向けて改善を行う</p> <p>Week 9 Lifestyle-related disease 1 復習テスト6 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション2の準備を開始する 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 10 Lifestyle-related disease 2 復習テスト7 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション2の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 11 Dietary restrictions 1 復習テスト8 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション2の準備をする</p>

	<p>事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 12 Dietary restrictions 2 復習テスト9 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション2の準備をする 事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 13 Dementia 1 復習テスト10 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション2の準備をする 事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 14 Dementia 2 復習テスト11 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション2の準備をする 事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する</p> <p>Week 15 Presentation 2 プレゼンテーション2を行う 事前学習 (2時間) プレゼンテーション2に向けてリハーサルを行う 事後学習 (2時間) プレゼンテーションの評価を見直す</p> <p>定期試験 行わない</p>
テキスト	プリント配布
参考書・参考資料等	英和・和英辞典が必要
学生に対する評価	小テスト 30% 授業中のアクティビティへの積極的な参加 10% プレゼンテーション1&2 60%
課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます
備考	必修科目である「英語Ⅰ」と「英語Ⅱ」に加えて、この選択科目「英語Ⅲ」を受講することにより、英語力の強化に努めましょう 本講義 (2単位) の予習・復習時間は各2時間を標準とします

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
浅井 純子			
演習		010106S1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	「英語Ⅱ」と同時進行的に、日常生活と医療現場における英語によるコミュニケーション運用能力の充実と発展を図る。		
授業の概要	日常英会話と臨床英会話の基本的及び発展的表現を反復練習して身につけ、それらをロールプレイングやドラマパフォーマンスなどの色々な英語運用方法を通して、日常や国際的な場で遭遇する外国人の患者や医療従事者との意思疎通が臆せずにできる英語コミュニケーション能力を修得する。		
授業計画	Week 1	<p>オリエンテーションと第1章 Hospital Departments</p> <p>授業のオリエンテーションを行った後、(第1章) Hospital Departmentsを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する</p>	
	Week 2	<p>第1章 Hospital Departments</p> <p>(第1章) Hospital Departmentsを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する</p>	
	Week 3	<p>第3章 Parts of the Body</p> <p>(第3章) Parts of the Bodyを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する</p>	
	Week 4	<p>第3章 Parts of the Body</p> <p>(第3章) Parts of the Bodyを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する</p>	
	Week 5	<p>第5章 Daily Routine</p> <p>(第5章) Daily Routineを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する</p>	
	Week 6	<p>第5章 Daily Routine</p> <p>(第5章) Daily Routineを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する</p>	
	Week 7	<p>まとめのテスト1</p> <p>Week 1-6 の総まとめとして、まとめのテスト1を行う</p> <p>【事前学習：2時間】これまでに学習した箇所を再度復習し、まとめのテストに向けての準備を行う</p> <p>【事後学習：2時間】まとめのテスト1の結果を見直し、理解不十分な点について改善を行う</p>	
	Week 8	<p>第7章 Locations of Hospital Objects</p> <p>(第7章) Locations of Hospital Objectsを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する</p>	
	Week 9	<p>第7章 Locations of Hospital Objects</p> <p>(第7章) Locations of Hospital Objectsを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する</p>	
	Week 10	<p>第8章 Hospital Directions and Instructions</p> <p>(第8章) Hospital Directions and Instructionsを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する</p> <p>【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する</p>	
	Week 11	<p>第8章 Hospital Directions and Instructions</p> <p>(第8章) Hospital Directions and Instructionsを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う</p> <p>【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う</p>	

	<p>Week 12 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する 第10章 Chatting with a Patient (第10章) Chatting with a Patientを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】 医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する</p> <p>Week 13 第10章 Chatting with a Patient (第10章) Chatting with a Patientを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う 【事前学習：2時間】 この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する</p> <p>Week 14 第12章 Hospital Procedures (第12章) Hospital Proceduresを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】 医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する</p> <p>Week 15 まとめのテスト2 Week 8-14 の総まとめとして、まとめのテスト2を行う 【事前学習：2時間】 これまでに学習した箇所を再度復習し、まとめのテストに向けての準備を行う 【事後学習：2時間】 まとめテストの結果を見直し、理解不十分な点について改善を行う</p> <p>定期試験 行わない</p>
テキスト	Speaking of Nursing 南雲堂 (2017) ISBN 978-4-523-17850-7
参考書・参考資料等	英和辞典・和英辞典が授業中に必要
学生に対する評価	小テスト 30% 授業中のアクティビティへの積極的な参加 10% まとめのテスト1&2 60%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます。
備考	本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします

講義科目名称： 英会話（医療系英会話）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
Lorraine Sakka			
		010106S1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	「英語Ⅱ」と同時進行的に、日常生活と医療現場における英語によるコミュニケーション運用能力の充実と発展を図る。
授業の概要	日常英会話と臨床英会話の基本的及び発展的表現を反復練習して身につけ、それらをロールプレイングやドラマパフォーマンスなどの色々な英語運用方法を通して、日常や国際的な場で遭遇する外国人の患者や医療従事者との意思疎通が臆せずにできる英語コミュニケーション能力を修得する。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーションと コミュニケーションゲーム；テキストの紹介、Classroom Englishと自己紹介の課題 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第2回 第1章 Asking Basic Questions, 会話の練習、ペアワーク； Classroom English 復讐 自己紹介発表 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第3回 第2章 Patient's First Visit；リスニングと医療用語の学習活動を行う・よくある症状単語・ペアワーク 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第4回 第3章 Where's Internal Medicine?リスニングと医療用語の学習活動を行う・病院内の医科・ペアワーク・まとめと宿題 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第5回 復習テスト第4章 Admission to the hospital・時間・日にち・スペルのテクニック・リスニングと使える英語のフレーズなど 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第6回 第6章 Symptomsリスニングと医療の症状・病院内の医科・ペアワーク・グループワーク課題 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第7回 まとめのテスト1 Week 1-6 の総まとめとして、まとめのテスト1を行う 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第8回 グループ発表練習・第7章 Injuries and Emergenciesリスニングと医療の症状・Body Parts・ペアワーク 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第9回 第7章 Injuries and Emergencies練習・まとめ 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第10回 グループ発表 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第11回 第8章 How are you feeling?リスニングと医療用語の学習活動を行う・ペアワーク・ポスター課題 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第12回 患者様・クライアントと患者との会話を成功させるアドバイスなど 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第13回 第10章 Medicineリスニングと医療用語の学習活動を行う・ペアワーク・服薬指導・ポスター練習 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします</p> <p>第14回 ポスター発表</p> <p>第15回 まとめのテスト2</p> <p>Week 8-14 の総まとめとして、まとめのテスト2を行う</p>
テキスト	Speaking of Nursing 南雲堂 (2017) ISBN 978-4-523-17850-7
参考書・参考資料等	英和・和英辞典が必要
学生に対する評価	小テスト 20% 授業中のアクティビティへの積極的な参加 40% まとめのテスト1 & 2 40%

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます
備考	本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします

講義科目名称： スポーツ医学

授業コード：

英文科目名称： Sports Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2	【選択】理学、作業、言語、看護
担当教員			
林 浩嗣・小俣 直人			
講義	AT&初級障がい者スポーツ指導員 対象科目(理学・作業・言語)	010107L2POSNA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	スポーツ指導者がスポーツ医学に関する知識を持つことの重要性について理解を深め、スポーツ活動と健康(QOL)との関わりについて学ぶ。スポーツ活動中に多いケガや病気について、その発生の原因や症状について理解し、スポーツ指導者としての対応の仕方について学ぶ。スポーツと精神医学の関わりや、精神障害者スポーツについて学ぶ。
授業の概要	(オムニバス方式/全15回) (林 浩嗣/全12回) スポーツに関する医学的知識、アンチ・ドーピング、障がい者とスポーツについて学ぶ。 (小俣 直人/全3回) スポーツと精神医学の関わりや、精神障害者スポーツについて学ぶ。
授業計画	<p>第1回 スポーツと健康 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第2回 アスリートの健康管理 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第3回 アスリートの内科的障害と対策 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第4回 女性アスリートの障害と対策 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第5回 スポーツによる精神障害と対策 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第6回 外傷・障害の予防 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第7回 コンディショニングの手法 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第8回 救急処置(救急蘇生法) (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第9回 救急処置(外科的応急処置) (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第10回 アンチ・ドーピング(総論) (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第11回 アンチ・ドーピング(各論) (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第12回 障がい者とスポーツ (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第13回 スポーツにおける精神医学の役割 (担当：小俣 直人) 事前学習：上記に該当する内容をテキストや参考書で事前学習しておくこと (2時間)</p>

	<p>第14回 事後学習：テキストや参考書、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 精神医学におけるスポーツの役割 （担当：小俣 直人） 事前学習：上記に該当する内容をテキストや参考書で事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキストや参考書、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第15回 精神障害者スポーツ （担当：小俣 直人） 事前学習：上記に該当する内容をテキストや参考書で事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキストや参考書、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p>
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会：Reference Book、2019
参考書・参考資料等	<p>①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第3巻 スポーツ外傷・障害の基礎知識、文光堂、2019</p> <p>②公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻 健康管理とスポーツ医学、文光堂、2019</p> <p>③公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第6巻 予防とコンディショニング、文光堂、2019</p> <p>④公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第8巻 救急処置、文光堂、2019</p> <p>⑤（公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）、（株）ぎょうせい、2020</p> <p>⑥日本スポーツ精神医学会：スポーツ精神医学、診断と治療社</p>
学生に対する評価	筆記試験：林 浩嗣80%、小俣 直人20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>【実務経験について】</p> <p>林 浩嗣：福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。</p> <p>小俣直人：精神科病棟や精神科外来で勤務した経験を基に、当講義を進める。 精神科医での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。</p>

スポーツ栄養学			担当教員		鳴瀬 みどり			
学科専攻		看護 学科	リハビリテーション学科			配当年次	単位数	開講形態
			理学	作業	言語			
科目区分	必修					2年次前期	1単位	講義
	選択	○	○	○	○			
	自由							
資格取得必修		養	AT					

PT AT OT ST Ns 養 障

授業の到達目標及びテーマ

正しい食習慣が健康的なスポーツライフをマネジメントする上での第一歩であることを学習する。

・競技者に対する栄養指導の重要性を理解し、スポーツにおける栄養摂取の役割及び関係する栄養素などについての知識及び実践方法を身につける。

授業の概要

健康保護、健康増進、さらにはスポーツ活動・運動を支える栄養摂取についての基本的な知識を得るとともに、日々の食事を規則正しく摂取することが健康的なスポーツライフをマネジメントするための第一歩であることを学習する。また、水分補給の重要性についても学習する。

競技者に対する栄養指導の大切さを理解させるとともに、スポーツにおける栄養の役割と関係する栄養素との関連についての知識を高める。競技者の望ましい食事及びトレーニングの目的にあった食事の取り方について理解を深める。

授業計画

第1回：1 五大栄養素の役割と特徴 P239

1) 糖質 2) 脂質 3) たんぱく質

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

第2回 1 五大栄養素の役割と特徴 P241、 2 アスリートの栄養摂取の考え方 P243

(五大栄養素の役割と特徴)

4) ミネラル 5) ビタミン

(アスリートの栄養摂取の考え方)

1) スポーツ栄養に関する国際的な見解、その他

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

第3回 2 アスリートの栄養摂取の考え方 P244

2) 食事摂取基準 3) スポーツ栄養マネジメント

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

第4回 3 サプリメント摂取に関する注意点 P245

1) サプリメントの特徴と関連情報 2) サプリメントとドーピング問題 3) サプリメントと健康問題 4) どんな時に活用するか 5) 使用時に必ず確認する項目

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

第5回4 基本の食事 P247

- 1) 日常的な食事の基本 2) 食品群別摂取の考え方 3) 補食について 4) 外食と中食のポイント

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

第6回5 水分補給 P249

- 1) アセスメント 2) 水分補給の目安量 3) クーリング

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

第7回6 栄養食事計画の立案 p251

- 1) 減量 2) 増量 3) 貧血予防 4) 試合前・試合後の食事

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

第8回6 栄養食事計画の立案、P256 まとめ

- 5) 遠征時の食事 6) 疲労骨折予防 7) 疲労回復・夏バテ 8) 女性アスリート

事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間)

事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)

定期試験

テキスト

- ・リファレンスブック (公益財団法人 日本スポーツ協会 発行) P239～261
- ・配布資料

参考書・参考資料等

- ・随時紹介

学生に対する評価

筆記試験90%，講義中の提出物10%

課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法

講義中および終了時に適宜返答する。

講義科目名称： 体育 I

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】言語【選択】理学, 作業, 看護
担当教員			
片岡 雅彦			
講義	養護教諭対象科目	010109L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1. 健康についての多様な考え方について説明できる。 2. 体力および、体力トレーニングの基礎理論を説明できる。 3. 新体力測定の方法、実施方法、評価を理解するとともに、効果的な運動プログラムを説明、紹介ができる。
授業の概要	身体の発育発達と機能について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を教授する。また、生涯にわたる心身の健康の保持増進や豊かなスポーツライフの理解を深める。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、健康水準、平均寿命、健康のとらえ方、自己実現、ヘルスプロモーションについて説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第2回 生活習慣病とその予防について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第3回 運動の意義、運動習慣、休養・睡眠の意義について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第4回 健康を阻害する喫煙、飲酒、薬物乱用について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第5回 心の健康について説明できる 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第6回 技能と体力とは何か。また、技能と体力を高めるための注意点を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第7回 体力づくりのためのトレーニングの基礎理論を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第8回 文部科学省 新体力テストを基本とした測定方法、効果判定方法。レポート作成 自己体力診断が評価できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p>
テキスト	なし
参考書・参考資料等	必要に応じて資料を配布する
学生に対する評価	受講態度（意欲・積極性）30% 毎回の記録およびレポート70%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	

講義科目名称： 体育Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】言語【選択】理学, 作業, 看護
担当教員			
片岡 雅彦			
実技	養護教諭対象科目	010110P1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	健康・体力に対する認識を深め、運動・スポーツの健康的意義を理解する。スポーツの意義を理解し、健康の保持増進とともに、体力の向上、人間関係の形成、さらにはスポーツの普及や振興について、実際にスポーツの体験を通して修得する。
授業の概要	スポーツの意義を理解し、健康の保持増進とともに、体力の向上、人間関係の形成、さらにはスポーツの普及や振興について、実際にスポーツの体験を通して学ぶ。また実際に各種スポーツを体験することにより、スポーツの楽しさを理解する。
授業計画	<p>第1・2回 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方、評価に関することを説明後体育館へ移動 ・体力測定（新体力測定） <p>第3・4・5回 バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル向上課題練習と簡易ゲーム（ダブルス） ・バドミントンの概要説明とスキル向上課題提示・スキルテスト <p>第6・7・8回 バレーボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル向上課題練習とバレーボール種目の概要説明とスキル向上課題提示 ・スキル向上練習とゲーム・スキルテスト <p>第9・10回 フットサルまたはサッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フットサル、サッカー種目の概要説明とスキル向上課題提示 ・スキル向上練習と簡易ゲーム・スキルテスト <p>第11・12回 ソフトボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル向上課題練習とゲーム・スキルテスト <p>第13・14回 ショートテニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートテニスの概要説明とスキル向上課題提示・ダブルスゲーム <p>第15回 スキルテスト</p> <p>定期試験 授業内に実施</p>
テキスト	なし
参考書・参考資料等	必要に応じて資料を配布する
学生に対する評価	スキルテスト70%、受講態度（意欲・積極性）30%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	トレーニングウェア、シューズ等着用のこと 講義中および終了時に適宜返答する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
堀 秀昭			
講義		010201LIP0SN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	学生を取り巻く環境は時代とともに変化している。大学生生活を円滑に進めるために、様々な知識やスキルを身につける必要がある。入学後のオリエンテーションを含めて授業を構成する。
授業の概要	<p>新入生を対象とした必修科目であり、大学での4年間の学生生活をより実り豊かなものとするために必要とされるさまざまな知識やスキルを身につけることを目的としている。</p> <p>内容としては、課題を遂行する事で知識の定着を図り、今後の勉学のモチベーションの向上を図る。そして、授業を行う中での図書の活用方法を教授し、スムーズな学業への移行を支援する。</p> <p>また、患者接遇マナー、キャンパスハラスメントに対する対処法、学生を取り巻く課題としての消費者問題への対処法やアルコール依存、薬物依存などを防ぐための対処法、そして通学における車社会への対応、交通安全等に関する講義等を行い、4年間の学生生活への支援を行う。</p>
授業計画	<p>第1回 大学における教育方針、授業の進め方（全体オリエンテーション①） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、福井医療大学の教育方針の理解を深める（2時間）</p> <p>第2回 大学の組織及び学則について（全体オリエンテーション②） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、福井医療大学の組織の理解を深める（2時間）</p> <p>第3回 大学教育における単位履修及の進め方（全体オリエンテーション③） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、単位履修について理解を深める（2時間）</p> <p>第4回 大学教育における学生生活の進め方（全体オリエンテーション④） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、学生生活の進め方の理解を深める（2時間）</p> <p>第5回 学科専攻における授業概要についての説明（学科専攻別①） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業概要の理解を深める（2時間）</p> <p>第6回 学科専攻における学生として資質向上（グループによる自己啓発）（学科専攻別②） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、自己研鑽について理解を深める（2時間）</p> <p>第7回 大学におけるリスク管理1（交通安全について） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、交通安全の理解を深める（2時間）</p> <p>第8回 大学におけるリスク管理2（性犯罪防止について） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、性犯罪防止の理解を深める（2時間）</p> <p>第9回 大学におけるリスク管理3（キャンパスハラスメントについて） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、キャンパスハラスメントの理解を深める（2時間）</p> <p>第10回 大学におけるリスク管理4（消費者問題、悪徳商法とは） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、消費者問題の理解を深める（2時間）</p> <p>第11回 大学におけるリスク管理5（薬物乱用防止について） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、薬物乱用の理解を深める（2時間）</p> <p>第12回 大学におけるリスク管理6（防災時の対応） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、防災時の理解を深める（2時間）</p> <p>第13回 大学教育における図書利用、文献等の利用について 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、福井医療大学の図書館利用の理解を深める（2時間）</p> <p>第14回 社会人マナーに関して 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、社会人マナーの理解を深める（2時間）</p> <p>第15回 奨学金制度に関して 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、奨学金の理解を深める（2時間）</p>
テキスト	配布資料

参考書・参考資料等	
学生に対する評価	レポート100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	各講義終了後
備考	担当教員は、リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
堀 秀昭・野村 友美・酒井 涼・岡本 一宏・青井 利哉			
講義		010202L1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<p>1、専門職としてのアイデンティティを確立する。</p> <p>2、チーム医療を確立するために、それぞれの専門職を理解する。</p> <p>3、臨床・臨地実習において、臨床から学生に求められるものを理解する。</p> <p>4、専門職としての報告書を作成することができる。</p> <p>5、グループワーク（k-J法）を理解する</p>
授業の概要	<p>専門職としてのアイデンティティの確立は、4年後の国家試験に向けて重要な学修のテーマである。専門職としてどうあるべきか、専門職として必要なことは何か、互いを尊重しながら、グループワークを通して確立する。</p> <p>また、専門職として働くうえでチーム医療について理解することは大切である。チーム医療とは、対象者の多様な諸問題（ニーズ）に応じて、多数の専門家がそれぞれの専門的視点から対象者の障がいをアセスメントし、綿密に連携をとり、一つの方向に向けて治療を推進していく統一的な活動をいう。そのためには、それぞれの仕事内容を理解することが重要である。</p> <p>最後にそれぞれの課程で臨床・臨地実習が行われているが、臨床の指導者からは、専門職として学生に求めているものがある。それらについてグループワークを通して理解を深め、プレゼンテーションする。また臨床においては、報告書の作成も必須であり、報告書の基本について学修する。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 授業の進め方の説明（グループワークを通して、専門職としての意識を高める） グループワークを通して、他者と協力して課題に取り組む力が身につける。 グループの協力関係を確立するために、課題に取り組む。 グループの作成（10名程度）PTOTSTNSをそれぞれ配置 自己分析（専門職アイデンティティ、コミュニケーション能力等） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第2回 グループワーク1（専門職に必要なこと） グループワークを通して、専門職として必要なものについて考える。また抽出されたキーワードをエクセルに入力する。司会者を決定し、グループワークを進める。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第3回 グループワーク1（専門職に必要なこと） 専門職として必要なことを、情意領域、認知領域、精神運動領域に分類し、ポスターを作成する。書記3名、発表者1名を決定し、グループワークを進める。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第4回 グループワーク1（専門職に必要なこと） グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第5回 グループワーク1（専門職に必要なこと） グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第6回 グループワーク1（専門職に必要なこと） 各学科・専攻で、10名程度のグループを作成し、それぞれの専門職について調べる。また司会者、書記3名、発表者を決定する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第7回 専門職として必要な能力をプレゼンテーションする 専門職に必要な能力に関して、パワーポイントを使用して発表する 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第8回 専門職として必要な能力をプレゼンテーションする 専門職に必要な能力に関して、パワーポイントを使用して発表する 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第9回 グループワーク2（専門職の仕事内容） グループワークを通して、専門職の仕事内容について考える。また抽出されたキーワードをエクセルに入力する。司会者を決定し、グループワークを進める。グループの作成（10名程度）再度グループ作成PTOTSTNSをそれぞれ配置 グループワークを通して、専門職として必要なものについて考える。また抽出されたキーワードをエクセルに入力する。司会者を決定し、グループワークを進める。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間）</p>

	<p>事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） グループワーク2（専門職の仕事内容） 各学科・専攻で、10名程度のグループを作成し、それぞれの専門職について調べる。また司会者、書記3名、発表者を決定する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第11回 グループワーク2（専門職の仕事内容） キーワードを分類し、臨床から学生に求められるのもまとめる。まとめ方に関しては、グループで話し合い、プレゼンテーションの資料を作成する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第12回 グループワーク2（専門職の仕事内容） キーワードを分類し、臨床から学生に求められるのもまとめる。まとめ方に関しては、グループで話し合い、プレゼンテーションの資料を作成する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第13回 専門職の仕事内容をプレゼンテーションする グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第14回 専門職の仕事内容をプレゼンテーションする グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p> <p>第15回 講評・まとめ 自己分析（専門職アイデンティティ等） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）</p>
テキスト	配布資料
参考書・参考資料等	なし
学生に対する評価	<p>グループワークの参加状況、発表内容を総合的に判断して評価する。</p> <p>評価</p> <p>1、積極的な参加態度を示すことができた</p> <p>2、プレゼンテーションを工夫して行うことができた（分かり易く説明した。多少曖昧な、分かり辛い表現をした。）</p> <p>3、報告を時間内に行うことができた（制限時間の1～30秒以内に抑える、制限時間の1分以上前に終了、または延長30秒以上）</p>
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	それぞれ理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師としての実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。 総合病院での臨床経験及び病院管理業務の経験を踏まえ、当講義を進める。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
青井 利哉			
講義		010203LIP0SN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	医療に従事する職業には、その基礎に人間関係がある。この授業では人間関係の基礎的な考え方、基礎的な技術について教授する。人間関係の諸相を理解することで、より良い人間関係を構築するための基礎的な知識やスキルを修得し、それを日常の行動に応用できることが目標である。		
授業の概要	日常生活において経験する人間関係の諸相を、心理学的視点より明らかにし、人間関係のプロセスやメカニズムについて理解を深める。さらに医療従事者と患者、さらには医療職種間におけるコミュニケーションについて、講義を通して学ぶ。		
授業計画	第1回	人間関係の基本的視点について理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第2回	自分とは何か、他者とは何かについてその関係性を理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第3回	他者とのコミュニケーションはどのように成立するののかについて理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第4回	生涯発達の視点から人間関係を理解する 乳幼児期～学童期 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第5回	生涯発達の視点から人間関係を理解する 青年期～老年期 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第6回	人間関係の諸相を理解する 家族関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第7回	人間関係の諸相を理解する 夫婦関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第8回	人間関係の諸相を理解する 親子関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第9回	人間関係の諸相を理解する 職場関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第10回	支配と服従の人間関係について理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第11回	攻撃と対立の人間関係について理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第12回	対人関係の問題について理解する 児童虐待とDV 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第13回	人間関係の改善について理解する ストレスへの対処 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第14回	対人援助における人間関係について理解する① 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間）	

第15回	<p>事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間） 対人援助における人間関係について理解する② 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間） 定期試験</p>
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書・参考資料等	服部祥子（著）：人を育む人間関係論, 医学書院, 2003 石川ひろの（著）：人間関係論 第3版（系統看護学講座 基礎分野）, 医学書院, 2018
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日、水曜日の午後 研究棟2階教員室
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】 理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
横井 正信			
講義	養護教諭対象科目	010204L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日本国憲法に関する基本的な知識を習得し理解することを目的とする。
授業の概要	日本国憲法に関する基本的な知識を習得し理解することを目的とする。戦後日本の平和と民主主義の理念のもとに平和憲法である日本国憲法が制定された歴史を踏まえ、私たちの生活と権利を守る日本国憲法の基本的人権の精神を学び、日本国憲法を実際の生活に活かすことを目指す。同時に憲法は国家の動向を監視する役割もあり、国家のあり方を監視し私たちの生活と権利を守る存在としての日本国憲法の歴史的・現代的意義を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 大日本帝国憲法の特徴と日本国憲法制定の経緯 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第2回 国民主権と象徴天皇制 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第3回 平和主義と憲法9条 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第4回 基本的人権の原理と限界 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第5回 包括的基本権と法の下での平等 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第6回 精神的自由権（内心の自由） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第7回 精神的自由権（表現の自由） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第8回 婚姻の自由と家族制度 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第9回 経済的自由権・人身の自由 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第10回 社会権 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第11回 参政権と選挙制度 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第12回 国民代表と国会 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第13回 議院内閣制と大統領制 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第14回 裁判所と違憲審査権 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間）</p>

	事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第15回 地方自治 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験
テキスト	特になし（授業要約等の資料で代替）。
参考書・参考資料等	授業のなかで随時紹介する。
学生に対する評価	定期試験（筆記試験60%）、レポート40%（第1回授業時に評価方法について詳細な説明を行う）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義の前後に対応する
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
長谷川 優樹			
講義	AT&初級障がい者スポーツ指導員対象科目(保健医療学部)	010205LIPOSNA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	コーチングとは、他者が存在して初めて行われる活動であり、人間関係づくりが基盤となる。近年のスポーツコーチングにおいては、競技における専門的知識に限らず、コミュニケーション能力や人間力の高さがより重視される。本講義は、コーチングの資質向上とともに、人間力向上を目指すものである。
授業の概要	<p>コーチングの手法はコーチの人間観によってもパフォーマンスが左右される。人間が持つ本来の力をいかに発揮させるがコーチングの姿である。</p> <p>講義では、理論とトレンドな情報、映像を交え、時には従来の精神主義、根性主義的なコーチングと現在のコーチングとの比較を試みながら、あるべきコーチングのあり方、効果的なコーチング手法を講義し時にはロールプレイを行い実践者としての理解を深めていきたい。</p> <p>毎回レポートの提出を行い、コーチング理解の進捗状況を見極めながら講義を進める。</p>
授業計画	<p>第1回 コーチの成り立ち・コーチの哲学について理解し、説明することができる。 I-2-① 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第2回 コーチの役割、求められるコーチ像について理解することができる。 I-2-② I-2-③ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第3回 「プレーヤーズ・センタード・コーチング」について理解し、説明することができる。 III-2-① II-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第4回 理想的なコーチング(選手の自主・主体性)について理解し、実践できる。 I-6-② II-2-① 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第5回 コミュニケーションスキル(バーバル・ノンバーバルコミュニケーション)を理解し、実践できる。 II-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第6回 コミュニケーションスキル(受容と共感、聞くスキルと伝えるスキル)を理解し、実践できる。 I-2-④ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第7回 全国障害者スポーツ大会の概要から、スポーツ参加への動機付けを理解することができる。 I-2-④ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第8回 障がい者スポーツ推進の取り組みを理解、説明することができる。 II-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第9回 障がい者スポーツ指導者としての必要なコミュニケーションスキルを理解することができる。 II-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第10回 コーチと保護者の関わり方について考えることができる。 II-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第11回 望ましいコーチングのあり方について考える I-6-① III-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第12回 コーチとしての学びについて考えることができる。 I-6-① 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p>

	<p>間)</p> <p>第13回 効果的なミーティングを理解し、実践できる。 II - 2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第14回 一貫指導体制システムを説明できる。協働について考える。 III-2-③ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第15回 まとめ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間) 定期試験</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・リファレンスブック 公益財団法人 日本スポーツ協会 発行 ・スポーツ心理学 (日本スポーツ心理学会編) ・配布資料
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・レイナー・マートン スポーツ・コーチング学, 西村書店 ・ロビン・S. ビーリー コーチングに役立つ実力発揮のメンタルトレーニング, 大修館書店 ・(公財) 日本障がい者スポーツ協会(編), 障がいのある人のスポーツ指導教本, 株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験80%, 毎講義終了前のレポート20%
課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法	メール時による質問、問い合わせ可能。積極的なコミュニケーションを図りたい。(アドレス wintree16@gmail.comまたはフェイスブック：メンタル&フィジカルコンディショニング研究会)
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替</p> <p>【実務経験について】 競技力向上や教育を目的としたスポーツ心理学の研究活動及び現場で6000時間以上のメンタルトレーニング(応用スポーツ心理学)の指導実践経験を積み、日本スポーツ心理学会認定：スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を有する。その知識と経験を基に当講義を進める。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
飯野 哲			
講義		020301L1POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1. 医療に従事するに当たり必要な解剖学用語を理解し表現できるようにする。 2. 人体構造の基本となる細胞や組織、器官の形態について解剖学的な視点から理解する。 3. 人体諸器官がどのような関連性を持つかを理解し、人体全体の構造を把握する。
授業の概要	人間を対象としその障害を治療する仕事においては、人体の構造と機能を理解することが重要である。解剖学の学習は、人体の構造と機能の理解には欠かすことができないものであり、各部の名称を理解し記憶することが基本となる。解剖学専門用語の理解のみならず、骨学、筋学、靭帯学、神経学、呼吸循環学、内臓学における基本事項を理解することを目的とする。 また、諸構造を構成する細胞や組織についても学び、機能との関連についての理解を深めるように努める。
授業計画	<p>第1回 解剖学の基本用語および細胞構造 (テキスト P. 1～P. 38) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第2回 組織と器官の基本構造 (テキスト P. 39～P. 62) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第3回 皮膚と腺の構造 (テキスト P. 69～P. 84) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第4回 骨格系の概要 (テキスト P. 85～P. 99) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第5回 筋系の概要 (テキスト P. 189～P. 203) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第6回 神経系の概要 (テキスト P. 261～P. 274) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第7回 脳と脊髄、末梢神経 (テキスト P. 277～P. 359) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第8回 視覚器・聴覚器・内分泌系 (テキスト P. 361～P. 401) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第9回 心臓 (テキスト P. 417～P. 431) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第10回 血管・血液・リンパ</p>

	<p>(テキスト P. 405～P. 415, P. 433～P. 479)</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第11回 呼吸器系 (テキスト P. 481～P. 499)</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第12回 消化器系 (テキスト P. 503～P. 532)</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第13回 泌尿器および男性生殖器 (テキスト P. 533～P. 562)</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第14回 女性生殖器 (テキスト P. 562～P. 575)</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)</p> <p>第15回 ヒトの発生 (テキスト P. 579～P. 591)</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間) 定期試験</p>
テキスト	F. H. マティーニ他著 井上貴央監訳 カラー人体解剖学 構造と機能：マイクロからマクロまで 西村書店 2003年
参考書・参考資料等	配布資料
学生に対する評価	筆記試験80%，レポート課題20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および講義終了時に個別に対応する。メールによる問い合わせ可能 (iinosa@u-fukui.ac.jp)
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
鳥越 甲順			
演習	A T対象科目	020302S1POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体を構成する骨・関節の基本構造と微細構造について専門用語で説明できる。 2. 発生、成長、老化にともなう骨の改変、骨折の修復過程について専門用語で説明できる。 3. 人体を構成する骨・関節について、各部位における構造の特徴を専門用語で言える。 4. 人体を構成する骨・関節について、体表から触知できる部位の特徴を専門用語で言える。 5. 人体を構成する骨・関節について、臨床医学で用いられる画像をみて概略を言える。
授業の概要	<p>授業の概要</p> <p>理学・作業療法学は人間の各関節を動かし、治療する手段をもっている。各関節について理解するためには、骨の形態を記憶し、体表面から骨の形態を理解しながら関節を動かすことが重要である。脊柱・上下肢模型のスケッチを行うことで複雑な関節構造の特徴と動きの制限がどのような原因により生じるか理解する。</p>
授業計画	<p>第1回 骨の基本構造と微細構造 (手稿本 序章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第2回 人体を構成する骨格を概観 (手稿本 序章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第3回 骨の発生・成長・老化、骨折の修復過程 (手稿本 序章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第4回 脳頭蓋 (手稿本 第1章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第5回 顔面頭蓋 (手稿本 第1章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第6回 脊柱を構成する骨 (手稿本 第2、3章、)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第7回 胸部を構成する骨 (手稿本 第2、4章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第8回 骨盤を構成する骨 (手稿本 第5章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第9回 上肢帯の骨 (手稿本 第8章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第10回 上腕の骨 (手稿本 第9章)</p> <p>事前学習 (0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習 (0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p>

第11回	前腕の骨 (手稿本 第9章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第12回	大腿の骨 (手稿本 第10章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第13回	下腿の骨 (手稿本 第10章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第14回	手の骨 (手稿本 第6、7章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第15回	足の骨 (手稿本 第11、12章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第16回	人体を構成する骨について総括 (手稿本 第13章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第17回	関節の基本構造と関節運動 (手稿本 第14、15章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第18回	頭蓋の縫合 (手稿本 第1章)、顎関節の構造と咀嚼運動 (手稿本 第39章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第19回	椎間関節の構造と脊柱の生理学的弯曲、脊柱の運動 (手稿本 第2、3章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第20回	肩関節 (上肢帯を含む) の構造と関節運動 (手稿本 第19章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第21回	肘関節の構造と関節運動 (手稿本 第9章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第22回	手を構成する骨・関節の構造と関節運動 (手稿本 第22章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第23回	股関節の構造と関節運動、肩関節との構造を比較 (手稿本 第10、19、30章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第24回	膝関節と関節運動、肘関節との構造比較 (手稿本 第9、10、31章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第25回	足を構成する骨・関節と関節運動 (手稿本 第12、25章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習 (0.5時間) : 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第26回	骨と関節の体表観察1. 頭部と体幹 (手稿本 第1、2、5章) 事前学習 (0.5時間) : 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。

	<p>第27回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 骨と関節の体表観察2. 上肢と下肢(手稿本 第7、8、9、10章)</p> <p>事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>第28回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 臨床医学で用いられる画像の読解(手稿本 終章)</p> <p>事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>第29回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 生の骨・関節の観察、晒骨との比較(手稿本 第40章、終章)</p> <p>事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>第30回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 骨・関節の光学顕微鏡像(手稿本 終章)</p> <p>事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>定期試験</p>
テキスト	<p>鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編 2021年 鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編・付録 演習問題集(解答付き) 2022年</p>
参考書・参考資料等	<p>F. H. マティーニ他著 井上貴央監訳 カラー人体解剖学 構造と機能：マイクロからマクロまで 西村書店 2003年</p> <p>適時、資料を配布する。</p>
学生に対する評価	<p>数回の小テスト(実物試験と筆記試験)と定期試験(筆記試験)を合わせて評価する。</p>
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	<p>随時、受け付けます。</p>
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
鳥越 甲順			
演習	A T対象科目	020303S1POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 骨格筋・腱の基本構造と微細構造について専門用語で説明できる 2. 人体の各部位における骨格筋について、起始、停止、運動作用、支配神経を言える。 3. 各関節における運動について、主動筋を踏まえて、説明できる。 4. 体表から触知できる骨格筋、腱、骨との付着部について、名称を言え、筋の運動を説明できる。
授業の概要	<p>授業の概要</p> <p>人の動きの基本は、骨、関節を動かすことである。その動力源としての筋について、走行・働き・収縮状態を理解することが重要である。ここでは筋の付着部位、筋の収縮によって起こる運動、筋を支配している神経について理解することを目的としている。</p>
授業計画	<p>第1回 骨格筋（筋と以下略）の基本構造と微細構造、運動の原理（手稿本 第13、14、15章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第2回 背部の筋（起始、停止、運動作用、支配神経、以下略）（手稿本 第36、37章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第3回 胸部の筋（手稿本 第38章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第4回 腹部の筋（手稿本 第33、34、35章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第5回 上肢帯の筋、上腕の筋（手稿本 第16、17、18、19章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第6回 前腕前面の筋（手稿本 第20、21章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第7回 前腕後面の筋（手稿本 第21、22章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第8回 手の筋（手稿本 第23、24章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第9回 寛骨の筋（手稿本 第28章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第10回 大腿前面および内側の筋（手稿本 第28、29章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第11回 大腿後面の筋（手稿本 第30、31、32章）</p>

	<p>第27回 たうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 足の運動に関わる筋（手稿本 第25、26章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第28回 骨と骨格筋の体表観察1. 頭部と体幹（手稿本 第33、36、37、39章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第29回 骨と骨格筋・腱の体表観察2. 上肢と下肢（手稿本 第16、17、20、21、22、23、29、31章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。</p> <p>第30回 骨格筋、腱、運動終板の光学および電子顕微鏡像（手稿本 第13、14、15章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 定期試験</p>
テキスト	<p>鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編 2021年 鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編 付録 演習問題集(解答付き) 2022年 鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：神経編 2021年</p>
参考書・参考資料等	<p>F. H. マティーニ他著 井上貴央監訳 カラー人体解剖学 構造と機能：ミクロからマクロまで 西村書店 2003年</p> <p>適時、資料を配布する。</p>
学生に対する評価	<p>数回の小テスト（実物試験と筆記試験）と定期試験（筆記試験）を合わせて評価する。</p>
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	<p>随時、受け付けます。</p>
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
鳥越 甲順			
演習		020304S1P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 中枢神経系と末梢神経系の基本構造と微細構造について専門用語で言える。 2 中枢神経系の構造について、臨床医学で用いられている画像をみて概略を言える。 3 脳神経について、名称と主な機能を言える。 4 運動路、知覚路について、脊髄神経の走行も含めて、専門用語で言える。 5 交感神経と副交感神経について、経路、機能を専門用語で言える。
授業の概要	リハビリテーションにおいて重要な位置を占める運動器(骨格・関節・靭帯・筋肉等)と深く関与する神経系を学習し、それらの形態と機能を理解し、専門科目の学習のための基礎知識を修得する。さらに人体そのものの理解に努めることを目指す。また、生体反応に深く関わる自律神経系についての理解を深め、その障害によりどのような症状が現われるのかについて考える。
授業計画	<p>第1回 神経の概観(手稿本 第1章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第2回 脊髄の概観(手稿本 第1章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第3回 脊髄と脊髄神経、神経叢(手稿本 第1章)、脳の概観(手稿本 第2章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第4回 大脳基底核(手稿本 第3章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第5回 間脳(手稿本 第5章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第6回 脳幹その1 中脳(手稿本 第2章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第7回 脳幹その2 橋(手稿本 第2章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第8回 脳幹その3 延髄(手稿本 第2章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第9回 運動路と運動調整系(手稿本 第3章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第10回 知覚路(手稿本 第4章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間): 授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>第11回 知覚受容器(手稿本 第4章) 事前学習(2時間): 本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p>

	<p>事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>自律神経系 副交感神経(手稿本 第5章)</p> <p>事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>自律神経系 交感神経(手稿本 第5章)</p> <p>事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>辺縁系(手稿本 第6章)、脳室系と脳脊髄液(手稿本 第6章)</p> <p>事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>脳の血管系(手稿本 第7章)</p> <p>事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。</p> <p>事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。</p> <p>定期試験</p>
テキスト	鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：神経編 2021年
参考書・参考資料等	解剖学演習III 演習問題を随時、配布 井上貴央 監訳：カラー人体解剖学、西村書店、2003年 適時、資料を配布する。
学生に対する評価	数回の中テスト(手稿本の図、供覧する資料、および、演習問題)と定期試験(筆記試験)を合わせて評価する。
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	随時、応じます。
備考	ヒト脳の観察と臨床医学への橋渡しを重視した神経解剖学の長年の教育経験を踏まえて講義する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
猪口 徳一			
講義	A T対象科目	020305LIP0SA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	生理学とは「生きていること、生きるための体の機能」を理解する学問分野である。人体を構成する60兆個の細胞は一定の機能を持つ細胞が集まり、組織や器官を形成している。さらに、それらが協働し、循環器系、神経系などの生きるための機能を発揮している。これら生命機能について分子・細胞・組織・器官といった個々のレベルで理解し説明できること、個々の生命機能が如何にして相互作用し、集約・統合されて、正常な体の機能とその恒常性維持に働いているかについて理解・説明できることを目標とする。
授業の概要	人体を構成する細胞の機能に始まり、細胞が集まって構成される器官、臓器の機能、それらの相互作用や統合によって支えられる正常な体の機能とその恒常性維持の仕組みについて解説する。本講義において特に、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、代謝・体温、の働きについて解説する。また、普段、われわれの体で起きている生理現象についての事例や、病態における生理現象についてグループワークで問題に取り組み、科学的思考能力や発表能力を養う。
授業計画	<p>第1回 〈生理学とは〉 生体の恒常性とは何かが説明できる。細胞の機能を説明できる。(教科書 p1~9) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 専用のノートを作り、授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第2回 〈血液と体液〉 血液と体液の働きについて説明できる。(p11~27) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第3回 血液と体液に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第1回~2回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第4回 〈循環1〉 心臓の働きについて説明できる。(p29~40) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第5回 〈循環2〉 血管系の働きについて説明できる。(p40~53) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第6回 循環系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第4回~5回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第7回 〈呼吸1〉 呼吸運動、換気量について説明できる。(p55~63) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第8回 〈呼吸2〉 血液ガス運搬、呼吸調節について説明できる。(p63~75) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第9回 呼吸器系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第7回~8回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第10回 〈消化と呼吸〉 食物を消化、吸収する働きについて説明できる。(p77~98) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第11回 〈尿の生成と排泄〉 腎臓と膀胱の働きについて説明できる。(p99~118) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第12回 消化器系、泌尿器系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第10回~11回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第13回 〈代謝・体温〉 エネルギー代謝と体温調節について説明できる。(p119~149) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p>

	<p>と</p> <p>第14回 エネルギー代謝と体温調節に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習（4.0時間）：教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第13回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第15回 第1回から第14回までの講義の内容を統合的に理解し、説明できる 事前学習（2.0時間）：これまでの学修で解いてきた教科書のstarter questionと、自身のノートを見て、重要事項の確認をしておくこと 事後学習（2.0時間）：これまでの学修で作成してきたノートを完成させること 定期試験</p>
テキスト	彼末一之・能勢博 著：やさしい生理学 第7版、南江堂
参考書・参考資料等	<p>毎回事前に配信する講義資料ファイル</p> <p>カラー図解 人体の正常構造と機能 第4版、日本医事新報社</p> <p>シンプル生理学 第8版、南江堂</p> <p>カスタムズ明解生理学 原著第6版、エルゼビア・ジャパン株式会社</p> <p>ギャノン生理学、丸善</p>
学生に対する評価	問題演習・発表への取り組み20%、筆記試験80%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	面談、メールにて随時可能
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
猪口 徳一			
講義		020306L1P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	生理学とは「生きていること、生きるための体の機能」を理解する学問分野である。人体を構成する60兆個の細胞は一定の機能を持つ細胞が集まり、組織や器官を形成している。さらに、それらが協働し、循環器系、神経系などの生きるための機能を発揮している。これら生命機能について分子・細胞・組織・器官といった個々のレベルで理解し説明できること、個々の生命機能が如何にして相互作用し、集約・統合されて、正常な体の機能とその恒常性維持に働いているかについて理解・説明できることを目標とする。
授業の概要	人体を構成する細胞の機能に始まり、細胞が集まって構成される器官、臓器の機能、それらの相互作用や統合によって支えられる正常な体の機能とその恒常性維持の仕組みについて解説する。本講義において特に、内分泌系、運動器系、神経系、感覚系、生殖系、の働きについて解説する。また、普段、われわれの体で起きている生理現象についての事例や、病態における生理現象についてグループワークで問題に取り組み、科学的思考能力や発表能力を養う。
授業計画	<p>第1回 〈内分泌1〉 ホルモンの働きについて説明できる。 視床下部・下垂体ホルモンについて説明できる。(教科書 p 151~162) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 専用のノートを作り、授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第2回 〈内分泌2〉 副腎、膵臓、甲状腺と上皮小体のホルモンについて説明できる。(p 162~170、p 301~310) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第3回 〈生殖〉 生殖系の働きについて説明できる。(p 171~187) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第4回 内分泌・生殖に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (1.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第1回~3回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第5回 〈筋収縮〉 筋収縮について説明できる。(p 189~202) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第6回 〈神経系の基礎〉 神経を介する信号の伝わり方について説明できる。(p 203~217) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第7回 〈自律神経系〉 自律神経系の働きについて説明できる。(p 219~240) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第8回 神経伝達と自律神経系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (1.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第5回~7回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第9回 〈脳〉 脳の高次機能について説明できる。(p 241~258) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第10回 〈運動の調節〉 運動調節に関わる脳部位の機能について説明できる。(p 283~299) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第11回 脳の高次機能、運動系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (1.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第9回~10回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第12回 〈感覚1〉 感覚の一般的性質と視覚の働きについて説明できる。(p 259~267) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第13回 〈感覚2〉 聴覚、平衡感覚、皮膚感覚、味覚、嗅覚について説明できる。(p 267~281)</p>

	<p>事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと</p> <p>第14回 感覚系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (1.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第12回～13回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと</p> <p>第15回 第1回から第14回までの講義内容を統合的に理解し、説明できる。 事前学習 (0.5時間) : これまでの学修で解いてきた教科書のstarter questionと、自身のノートを見て、重要事項の確認をしておくこと 事後学習 (0.5時間) : これまでの学修で作成してきたノートを完成させること 定期試験</p>
テキスト	彼末一之・能勢博 著：やさしい生理学 第7版、南江堂
参考書・参考資料等	<p>毎回事前に配信する講義資料ファイル カラー図解 人体の正常構造と機能 第5版、日本医事新報社 シンプル生理学 第8版、南江堂 コスタンゾ明解生理学 原著第7版、エルゼビア・ジャパン株式会社 ギャノン生理学 第26版、丸善</p>
学生に対する評価	問題演習・発表への取り組み20%、筆記試験80%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	面談、メールにて随時可能
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
村田 寛一郎			
講義		020307L1P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	身体運動の理解に必要な物理学や生体力学の知識を習得して生体の構造や機能について理解を深め、理学療法の専門科目を学ぶ基礎とする。
授業の概要	<p>身体の運動メカニズムを理解する上で必要な運動学を学習する。まず、生体力学の基礎を学び、それを元に、生体の構造と機能、四肢と体幹の運動へと学習を進める。理学療法学、作業療法学においては、障害者の異常動作を運動学に基づいて解析することで、メカニズムを理解し治療に応用する。運動動作分析の基礎を学ぶとともに障害者の体力を評価する手法、運動処方についても知る。</p> <p>運動学の定義と領域を理解し、力学的視点で身体運動を捉える。神経筋骨格系の基本構造および機能を理解する。頭部、体幹の運動学的特徴を理解する。四肢の運動学的特徴を理解する。姿勢制御と歩行の運動学および運動力学的特徴を理解する。運動学習の概念と基礎を理解する。</p>
授業計画	<p>第1回 運動学の定義、運動学と理学療法、骨の運動と関節副運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p1~18、運動学テキスト：p1~11）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第2回 生体力学、力とは、力の釣り合い、テコとモーメント 事前学習：テキスト（基礎運動学：p19~24、31-35、40-44、運動学テキスト：p12~18）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第3回 力と速度、加速度、仕事、仕事率 事前学習：テキスト（基礎運動学：p24~31、運動学テキスト：p18~25）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第4回 関節の構造と種類、骨格筋の構造と種類、収縮のメカニズム、筋線維タイプ 事前学習：テキスト（基礎運動学：p44~46、47-88、運動学テキスト：p26~40）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第5回 神経系の構造と機能と反射 事前学習：テキスト（基礎運動学：p88~135、運動学テキスト：p40~43）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第6回 顔面・咀嚼・嚥下の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p293~296、運動学テキスト：p60~73）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第7回 脊柱の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p271~292、運動学テキスト：p83~99、111~124）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第8回 頭部と頸椎の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p271-283、運動学テキスト：p83~99）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第9回 胸椎および腰椎の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p283~289、運動学テキスト：p111~124）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第10回 胸郭と呼吸運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p283~289、運動学テキスト：p137~145）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第11回 肩複合体の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p214~219、運動学テキスト：p158~162）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第12回 肩複合体の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p219~224、運動学テキスト：p163~171）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第13回 肘および前腕の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p224~226、運動学テキスト：p188~191）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p>

第14回	肘および前腕の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p226~228、運動学テキスト：p191~196）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第15回	手根および手の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p229~236、運動学テキスト：p205~208）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第16回	手根および手の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p236~245、運動学テキスト：p208~215）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第17回	骨盤および股関節の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p246~250、運動学テキスト：p226~231）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第18回	骨盤および股関節の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p250~256、運動学テキスト：p232~239）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第19回	膝関節の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p256~258、運動学テキスト：p249~253）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第20回	膝関節の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p258~260、運動学テキスト：p253~258）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第21回	下腿、足根および足部の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p260~263、運動学テキスト：p268~274）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第22回	下腿、足根および足部の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p263~271、運動学テキスト：p275~285）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第23回	姿勢とは、姿勢の安定性の要因、姿勢の分類 事前学習：テキスト（基礎運動学：p347~352、運動学テキスト：p334~338）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第24回	立位姿勢の安定性と筋活動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p352~366）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第25回	立位姿勢における重心動揺と安定性限界 事前学習：テキスト（基礎運動学：p366~372、運動学テキスト：p338~345）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第26回	歩行周期および歩行における各体節の運動（各関節の角度変化） 事前学習：テキスト（基礎運動学：p379~389、運動学テキスト：p358~362）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第27回	歩行の運動力学的特徴（床反力、関節モーメント、筋活動） 事前学習：テキスト（基礎運動学：p390~404、運動学テキスト：p363~366）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第28回	小児および高齢者の歩行の特徴 事前学習：テキスト（基礎運動学：p404~410）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第29回	運動学習およびその特徴 事前学習：テキスト（基礎運動学：p467~471）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
第30回	運動学習と運動技能の関係、運動学習に影響する要因とその効果 事前学習：テキスト（基礎運動学：p471~500）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分） 定期試験
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・細田多穂監修，藤縄理他編：シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 運動学テキスト 改訂第2版，南江堂，2015 ・中村隆一他：基礎運動学 第6版，医歯薬出版，2015。 ・配布資料
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・D. A. Neuman (著)，P. D. Andrew，有馬慶美，日高正巳（監訳）：筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版．医歯薬出版，2018 ・A. I. Kapandji (著)，塩田 悦仁（翻訳）：カラー版 カパンジー機能解剖学 I 上肢 原著第6版．医歯薬出版，2006 ・A. I. Kapandji (著)，塩田 悦仁（翻訳）：カラー版 カパンジー機能解剖学 II 下肢 原著第6版．医歯薬出版，2010

	<ul style="list-style-type: none"> ・ A. I. Kapandji (著), 塩田 悦仁 (翻訳) : カラー版 カパンジー機能解剖学 III 脊柱・体幹・頭部 原著第6版. 医歯薬出版, 2007 ・ その他、解剖学の教科書、解剖学参考書
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎			
演習	A T対象科目	020308S2POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	四肢・体幹の運動学を基礎として、人間の動きを運動・動作分析の手法を用いて解析する。
授業の概要	運動・動作課題にともなう生体力学(バイオメカニクス)を視覚的などの主観的解析と種々な動作分析機器を用いた客観的解析を行い記録・分析する。
授業計画	<p>1 姿勢・動作分析について 事前学習：テキストを読み、姿勢とその制御について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>2 姿勢・動作分析に必要な用語、基礎知識 事前学習：テキストを読み、重心について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>3 姿勢・動作分析の演習に必要な知識と方法 事前学習：テキストを読み、立位姿勢の安定性について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>4 姿勢・動作分析に必要な基礎演習 事前学習：テキストを読み、姿勢の記載と類型について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>5 姿勢・動作分析に必要な基礎演習 事前学習：テキストを読み、重心動揺と安定性限界について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>6 歩行・走行分析について 事前学習：テキストを読み、歩行周期について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>7 歩行・走行分析に必要な用語、基礎知識 事前学習：テキストを読み、歩行周期中の各相の関節の特徴について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>8 歩行・走行分析の演習に必要な知識と方法 事前学習：テキストを読み、歩行周期中の各相の金活動の特徴について確認しておく(30分) 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>9 歩行・走行分析に必要な基礎演習 事前学習：配布資料を読み、歩行・走行分析の留意事項について確認しておく(30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>10 歩行・走行分析に必要な基礎演習 事前学習：配布資料を読み、歩行・走行分析の留意事項について確認しておく(30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>11 筋電図について 事前学習：配布資料、テキスト(基礎運動学：p395~401)を読み、筋電図について確認しておく(30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>12 筋電図に必要な用語、基礎知識 事前学習：配布資料を読み、筋電図の測定の手順と留意事項について確認しておく(30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>13 筋電図演習に必要な知識と方法 事前学習：配布資料を読み、筋電図の記録方法と留意事項について確認しておく(30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>14 筋電図動作分析に必要な基礎演習 事前学習：配布資料を読み、筋電図波形の加工方法と留意事項について確認しておく(30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>15 筋電図動作分析に必要な基礎演習 事前学習：配布資料を読み、筋電図の解析方法と留意事項について確認しておく(30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める(30分)</p> <p>定期試験</p>
テキスト	中村隆一他：基礎運動学 第6版，医歯薬出版，2003 月城慶一他：観察による歩行分析，医学書院，2005
参考書・参考資料等	細田多穂他編：理学療法ハンドブック第1巻，協同医書出版，2010 公認アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト2，文光堂，2024
学生に対する評価	定期試験(筆記試験60%、レポート試験40%)

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義前後に対応する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 医療機関での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
青井 利哉・蓑輪 千帆			
講義	AT&初級障がい者スポーツ指導員 対象科目(理学・作業・言語)	020309LIPOSA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	人間の発達は、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死というライフステージに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、そうしたライフステージの特徴を踏まえつつ、支援を行うことが求められている。そのため、各ライフステージを身体的・心理的・社会的諸相が全体としてダイナミックに変化していくプロセスとして説明できることを到達目標とする。
授業の概要	人間を生涯にわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期)を経て死に至るまでの量的・質的变化について学ぶ。ライフステージの各時期に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上の課題とその解決法について考える。
授業計画	<p>第1回 総論 (担当：青井利哉) 人間発達について、発達要因、発達の基本原則、臨界期、発達段階の各視点から説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp2-6に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第2回 発達の要因 (担当：青井利哉) 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp15-30に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第3回 発達理論 (担当：青井利哉) 運動発達の理論(神経成熟理論)を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp12-14に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第4回 人間発達の見方 (担当：青井利哉) 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp15-30に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第5回 発達検査の進め方 (担当：青井利哉) 発達評価の視点や進め方を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp248-259に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第6回 胎児期・新生児期の発達 (担当：蓑輪 千帆) 胎児期、新生児期の正常発達について、その発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp15-30に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第7回 乳児期の発達 (担当：蓑輪 千帆) 乳児期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp31-50に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第8回 幼児期前期・後期の発達 (担当：蓑輪 千帆) 幼児期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp51-68に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第9回 学童期の発達 (担当：蓑輪 千帆) 学童期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp69-84に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第10回 青年期の発達 (担当：蓑輪 千帆) 青年期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp85-102に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第11回 成人期の発達 (担当：蓑輪 千帆) 成人期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書(リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp103-116に目を通しておくこと (2時間) 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p>

	<p>第12回 老年期の発達 (担当: 蓑輪 千帆) 老年期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習: 教科書 (リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp117-134に目を通しておくこと (2時間) 事後学習: 授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第13回 身体運動機能と構造の発達 (担当: 蓑輪 千帆) 身体構造の成長、発達の概要を理解し説明できる。 身体機能の獲得過程のうち、特に出生から歩行獲得までの粗大運動と手の巧緻機能の発達過程を理解し説明できる。 事前学習: 教科書 (リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp175-194に目を通しておくこと (2時間) 事後学習: 授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第14回 知覚・認知機能の発達 (担当: 蓑輪 千帆) 知覚および認知機能の発達を、能力の変化と処理方略の変化の両面から理解し説明できる。 知覚および認知機能の下位領域の発達と、その障害の概要を理解し説明できる。 事前学習: 教科書 (リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp195-214に目を通しておくこと (2時間) 事後学習: 授業で示した重要ポイントの学習 (2時間)</p> <p>第15回 情緒・社会性の発達 (担当: 蓑輪 千帆) 各発達段階における情緒、社会性の発達を理解し説明できる。 情緒、社会性の発達の特性に応じた評価法を理解し説明できる。 事前学習: 教科書 (リハビリテーションのための人間発達学 第3版) pp231-246に目を通しておくこと (2時間) 事後学習: 授業で示した重要ポイントの学習 (2時間) 定期試験</p>
テキスト	大城昌平 (編集) : リハビリテーションのための人間発達学 第3版, 株式会社メディカルプレス, 2021
参考書・参考資料等	<p>福田恵美子編著: 人間発達学(コメディカルのための専門基礎分野テキスト)、中外医学社、2012</p> <p>鈴木光太郎著: ヒトの心はどう進化したのかー狩猟採集生活が生んだもの、筑摩書房、2013</p> <p>細田多穂監修: 人間発達学テキスト(シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ)、南江堂、2014</p> <p>服部祥子著: 生涯人間発達論、医学書院、2010</p> <p>公益財団法人 日本スポーツ協会 (編) : Reference Book, 2019</p> <p>山田弘幸 (編著) : 言語聴覚士のための心理学、医歯薬出版、2012</p> <p>(公財) 日本障がい者スポーツ協会 (編), 障がいのある人のスポーツ指導教本, 株式会社ぎょうせい</p>
学生に対する評価	筆記試験100% (蓑輪70%, 青井30%)
課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法	<p>青井 : 月・木・金の9時から12時、火・水の13時から17時</p> <p>蓑輪 : 月曜日～金曜日 研究室在室時、随時</p>
備考	<p>青井 : 小中学校でのスクールカウンセラー実務経験を基に、当講義を進める。</p> <p>蓑輪 : 病院で発達障害児への作業療法を実践した経験を基に、当講義を進める。</p> <p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
青井 利哉			
講義		020401L3POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	臨床心理学の実践的知識、カウンセリングや心理療法などの技能の体系的な学習を通して、医療機関や福祉施設で対人援助サービスを行うための基本的な態度や心構えを身に付ける。		
授業の概要	臨床心理学とは、心理学を中心とした知識や理論を用いて、こころの問題を抱えたり、さまざまな生活上の問題に苦しむ人たちの現状と背景を理解し、その援助について研究・実践する学問である。本講義では人間理解の手がかりとなる諸理論を学び、人が適応・成長するとはどういうことかを考える。また、心理検査、心理療法の基本的な成り立ちについて説明する。講義の後半では、基本的な心理的介入の技法について、演習も交えながらできる限り具体的に伝えたい。さらに臨床心理学の実践領域のいくつかを取り上げ、それぞれの対象者や留意点について学ぶ。		
授業計画	第 1 回	臨床心理学とはなにか 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 2 回	心理的問題とその影響 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 3 回	ライフサイクルに伴う心の問題 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 4 回	フロイトの精神分析学と力動的心理療法 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 5 回	クライアント中心療法 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 6 回	学習理論と行動療法 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 7 回	遊戯療法の原理と実際 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 8 回	心理学的アセスメントについての理解 ①診断 見立て 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 9 回	心理学的アセスメントについての理解 ②心理検査（知能検査、発達検査） 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第10回	心理学的アセスメントについての理解 ③心理検査（性格検査） 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第11回	カウンセリングの基礎 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第12回	カウンセリングの実践 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第13回	臨床心理学が関連する領域 ①医療・福祉 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第14回	臨床心理学が関連する領域 ②教育	

	<p>事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 事例の紹介とまとめ 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 定期試験</p>
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリントを配布する
参考書・参考資料等	松井豊(監修), 杉江征(編集), 青木佐奈枝(編集) スタンダード臨床心理学 サイエンス社 2015 本城秀次, 河野荘子, 永田雅子, 金子一史 心理臨床における多職種との連携と協働 岩崎学術出版社 2015
学生に対する評価	筆記試験80%、講義中に指示する課題20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日、水曜日の午後 研究棟2階教員室
備考	小中学校でのスクールカウンセラー実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
供田 文宏			
講義		020402L2POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日常のリハビリテーション実施において不可欠な内科的疾患の医学的情報や病気の成り立ちを理解する。呼吸器疾患、消化器疾患、循環器疾患、血液疾患における病態の把握、検査と診断の進め方、治療について学習する。		
授業の概要	リハビリテーションに必要な内科的疾患の概要、病態、診断、治療を学習し、治療法に関しては、疾病の病態、症状と理学・作業・言語聴覚療法との関係を理解する。疾患としては、呼吸循環系、循環器系、血液・造血系、消化器系の各種疾患について学ぶ。		
授業計画	第1回	呼吸器の解剖と生理、呼吸器疾患の症候および検査 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第2回	閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患の病態および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第3回	肺炎、気管支拡張症、肺癌の病態および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第4回	サルコイドーシス、気胸、肺水腫の病態および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第5回	心臓血管系の解剖と生理、循環器疾患の症候および検査、心不全の症候および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第6回	不整脈の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第7回	虚血性心疾患と心臓弁膜症の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第8回	先天性心疾患、心筋症、心内膜炎、肺高血圧、肺性心の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第9回	高血圧症、大動脈疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第10回	食道、胃の疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第11回	小腸、大腸の疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第12回	肝臓疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第13回	胆道、膵臓、腹膜の疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第14回	貧血の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第15回	白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫、血小板減少および凝固異常の検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
テキスト	寺野 彰著：シンプル内科学 改定第2版、南江堂出版、2017年出版		
参考書・参考資料等	特になし		
学生に対する評価	筆記試験 100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	14時から17時に研究室6で随時受けつける。 講義中および終了時に適宜返答する。		

備考	担当教員は富山大学附属病院で従事した内科診療、急性期医療、病理検討業務の経験を基に、当講義を進める。 また、担当教員は富山大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
供田 文宏・林 浩嗣			
講義		020403L2POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日常のリハビリテーション実施において不可欠な内科学的疾患の医学的情報や病気の成り立ちを理解する。内科学の総論および腎尿路系疾患、電解質および酸塩基平衡の異常、代謝・内分泌疾患、小児疾患における病態の把握、検査と診断の進め方、治療について学習する。
授業の概要	リハビリテーションに必要な内科学的疾病の概要、病態、診断、治療を学習し、治療法に関しては、疾病の病態、症状と理学・作業・言語聴覚療法との関係を理解する。 (オムニバス方式全15回) (供田文宏/12回) 成人における腎尿路系疾患、電解質および酸塩基平衡の異常、代謝・内分泌疾患について学ぶ。 (林 浩嗣/3回) 小児疾患について学ぶ。
授業計画	<p>第1回 病気の成り立ち、生命徴候、検査と治療の概要 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第2回 腎臓の解剖と生理、腎臓疾患の検査 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第3回 急性腎障害と慢性腎不全の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第4回 糸球体腎炎、慢性腎臓病、ネフローゼ症候群の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第5回 間質性腎炎と全身性疾患による腎障害の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第6回 尿管・膀胱・前立腺の疾患の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第7回 水・電解質代謝および酸塩基平衡の異常における病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第8回 視床下部・下垂体疾患、甲状腺の疾患での病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第9回 副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患での病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第10回 糖尿病の概念、病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第11回 糖尿病の急性合併症と慢性合併症の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第12回 脂質代謝異常と尿酸代謝異常の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)</p> <p>第13回 小児の発達と成長、胎児医学と出生前医学 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容に関する資料を配布するので事前学習しておくこと (0.5時間)</p>

	<p>第14回 事後学習：配布資料、課題で事後学習しておくこと（0.5時間） 周産期障害、脳性麻痺と運動器疾患、てんかんと痙攣性疾患の病態および治療 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容に関する資料を配布するので事前学習しておくこと（0.5時間） 事後学習：配布資料、課題で事後学習しておくこと（0.5時間）</p> <p>第15回 小児の感染症、その他の疾患の病態および治療 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容に関する資料を配布するので事前学習しておくこと（0.5時間） 事後学習：配布資料、課題で事後学習しておくこと（0.5時間）</p>
テキスト	寺野 彰著：シンプル内科学 改定第2版、南江堂出版、2017年出版
参考書・参考資料等	特になし
学生に対する評価	<p>供田文宏：筆記試験のみ 80%</p> <p>林 浩嗣：筆記試験のみ 20%</p>
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	<p>供田文宏：14時から17時に研究室6で随時受けつける。講義中および終了時に適宜返答する。</p> <p>林 浩嗣：講義中および終了時に適宜返答する。</p>
備考	<p>【実務経験について】</p> <p>供田文宏：富山大学附属病院で従事した内科診療、急性期医療、病理検討業務の経験を基に、当講義を進める。 また、富山大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。</p> <p>林 浩嗣：福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務(勤務)経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
佐藤 万美子			
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	主要な神経症候の診かたと正確な神経学的検査法を学習する。
授業の概要	神経疾患に関する正確な知識を得るために、神経解剖、局所解剖、病態生理をもとに神経症候について理解する。また、主要な神経症候の診かたと正確な神経学的検査法を学習することで、各種神経疾患の診断に結びつく基礎を身につける。
授業計画	<p>第1回 病歴のとりかた、診察の順序 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第2回 運動機能の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第3回 運動麻痺の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第4回 反射の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第5回 感覚・感覚障害の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第6回 脳神経の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第7回 脳神経障害の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第8回 精神状態の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第9回 意識障害患者の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第10回 小脳機能の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第11回 小脳障害の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第12回 不随意運動の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第13回 失語、失行、失認の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第14回 局在診断のすすめ方 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p>

	<p>第15回 重要点の補充 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 定期試験</p>
テキスト	病気がみえるvol.7 脳・神経：メディックメディア
参考書・参考資料等	配布資料
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	<p>【実務経験について】 大学病院、一般病院において、神経内科医・リハビリテーション科医としての実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
佐藤 万美子			
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	各種神経疾患の病因、病理、病状、経過、検査診断、治療に至るまでを学習する。
授業の概要	臨床神経学で学んだ神経症候の解剖学的背景や補助検査について理解する。さらに各種神経疾患の症状や特徴的所見について学び、神経学的診察から診断に至る過程を理解する。
授業計画	<p>第1回 解剖 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第2回 神経細胞、伝導路 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第3回 運動の調節 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第4回 大脳・脳幹 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第5回 高次脳機能障害 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第6回 遺伝 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第7回 脳血管障害 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第8回 頭部外傷・脳腫瘍 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第9回 感染症 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第10回 神経変性疾患 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第11回 認知症・頭痛・てんかん 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第12回 神経・筋接合部疾患 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第13回 末梢神経障害 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第14回 重要点の補充(1) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第15回 重要点の補充(2)</p>

	<p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 定期試験</p>
テキスト	病気がみえるvol.7 脳・神経：メディックメディア
参考書・参考資料等	配布資料
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>【実務経験について】 大学病院、一般病院において、神経内科医・リハビリテーション科医としての実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
大橋 義徳			
講義	A T対象科目	020406L1POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	四肢外傷、脊椎疾患と外傷、脊髄疾患と脊髄損傷、末梢神経の疾患と損傷、神経筋疾患、膠原病、アレルギー・免疫疾患、内分泌・代謝・栄養疾患等のリハビリテーション医学と密接な関係にある整形疾患についての理解を深める。
授業の概要	整形外科の基礎を理解するために、整形外科的診断法、整形外科的治療手技、手術法、機能障害の回復を目的とした機能再建術等について学ぶ。
授業計画	<p>第1回 整形外科疾患に必要な解剖を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第2回 肩関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第3回 肘関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第4回 手関節および手指の疾患、足関節および足部の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第5回 股関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第6回 膝関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第7回 骨折の性状、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第8回 腰椎疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第9回 頸椎・胸椎疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第10回 骨端症、骨系統疾患を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第11回 四肢切断・末梢循環障害を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第12回 骨代謝性疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第13回 骨軟部腫瘍の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第14回 関節リウマチおよびリウマチ類縁疾患を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p>

	<p>第15回</p> <p>まとめ・国家試験問題の演習など。</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間）</p> <p>事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>定期試験</p>
テキスト	<p>鳥巢 岳彦・国分 正一編：標準整形外科学, 医学書院, 2005</p> <p>公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト3 スポーツ外傷・障害の基礎知識（公益財団法人日本スポーツ協会 発刊）</p>
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p> <p>【実務経験について】 病院で急性期病棟や手術室で勤務した経験を基に、当講義を進める。 整形外科医での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
小坂 正裕			
講義	A T対象科目	020407L1POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	本講義では、アスレティックトレーナーが活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害の基礎的知識について理解する
授業の概要	上肢・下肢・体幹の主なるスポーツ外傷の病態、評価方法及び、重篤な外傷、年齢、性差によるスポーツ外傷の特徴を習得することをねらいとする。
授業計画	<p>第1回 スポーツ外傷・障害総論について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第2回 頸部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第3回 腰・背部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第4回 肩関節・上腕のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第5回 肘関節のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第6回 前腕・手・手指のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第7回 骨盤・股関節のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第8回 大腿部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第9回 膝関節のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第10回 膝関節・下腿のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第11回 足関節・足部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第12回 足関節・足部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第13回 頭部・胸腹部のスポーツ外傷について基本的な知識を習得できる 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第14回 顔面のスポーツ外傷について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第15回 年齢・性別によるスポーツ外傷・障害の特徴およびメディカルチェックについて基本的な知識を</p>

	<p>習得できる 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 定期試験</p>
テキスト	アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト3 スポーツ医学概論 監修 河野一郎 他 2024
参考書・参考資料等	鳥巢岳彦／国分正一：標準整形外科学第9版，医学書院 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト3 スポーツ外傷・障害の基礎知識（公益財団法人日本スポーツ協会 発刊）
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p> <p>【実務経験について】 大学病院や一般病院において、外来・病棟や手術室で勤務した経験をもとに当講義を進める。 整形外科での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
小俣 直人			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学・作業・言語)	020408L1POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	精神と行動の障害における病態、診断などに関する基本的な知識を習得し理解することを目的とする。
授業の概要	精神医学の概念を学び、精神症状の特徴を理解する。疾患としては、統合失調症、躁うつ病、てんかんを中心にその評価診断法、治療法を学ぶ。 精神医学とは、精神疾患の診断・治療を担当すると同時に、精神症状で苦しんでいる人々のこころを理解し、必要な援助を行うことである。対象となる患者の身体のみならず精神状態や、おかれている社会的状況を正確に把握する資質を養うことも重要である。また精神障害者が地域社会で生活するうえでのリハビリテーションについても理解することが肝要である。
授業計画	<p>第1回 精神疾患の分類、精神症状学 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第2回 面接、精神療法 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第3回 認知症1 (総論、変性性認知症) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第4回 認知症2 (脳血管性認知症)、発達障害 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第5回 てんかん 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第6回 薬物・アルコール依存 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第7回 統合失調症1 (症状、診断) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第8回 統合失調症2 (治療) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第9回 気分障害1 (うつ病) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第10回 気分障害2 (双極性障害) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第11回 神経症1 (不安障害など) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第12回 神経症2 (解離性障害、身体表現性障害など) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第13回 睡眠障害、摂食障害 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p>

	<p>第14回 パーソナリティ障害、性同一性障害、自殺 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)</p> <p>第15回 精神保健福祉と司法精神医学 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分) 定期試験</p>
テキスト	プリント
参考書・参考資料等	飯高哲也編：メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 精神医学、理工図書 (公益)日本障がい者スポーツ協会(編)、障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)(株)ぎょうせい
学生に対する評価	定期試験(筆記試験)90%、修学態度10%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	講義中および講義終了後に適宜返答する。
備考	精神科病棟や精神科外来で勤務した経験を基に、当講義を進める。 精神科医での実務(勤務)経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
供田 文宏			
講義		020409L1POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	医療に関わる者として、疾病の原因 (etiology) と発症機序 (pathogenesis) について学び、患者の生活機能の欠落がどのようにして起こってきたのかを十分に理解し、理学療法・作業療法及び言語療法に役立てることを目標とする。
授業の概要	病理学は疾病(病気)の特性を形態像から理論的に体系づけた学問であり、具体的には疾病の原因、病態、経過、予後などを学習する。病理学総論と各論に分けて行う。 総論では、萎縮、変性、壊死、代謝障害、肥大、再生、肉芽組織と創傷治癒、化生、移植、異物の処理、循環、貧血、充血、鬱血、出血、ショック、血栓症、塞栓症、梗塞症、体液循環障害、炎症、自己免疫疾患、炎症、腫瘍等について、理解を深める。 また、各論では、それぞれの症状がみられる疾患について学習し、診断と治療法について学ぶ。
授業計画	<p>第1回 刺激や障害に対する細胞・組織の病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第2回 出血、浮腫、血栓・塞栓症の病態と病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第3回 ショックと高血圧の病態と病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第4回 生体の免疫機構とその異常 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第5回 炎症と自己免疫性疾患 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第6回 感染症の発症機序、検査および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第7回 細菌・ウイルス・結核菌の感染症の特徴と形態異常 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第8回 先天異常と腫瘍の発症機序と病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p>
テキスト	寺野 彰著：シンプル内科学 改定第2版、南江堂出版、2017年出版 小林正伸ら著：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的なしくみ、南山堂出版、2017年(第2版)出版
参考書・参考資料等	特になし
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	14時から17時に研究室6で随時受けつける。 講義中および終了時に適宜返答する。
備考	担当教員は富山大学附属病院で従事した内科診療、急性期医療、病理検討業務の経験を基に、当講義を進める。 また、担当教員は富山大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学、作業、言語
担当教員			
林 浩嗣			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(言語)	020410L2POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の診断方法を理解し、評価できるようにする。 ・障害に関係する診断技術について理解する。
授業の概要	リハビリテーション医学は様々な疾患により発生した、身体的、心理的障害に対して、正しい診断と評価を行い、早期の社会復帰を目標に行う医療である。リハビリテーションで行われている評価手技(医用画像を含む)を理解し、代表的疾患についてのリハビリテーション医学診断学の基礎的知識を獲得する。また日本におけるリハビリテーション専門医制度を理解し、急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション、維持期リハビリテーションにおける専門医とのかかわりについて学ぶ。
授業計画	<p>第1回 運動障害の仕組みについて理解する。疼痛の評価について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第2回 循環について理解する。呼吸について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第3回 小児の発達を評価できる。失語症と構音障害について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第4回 嚥下障害について理解する。患者の心理を理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第5回 高次脳機能障害について理解し評価できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第6回 排泄について理解し治療できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第7回 リハビリテーションに必要な画像を読影できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p> <p>第8回 身体障がい・内部障がいについて理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (2時間)</p>
テキスト	千野直一監修：現代リハビリテーション医学 改訂第4版、金原出版、2017年
参考書・参考資料等	(公財)日本障がい者スポーツ協会(編)、障がいのある人のスポーツ指導教本、株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	【実務経験について】 福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務(勤務)経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】看護、理学、作業
担当教員			
林 浩嗣			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(看護)	020411L2PON	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	リハビリにおける基本的治療法について理解を深める。
授業の概要	リハビリテーション医学における代表的疾患である脳卒中、脳性麻痺、脊髄損傷、慢性関節リウマチ、呼吸循環器障害に対する評価治療についての理解を深める。特に、それぞれの疾患に共通の合併症については、その発生機序、予防的観点（疾病及び障害の予防を中心とした第1次予防から第3次予防にかけての基礎を含む）について、症例を通して学習する。また虚弱老人に対する予防的側面を踏まえた転倒予防に関する取り組みについても学習する。
授業計画	<p>第1回 運動療法について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第2回 マッサージ・マニピュレーションの適応について理解する。物理的エネルギーを利用した治療を理解する。バイオフィードバックを理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第3回 牽引療法・水治療・電気治療について理解し実践できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第4回 神経ブロックについて理解する。基本動作訓練について理解し実践できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第5回 歩行障害について理解し治療できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第6回 作業療法・言語療法について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第7回 患者の心理について理解する。義肢装具療法の適応を理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p> <p>第8回 リハビリテーションに必要な機器について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）</p>
テキスト	千野直一監修：現代リハビリテーション医学 改訂第4版、金原出版、2017年
参考書・参考資料等	（公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本、株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	【実務経験について】 福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】看護、理学、作業
担当教員			
大林 洋子・中島 有紀			
講義		020412L2PON	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	対象者の健康状態を把握し、その健康レベルに合わせて、健康生活の維持・増進・回復への援助について教授する。さらに、その中で必要となる栄養は、個人が抱える健康障害との関連も大きいと、多角的に栄養に関するアセスメントができるための基礎知識、療養生活と栄養、食事指導等について教授する。
授業の概要	(オムニバス方式全8回) (中島有紀/4回) 栄養状態の評価と栄養摂取量、病院食の特徴と種類、摂食・嚥下障害や代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則と実際、高齢者の特徴と栄養の基本等について教授する。 (大林洋子/4回) 代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則と実際、妊産婦・小児の特徴と栄養の基本、褥瘡対策やNSTの活動等について教授する。
授業計画	<p>第1回 栄養状態の評価結果をもとに適切な改善策を考える事ができる。主な栄養素の働きと内容を理解できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第2回 高齢者の栄養管理の基本と摂食嚥下障害について理解できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第3回 病人食の分類と特徴、代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第4回 代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第5回 代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第6回 代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第7回 術前・術後、癌患者の栄養管理、更年期・妊産婦・小児の栄養管理の基本を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間)</p> <p>第8回 医療保険制度・介護保険制度と食事療養、NST活動について理解する。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間) 定期試験</p>
テキスト	・中村丁次他：系統看護学講座 別巻5 栄養食事療法, 医学書院
参考書・参考資料等	

学生に対する評価	筆記試験：中島 有紀50%・大林 洋子50% (全ての教員の試験を受験した上で評価します。)
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	<p>【実務経験について】</p> <p>大林洋子：病院で急性期病棟などで勤務した経験を基に、当講義を進める。管理栄養士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。</p> <p>中島有紀：管理栄養士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
村松 郁延			
講義		020413L2P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	薬理学および薬物療法に関わる基本的な知識を習得し理解することを目標とする。
授業の概要	医療において薬物療法は重要な治療法である。医療従事者は患者の状態をアセスメントし指導する上で、また、医療事故を防止するためにも薬物に関する知識が不可欠である。医療的ケアを行う上で必要な薬理の知識をまとめて学ぶ。 内容は、薬物の作用と体内動態、薬効に影響を及ぼす因子、薬物の相互作用と有害作用、末梢および中枢神経作用薬、循環器系作用薬、抗腫瘍薬、抗感染症薬 等である。
授業計画	<p>第1回 薬理学総論 — 薬理学の基本的考え方を理解する 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第2回 末梢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第3回 末梢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第4回 中枢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第5回 中枢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第6回 循環器神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第7回 呼吸器作用薬、消化器作用薬、抗炎症薬の薬理 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第8回 抗感染症薬、抗腫瘍薬の薬理 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間) 定期試験</p>
テキスト	毎回、資料を提供する
参考書・参考資料等	吉岡 充弘 他：系統看護学講座 薬理学, 医学書院, 2022
学生に対する評価	レポート試験 100 %
課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
菅野 智也			
講義	A T対象科目	020414L1POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	スポーツ現場における救急対応の考え方を理解し、外傷、障害の評価や基本的な救急対応について説明・実践できる。また、内科疾患に対する救急対応について説明・実践できる。
授業の概要	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの役割における「救急対応」の位置づけを理解したうえで、医療資格保持者へ引き継ぐためにできる最高レベルの救急対応の実践的な知識、態度や技術を習得することをねらいとする。合わせて、スポーツ活動現場における救急対応の特性と意義を理解することをねらいとする。具体的な目標を次のようにあげる。 スポーツ現場における救急対応の考え方を理解し、外傷、障害の評価や基本的な救急対応について説明・実践できる。また、内科疾患に対する救急対応について説明・実践できる。
授業計画	<p>第1回 スポーツ現場と救急対応について 事前学習：テキストp2～p5を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第2回 救急対応の考え方について 事前学習：テキストp8～p11を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第3回 スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画について 事前学習：テキストp14～p19を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第4回 スポーツ現場における救急体制計画の実際について 事前学習：テキストp19～p27を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第5回 スポーツ現場での外傷・障害の初期評価について／スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画について 事前学習：テキストp30～p35を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第6回 スポーツ現場での外傷・障害における体位管理と保温、搬送法について 事前学習：テキストp36～p47を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第7回 スポーツ現場での外傷・障害における体位管理と保温、搬送法の実践 事前学習：テキストp36～p47を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第8回 創傷・出血における救急対応について 事前学習：テキストp50～p56を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第9回 創傷・出血における救急対応についての実践 事前学習：テキストp50～p56を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第10回 打撲・捻挫・肉離れの救急対応について 事前学習：テキストp57～p62を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第11回 心停止の病態と医学的留意事項・救急対応の意義について 事前学習：テキストp124～p129を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第12回 心停止の救急対応について 事前学習：テキストp129～p136を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第13回 心停止の救急対応の実践 事前学習：テキストp129～p136を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第14回 熱中症の救急対応について 事前学習：テキストp137～p150を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第15回 スポーツでよくみられる内科的疾患の救急対応について 事前学習：テキストp151～p162を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 定期試験</p>
テキスト	①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第5巻 救急対応、2022
参考書・参考資料	Reference Book (公益財団法人日本スポーツ協会 発行)

等	
学生に対する評価	定期試験 レポート試験40%、筆記試験 60%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義前後に対応する
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 医療機関での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
堀 秀昭			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学・作業・言語)	020501LIP0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	リハビリテーションの概念について理解する。
授業の概要	リハビリテーションの歴史、概念、理念および、その仕組みについて理解する。具体的にはリハビリテーションの定義から始まり、リハビリテーションの諸相である、医学的リハビリテーション（自立支援を含む）、教育的リハビリテーション、職業的リハビリテーション（就労支援を含む）、社会的リハビリテーション（地域包括ケアシステムを含む）の違いについて学習する。また、障害の分類については、ICFの分類を中心に、現在の患者の置かれている状況を把握する。その他、リハビリテーションチームの役割、QOL、保健医療制度、公的介護保険制度などについて学ぶ。
授業計画	<p>第1回 リハビリテーションの歴史及び概念 事前学習：講義資料を確認しリハビリテーションの歴史（古代～現代）を確認する（2時間） 事後学習：リハビリテーションの歴史を学び、その変遷を歴史的なキーポイントから整理する（2時間）</p> <p>第2回 医学的リハビリテーションについて（障害者の自立支援を含む） 事前学習：医学的リハビリテーションとは何か。急性期、回復期、生活期に分けて確認する（2時間） 事後学習：医学的リハビリテーションの範囲を理解し、そこに生じる廃用症候群を整理し理解する（2時間）</p> <p>第3回 国際生活機能分類（ICF）について 事前学習：ICFとICIDHの違いを確認する（2時間） 事後学習：ICFが制定された時代背景を理解し、ICFの求めている内容を整理する。（2時間）</p> <p>第4回 教育的リハビリテーションについて 事前学習：教育的リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：統合教育の現状を整理し、教育的リハビリテーションがどのように進められているか整理する（2時間）</p> <p>第5回 職業的リハビリテーションについて（就労支援を含む） 事前学習：職業的リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：職業的リハビリテーションの進め方を整理し、ビデオから現状を認識、レポートを作成し理解を深める（2時間）</p> <p>第6回 社会的リハビリテーションについて（地域包括ケアシステムを含む） 事前学習：社会的リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：社会的リハビリテーションの進め方を整理し、自治体の進める地域包括ケアを確認する（2時間）</p> <p>第7回 地域リハビリテーション（介護保険制度） 事前学習：地域リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：地域リハビリテーションの進め方を整理し、介護保険との関係性を確認する（2時間）</p> <p>第8回 レポート発表 事前学習：障害の受容、インフォームドコンセント等について確認する（2時間） 事後学習：発表内容を理解し、リハビリテーションに対する関連知識を整理する（2時間） 定期試験</p>
テキスト	（公益）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本 株式会社ぎょうせい 配布資料
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	試験100%、レポート（加点方式）20% 発表（加点方式）20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	担当教員は、リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
山口 明夫			
講義		020502L1POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	将来医療職に携わる者として以下のことを理解し、判断できる知識の修得を目標とする。 医学概論として、医学・医療とはなにか、現代の医療・福祉の抱えている問題点を学ぶ。
授業の概要	人々の健康を保持・増進するために、これまでの保健・医療・福祉に新しい発想が求められ、時代とともに制度改革がなされている。医療職として人々の健康を支援するには、保健・医療・福祉制度を総合的に理解し、それらを調整できる能力が求められている。 また、医療職は人の心に直接ふれる仕事である。医療の変遷から、生命倫理や患者の権利、価値観や人格を尊重した医学的ケアについての考えを深め、専門職としてのアイデンティティを形成する基盤とする。内容は、医学医療の歩み、保健・医療・福祉制度とその動向、現代医療の特性と医の倫理、医療安全、情報開示、終末期医療などである。
授業計画	<p>第1回 医学・医療の歩み、疾病の成り立ちや健康の概念を理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）</p> <p>第2回 死因、疾病構造の変化や疫学、生活習慣と病気など生活と健康について理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）</p> <p>第3回 疾病の診断と治療や患者の権利、医療人の義務などの医学と医療の実践を理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）</p> <p>第4回 日本の医療制度を踏まえ、医療施設や医療保険制度などの医療供給体制を理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）</p> <p>第5回 医療人として倫理規定を理解し、医療安全や感染症対策などに関する知識を会得し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）</p> <p>第6回 医療における患者の権利、病状告知、インフォームド・コンセントなどを理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）</p> <p>第7回 環境保健、脳死と臓器移植を理解し、問題点を説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）</p> <p>第8回 緩和医療や安楽死、尊厳死などを含めた終末期医療について理解し、問題点を説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間） 定期試験</p>
テキスト	なし
参考書・参考資料等	・小阪樹徳編：新体系看護学12 現代医療論、メディカルフレンド社、平成26年度 ・過去の国家試験問題集
学生に対する評価	1. 筆記試験（授業のプリントより出題する） 100% 2. レポートの提出を求める事もある。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	授業担当日で、講義終了後。ただし原則としてアポイントメントを取ることを。
備考	【実務経験について】

大学病院で急性期病棟や手術室で勤務した経験を基に、当講義を進める。 消化器外科医での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。 医学部長、病院長としての実務経験を基に、医療制度、医療安全、終末期医療などについて講義する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
浅井 智恵美			
講義		020503L3POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1、チーム医療の構成員として自身の専門性を活かし積極的に医療に参画することができるようになるために、チーム構成員の職能、医療倫理をはじめとするチーム医療の基礎知識を習得する。 2、関係職種と協働し、ともに地域社会の人々の保健・医療・福祉・教育に貢献できるような態度を身に付け職種間のコミュニケーションの重要性を理解する
授業の概要	医療に携わる専門スタッフには、職能の発揮だけではなく、相互理解と綿密な連携によるチームアプローチが求められる。そのためには、各専門スタッフの職域を理解し、それぞれに課された役割を理解する必要がある。 内容は、チーム医療の歴史、必要性、実際、各専門職域と役割、医療現場、在宅現場における事例を提示し、それぞれの職種の関わりを教授する。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 医療のイメージ 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第2回 チーム医療とは チーム医療の起源 医療従事者の捉えるチーム医療 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第3回 チーム医療における患者医療者関係 患者参加 チームの中での医療者・患者・家族の役割 患者中心の協働的なチームアプローチ 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） チーム医療の倫理 チーム医療の倫理性 倫理的効用を高める民主的なチーム体制 インフォームドコンセント 各専門職の職能 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第4回 コミュニケーション論 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第5回 チームダイナミクス PTOTSTNsの立場からの重要な視点とは（チームの立場を理解する） 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第6回 日本の保健・医療・福祉システム 地域包括ケアシステム 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第7回 チーム医療の実際 専門職の協働(病院内) 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第8回 チーム医療の実際 地域医療におけるチーム医療 これからの医療ケア 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験</p>
テキスト	鷹野 和美編著 チーム医療論、医歯薬出版株式会社、2002年
参考書・参考資料等	細田 満知子著：「チーム医療」とは何か 医療とケアに生かす社会学からのアプローチ、日本看護協会出版会、2012年出版 水本清久 岡本 牧人 石井 邦雄 土本 寛二編著：実践チーム医療論 実際と教育プログラム、医歯薬出版株式会社、2011

	年
学生に対する評価	筆記試験 90% 提出記録物 10%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了中に適宜返答する
備考	<p>【実務経験について】 総合病院病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 看護師、保健師、訪問看護師、介護支援専門員、地域包括支援センターでの実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】看護、理学【選択】作業
担当教員			
出口 洋二			
講義	養護教諭対象科目	020504L1PONH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	「環境」をあらゆる角度から捉え、健康に及ぼす影響と健康を保つための施策を理解し、医療技術に活用できる能力を修得する。
授業の概要	環境の変化は人々の健康に影響し、社会的な問題となっている。また、人口動態の変化や疾病構造の変化も社会的な問題となっている。人々の健康な生活を支援する者として、これらに関する知識をもち広い視野で医療技術を考えなければならない。ここでは「環境」をあらゆる角度から捉え、健康に及ぼす影響と健康を保つための施策を理解し、医療技術に活用できる能力を養う。 内容は、生活環境と健康、教育環境と健康、労働環境と健康、人口動態と健康指標、疾病予防と健康管理、健康と衛生行政等である。
授業計画	<p>第1回 包括的医療と公衆性活動の特徴 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第2回 疫学の考え方と研究方法 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第3回 集団の健康指標と保健統計の意義 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第4回 健康施策の現状と課題（1）母子保健・学校保健 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第5回 健康施策の現状と課題（2）産業保健・老人保健 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第6回 環境施策の現状と課題（1）食品衛生 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第7回 環境施策の現状と課題（2）空気・水・廃棄物 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第8回 総まとめ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験</p>
テキスト	小山洋・辻一郎編 『シンプル衛生公衆衛生学 2025』（南江堂）
参考書・参考資料等	厚生労働協会編 『国民衛生の動向 2024/25』
学生に対する評価	評価点＝ 提出課題（20点）＋筆記試験（80点、持込なし）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学【選択】作業
担当教員			
石田 圭二			
講義		020505L3P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	授業の到達目標及びテーマ ナラティブ理論の基礎を学習し、臨床場面で実践ができるように演習を行う。
授業の概要	授業の概要 対象者の小さな言動の捉え方と、それらを積み重ねる作業のポイントをおさえ、対象者の気持ちに寄り添うアプローチを身につけられるように指導する。また、学生自身が人生の肯定感、その共有、自分の人生ストーリーへの影響、その物語の方向性などを考えられるように教授する。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、ナラティブとは① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p> <p>第2回 ナラティブとは② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p> <p>第3回 医療の中のナラティブ① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p> <p>第4回 医療の中のナラティブ② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p> <p>第5回 医療対象者のナラティブ① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p> <p>第6回 医療対象者のナラティブ② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p> <p>第7回 医療者のナラティブ① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p> <p>第8回 医療者のナラティブ② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること</p>
テキスト	野口雄二 「物語としてのケア ナラティブアプローチの世界へ」（医学書院2002年）
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	授業中に行う演習課題およびレポートの提出100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00まで随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験をもとに当講義を進める。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【必修】言語【選択】作業、理学
担当教員			
堀 秀昭			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(言語)	020506L4POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	社会保障制度について理解する。
授業の概要	コミュニケーション障害者が置かれている様々な環境を理解し、言語聴覚士がコミュニケーション障害者に最善のサービスを行うために、社会保障制度の知識は必須である。現在の社会保障制度の構成と制度を学び、社会福祉の法律が運用どのように運用されているかを理解する。また、実際の障害者に関する施策と実施体制を理解する。さらに、介護保険を始めとする介護保障とその制度の運用を理解する。その上に、直接援助技術、間接援助技術、その他の関連専門援助技術を知る
授業計画	<p>第1回 社会保障の概念と社会福祉について 事前学習：社会保障の目的、機能を確認する（2時間） 事後学習：ノーマライゼーション、自立支援を整理する（2時間）</p> <p>第2回 社会保険の概要について① 事前学習：社会保険制度の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：社会保険制定の歴史的背景を整理する（2時間）</p> <p>第3回 社会保険の概要について② 事前学習：医療保険と年金保険の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：医療保険と年金保険の対象範囲を整理する（2時間）</p> <p>第4回 介護保険法について 事前学習：介護保険の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：介護保険の対象範囲を整理する（2時間）</p> <p>第5回 高齢者福祉について 事前学習：高齢者福祉の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：高齢者福祉の対象範囲を整理する（2時間）</p> <p>第6回 障害者福祉について 事前学習：高齢者福祉の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：高齢者福祉の対象範囲を整理する（2時間）</p> <p>第7回 児童福祉について 事前学習：児童福祉の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：児童福祉の対象範囲を整理する（2時間）</p> <p>第8回 社会福祉援助技術について 事前学習：ケースワーク、グループワークを確認する（2時間） 事後学習：社会福祉援助技術の意義、役割を整理する（2時間） 定期試験</p>
テキスト	西村淳著：健康支援と社会保障制度3 社会福祉，メヂカルフレンド社 2021年
参考書・参考資料等	(公益)日本障がい者スポーツ協会(編)、障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)(株)ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験：堀 秀昭100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	担当教員は、リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【選択】作業、理学
担当教員			
林 浩嗣			
講義	A T対象科目	020508L2POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	スポーツ内科学では、米国スポーツ医学会ACSMの提唱する運動処方ガイドラインに基づいて、安全且つ効果的な運動プログラムの作成法、メディカル・チェックの要点等について系統講義を通じて理解を深める。		
授業の概要	本講義では競技力向上ならびに健康管理の視点から主に内科的疾患の病態生理と臨牀所見、スポーツ現場における応急処置、予防措置等に学ぶことを目的とする。選手に対しては、主に運動誘発性突然死、オーバートレーニング症候群、運動性貧血、運動誘発性喘息等の病態は元より、感染症対策、摂食および減量問題、暑熱・低温環境下の生体順応、ドーピング・コントロール、ストレス・マネジメント等に関する知識を深める。また生涯スポーツを支えるA Tとしての視点から女性、高齢者、発育期の子供など各々の生理・心理的特徴、運動に対する応答、特異的な障害についても学習する。その他にメディカル・チェックの意義と実施手技等を学習する。		
授業計画	第1回	スポーツ内科学の基礎 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第2回	スポーツ内科学各論 (循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第3回	スポーツ内科学各論 (造血器疾患、腎・泌尿器系疾患、皮膚疾患) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第4回	スポーツ内科学各論 (代謝性疾患、感染症) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第5回	スポーツ内科学各論 (感染症) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第6回	オーバートレーニング症候群、突然死 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第7回	過換気症候群、摂食障害、減量により障害 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第8回	喫煙・飲酒の問題点、高所および低酸素環境下での身体への影響 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第9回	特殊環境のスポーツ医学、海外遠征時の諸問題 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第10回	女性・子供・高齢者のスポーツ医学 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第11回	内科的メディカル・チェック 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第12回	救急処置 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第13回	スポーツと心の健康 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第14回	アンチ・ドーピング (総論) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
	第15回	アンチ・ドーピング (各論) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (30分) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (30分)	
テキスト	アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト3 スポーツ医学概論 監修 河野一郎 他 2024		
参考書・参考資料等	公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻 健康管理とスポーツ医学、文光堂、2019 公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第8巻 救急処置、文光堂、2019		

	公益財団法人日本スポーツ協会：Reference Book、2019
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p> <p>【実務経験について】</p> <p>福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。</p> <p>福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務(勤務)経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【選択】理学
担当教員			
菅野 智也			
講義	A T対象科目	020509L1A	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 競技パフォーマンスに関わる生理学的、バイオメカニクスの要因とその分析方法を理解する。 2. アスレティックトレーナーの役割と必須スキルを理解する。 3. トレーニング計画の手順とその実際について理解する。 4. パフォーマンス向上と傷害予防のためのトレーニングや注意点を理解する。 5. トレーニング効果の検証手順を理解する。
授業の概要	<p>体力とは「防衛力」と「行動力」に分けられ、体力の諸要素を高めるために行うトレーニングについて、プログラミングする。</p> <p>それぞれのトレーニング方法を指導する際に、目的や強化される部位についての的確に示すことができ、正確な方法を指導できる力を身につける。立案されたトレーニング計画を実際に行う際には、トレーニング環境、トレーニング負荷の増減、トレーニングに伴う疲労の問題など様々な問題があることを理解し、それらに対処する。</p>
授業計画	<p>第1回 トレーニングに必要な基礎的なバイオメカニクスについて説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第2回 バイオメカニクスを実際のトレーニングに応用する方法について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第3回 バイオメカニクスの知識を用いた傷害予防トレーニングについて立案・説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第4回 トレーニング計画に必要な応用知識(トレーニング科学)について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第5回 トレーニング計画に必要な応用知識(運動学習、発育発達)について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第6回 トレーニング計画に必要な応用知識(性差、環境による生理学的変化)について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第7回 パフォーマンスを向上させるために必要なトレーニングの基礎知識について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第8回 適切なトレーニング動作の習得について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第9回 傷害につながる動作を改善し、傷害予防につなげることができる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第10回 パフォーマンス低下につながる動作を改善し、パフォーマンス向上につなげることができる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第11回 トレーニング計画を作成する際の優先度や注意点について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第12回 ピリオダイゼーションの基礎理論と修正方法について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第13回 トレーニング効果を検証するためのテストを選択し、フィードバックについて理解できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間)</p>

	<p>事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第14回 競技特性を含め、様々な環境や状況に合わせたトレーニング計画立案ができる。</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間）</p> <p>事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>第15回 競技特性を含め、様々な環境や状況に合わせたトレーニング効果の検証方法が説明できる。</p> <p>事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間）</p> <p>事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）</p> <p>レポート試験</p>
テキスト	①アスレティックトレーナー専門科目テキスト②スポーツ科学概論
参考書・参考資料等	①Reference Book（公益財団法人日本スポーツ協会 発刊）
学生に対する評価	レポート試験
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p> <p>病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】理学
担当教員			
齊木 理友			
講義		031001LIP	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	理学療法関連機器の種類、名称、使用方法、適応とその疾患について能動的に学習し、また、理学療法士の職域、役割、リハビリテーションチームアプローチの重要性について理解することを目標とする。		
授業の概要	理学療法で使用する機器の名称を理解し、その使用方法の適応・禁忌を学習する。この授業の進め方は、グループ学習を中心とし、学生相互の理解を確認しながら実施する。また、理学療法士の役割と職域、リハビリテーションチームアプローチの重要性について、臨床見学を通して確認する。		
授業計画	第1回	グループ演習オリエンテーション：グループ編成、演習課題、設置場所と機器の紹介、注意事項など 事前学習：理学療法の機器について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第2回	グループ演習：運動療法関連器具の種類、名称、使用方法、適応とその疾患の理解 事前学習：理学療法の機器について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第3回	グループ演習：物理療法機器の種類、名称、使用方法、適応とその疾患の理解 事前学習：理学療法の機器について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第4回	グループ演習：物理療法機器の種類、名称、使用方法、適応とその疾患の理解 事前学習：理学療法の機器について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第5回	グループ演習：ADL機器の種類、名称、使用方法、適応とその疾患の理解 事前学習：理学療法の機器について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第6回	グループ演習：ADL機器の種類、名称、使用方法、適応とその疾患の理解 事前学習：理学療法の機器について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第7回	臨床見学オリエンテーション：見学の目的、見学方法、注意事項、服装検査・指導など 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第8回	臨床見学：理学療法士の役割と職域、福井総合病院リハビリテーションセンター 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第9回	臨床見学：理学療法士の役割と職域、福井総合病院リハビリテーションセンター 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第10回	臨床見学：理学療法士の役割と職域、福井総合病院リハビリテーションセンター 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第11回	臨床見学：理学療法士の役割と職域、福井総合病院リハビリテーションセンター 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第12回	臨床見学：理学療法士の役割と職域、福井総合病院リハビリテーションセンター 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第13回	臨床見学：理学療法士の役割と職域、福井総合病院リハビリテーションセンター 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第14回	各種治療法に用いる代表的機器についてグループ発表1 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
	第15回	各種治療法に用いる代表的機器についてグループ発表2 事前学習：臨床での理学療法の実際について事前に調べておく（30分） 事後学習：ノート及び配布資料等で学んだことを振り返り理解を深める（30分）	
テキスト	特になし		
参考書・参考資料等	基礎理学療法学テキスト（配布資料）		
学生に対する評価	グループ発表(20%)と発表用レジュメ(10%)、リハ関連機器レポート(30%)、臨床見学実習準備レポート(10%)、臨床見学レポート(30%)の5つすべてを実施・提出を条件に成績判定する。 発表時の質問に対し加点する。 早退の未申告や受講マナー等で注意された場合は1回につき10点以上減点する。		

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日から金曜日の9時から17時の在室時。
備考	病院および施設リハビリテーション課での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学
担当教員			
栗田 梨渚			
講義	AT&初級障がい者スポーツ指導員 対象科目(理学)	031002LIPA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1. ヒトの運動発達について発達指標の標準的な獲得時期を確認する。 2. 各々の発達指標が獲得される際の神経系の働きを理解する。 3. 各々の発達指標が獲得される際の運動器系の働きを理解する。 4. 以上のことから発達障害、運動障害、老化に伴う運動機能低下に対処するための基礎知識とする。
授業の概要	人間は生後約一年かけて基本的な移動形態である直立二足歩行を獲得する。また、小学校就学までに成人と同様な運動パターンを獲得する。この過程とその背景にある神経学的・運動学的メカニズムを理解することは、理学療法の対象となる人々の障害を客観的・論理的に理解する上で非常に有用である。理学療法評価及び治療に結びつけるための基礎知識として運動発達を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 発達概念 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第2回 姿勢・運動の変化 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第3回 神経学的発達・原始反射① 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第4回 原始反射②・立ち直り反応・平衡反応 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第5回 原始反射・立ち直り反応・平衡反応(実技) 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第6回 背臥位・腹臥位の運動発達 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第7回 座位姿勢の運動発達 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第8回 立位・歩行の運動発達 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第9回 幼児期の運動発達・上肢機能の発達 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第10回 あそび・言語・摂食機能の発達 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第11回 感覚統合理論 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第12回 感覚統合(実技) 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第13回 発達評価① 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第14回 発達評価② 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)</p> <p>第15回 運動発達(月齢ごと) 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分) 定期試験</p>
テキスト	大城昌平(編集)：リハビリテーションのための人間発達学 第3版, 株式会社メディカルプレス, 2021 浅野大喜(編集)：Crosslink basic リハビリテーションテキスト 小児理学療法学, MEDICAL VIEW, 2021

参考書・参考資料等	<p>浅野大喜（編集）：Crosslink basic リハビリテーションテキスト 人間発達学, MEDICAL VIEW, 2021 細田多穂（監修）：小児理学療法学テキスト 改訂第4版, 南江堂, 2024 千住秀明（監修）：理学療法学テキストⅧ こどもの理学療法第2版, 神陵文庫, 2010 紀伊克昌（監訳）：正常発達 脳性まひ治療への応用, 三輪書店, 2014 公益財団法人 日本スポーツ協会（編）：Reference Book, 2019 （公財）日本障がい者スポーツ協会（編）, 障がいのある人のスポーツ指導教本, 株式会社ぎょうせい, 2020 土田 玲子（監修）：子どもの理解と援助のために 感覚統合 Q & A 改訂第2版, 協同医書出版, 2013 他</p>
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	時講義中および終了時、研究室在室時に適宜返答する。
備考	<p>小児科クリニック（医療・福祉）での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。</p> <p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
藤本 昭			
講義		031003L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	研究計画を立案する際に必要となる基礎的知識として研究デザインの種類や統計処理の具体的方法を学び、理学療法分野における新しい理論や研究成果についての内容を正しく理解できることを目標とする。
授業の概要	研究方法論演習を見据えて、研究デザインの種類や統計処理の具体的方法を学ぶ。また研究を進めるにあたり、プライバシーの尊重や守秘義務の遵守、インフォームド・コンセントや倫理審査の具体的手続き法、更に重複発表や文献盗用など不正行為の防止など研究者が常に意識すべき研究倫理についての理解を深める。
授業計画	<p>第1回 記述統計学とデータ管理 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第2回 基本統計量について 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第3回 正規母集団、正規性の検定・母数の検定・母数の推定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第4回 独立した2群の差の検定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第5回 関連のある2群の差の検定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第6回 独立した多群の差の検定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第7回 関連のある多群の差の検定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第8回 2要因で分類される多群の差の検定：繰り返しのない場合 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第9回 2要因で分類される多群の差の検定：繰り返しのある場合 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第10回 多重比較検定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第11回 相関関係 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第12回 回帰分析 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第13回 2×2分割表の検定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第14回 m×n 分割表の検定 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第15回 インフォームド・コンセント、研究倫理について 事前学習：テキストを読み、講義内容について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分） 定期試験</p>
テキスト	柳井 久江著：4 steps エクセル統計，オーエムエス出版
参考書・参考資料等	

学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
演習		031004S3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	研究が理学療法の科学的発展にどのように貢献するのかを考える。
授業の概要	1. 研究過程（研究課題の発見、研究デザインと研究方法の決定、データの分析、研究結果の解釈と報告）における基本事項を理解する。 2. 特定の研究課題に関する文献検索と既存の情報の要約、統計手法の要点を学ぶ。また、科学的思考の方法について理解する。
授業計画	<p>第1回 研究方法論の進め方 事前学習：研究の方法について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第2回 研究の概念（臨床的意義）、研究過程の概観 事前学習：研究の方法について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第3回 研究の枠組みと仮説 事前学習：研究の方法について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第4回 文献の探索と活用、研究に関わる倫理 事前学習：文献検索の方法について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第5回 研究テーマ、研究計画の立案、研究データの収集と分析技法 事前学習：研究の方法について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第6回 邦文論文の抄読1 事前学習：日本語の研究論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第7回 邦文論文の抄読2 事前学習：日本語の研究論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第8回 邦文論文の抄読3 事前学習：日本語の研究論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第9回 邦文論文の抄読4 事前学習：日本語の研究論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第10回 欧文論文の抄読1 事前学習：英語論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第11回 欧文論文の抄読2 事前学習：英語論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第12回 欧文論文の抄読3 事前学習：英語論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第13回 欧文論文の抄読4 事前学習：英語論文について下調べをしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第14回 研究成果のまとめと公表、そして活用 事前学習：研究計画について準備しておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第15回 まとめ 事前学習：自分の研究したいテーマについて準備しておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p>
テキスト	演習の中で資料や文献を提示する。
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	レポート（研究計画書）100%
課題（試験やレポート等）に対応する方	随時。原則としてアポイントをとること。

トピックの方法	
備考	リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	3	【必修】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
演習		031005S4P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	大学は専門分野について学習する高等教育機関であり、理学療法研究はその専門分野の学習を総括するものである。この目標を達成するため、本科目では研究活動を行い研究論文を執筆する。研究論文は、主に「問題設定」「仮説の設定」「分析(仮説の検証)」「分析結果(インプリケーション)の提示」というプロセスを経由する。そのプロセスをたどるためには理論的・論理的思考が必然的に求められる。
授業の概要	1. 研究課題を絞り込み、研究目的を明らかにする。 2. 研究目的にそって研究計画をたてる。 3. 研究計画にそってデータを収集し、分析を行う。 4. 研究によって得られた知見をまとめ、論文および抄録を作成し、口頭発表を行う。
授業計画	<p>第1回 研究領域の決定と予備実験</p> <p>第2回 研究領域の決定と予備実験</p> <p>第3回 研究課題の決定と研究計画書の作成</p> <p>第4回 研究の倫理審査に必要な書類の準備、審査</p> <p>第5回 研究の実施・データ分析</p> <p>第6回 研究の実施・データ分析</p> <p>第7回 研究の実施・データ分析</p> <p>第8回 研究の実施・データ分析</p> <p>第9回 研究の実施・データ分析</p> <p>第10回 研究の実施・データ分析</p> <p>第11回 研究の実施・データ分析</p> <p>第12回 研究の実施・データ分析</p> <p>第13回 研究の実施・データ分析</p> <p>第14回 研究の実施・データ分析</p> <p>第15回 研究の実施・データ分析</p> <p>第16回 研究の実施・データ分析</p> <p>第17回 研究の実施・データ分析</p> <p>第18回 研究の実施・データ分析</p> <p>第19回 研究の実施・データ分析</p> <p>第20回 研究の実施・データ分析</p> <p>第21回 研究の実施・データ分析</p>

	<p>第22回 研究の実施・データ分析</p> <p>第23回 研究の実施・データ分析</p> <p>第24回 研究の実施・データ分析</p> <p>第25回 研究の実施・データ分析</p> <p>第26回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第27回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第28回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第29回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第30回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第31回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第32回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第33回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第34回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第35回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第36回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第37回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第38回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第39回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第40回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第41回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第42回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第43回 卒業論文の作成、抄録の作成・提出</p> <p>第44回 卒業研究の口述発表</p> <p>第45回 卒業研究の口述発表</p>
テキスト	適宜、参考となる資料を提示する。
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	<p>指導教員の評価を80%と研究発表会における評価を20%として総合的に判定される。</p> <p>a. 指導教員による評価は次の6項目とする。</p> <p>①【課題の理解】 課題を理解する。</p> <p>②【積極性】 積極的に課題解決へアプローチする。</p> <p>③【論理性】 自らの考えや体験を正確かつ論理的に表現する。</p> <p>④【協働性・協調性】 自らの役割を認識して他者と協働して行動する。</p> <p>⑤【分析と計画】 課題を分析し、実施計画を組み立てる。</p> <p>⑥【自主性と継続性】 自主的かつ継続的に学習する。</p> <p>b. 卒業研究発表会による評価は次の3項目とする。</p> <p>①発表内容…研究課題の意義が明示され、解決へ向けた積極的継続的努力が認められるか？</p> <p>②発表方法…表現が明瞭で、論旨を理解しやすいか？</p> <p>③質疑応答…質問に対して、適切な回答ができていないか？</p>

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室が「在室」の表示であり、面談が可能な時に応答します。
備考	リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】理学
担当教員			
藤本 昭			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学)	031101LIP	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	理学療法について理解することを目的とする。
授業の概要	理学療法の全体像が把握できるように総合的に学習する機会を与える。理学療法の歴史を通して、理学療法の対象、方法を概観し、理学療法の定義について学習を深め、理学療法士・作業療法士法について理解することで、他の医療法との相違を確認し、医療職種への理解を深める。また、理学療法の過程である評価、治療計画立案、治療の実施、再評価について、概念的に理解する。また理学療法士が活躍する分野、中枢神経疾患、運動器疾患、高齢者での実際の働き方を紹介する。さらに理学療法部門における管理、理学療法の社会的役割と職域、理学療法に関する教育制度、理学療法士の組織と活動分野等について学習する。
授業計画	<p>第1回 理学療法概要 事前学習：テキストを読み、理学療法の定義について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第2回 理学療法の背景 障害の概念・分類・保険制度 事前学習：テキストを読み、障害の概念および国際障害分類（ICIDH）と国際生活機能分類（ICF）について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第3回 理学療法の背景 歴史・法律 職業倫理 事前学習：テキストを読み、理学療法の歴史と発展してきた背景について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第4回 理学療法の構成 事前学習：テキストを読み、運動療法と物理療法の概要について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第5回 理学療法に必要な知識と実習 事前学習：テキストを読み、理学療法士養成施設指定規則について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第6回 理学療法の主対象 中枢神経系 事前学習：テキストを読み、中枢神経障害について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第7回 理学療法の主対象 運動器系 事前学習：テキストを読み、運動器系障害について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第8回 理学療法の主対象 内部障害系 事前学習：テキストを読み、内部障害系疾患について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第9回 理学療法の主対象 がん、介護予防 事前学習：テキストを読み、介護予防における理学療法士の役割について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第10回 病期・職域別の理学療法 急性期 事前学習：テキストを読み、急性期における理学療法の役割について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第11回 病期・職域別の理学療法 回復期 事前学習：テキストを読み、回復期における理学療法の役割について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第12回 病期・職域別の理学療法 生活期 事前学習：テキストを読み、介護保険の成り立ちについて確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第13回 病期・職域別の理学療法 在宅における役割 事前学習：テキストを読み、在宅医療の適応と目的について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第14回 病期・職域別の理学療法 行政における役割 事前学習：テキストを読み、理学療法士の地域包括ケアシステムでの役割について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第15回 病期・職域別の理学療法 研究における役割 事前学習：テキストを読み、理学療法教育の変遷について確認しておく（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める（30分） 定期試験</p>
テキスト	石川 朗：理学療法テキスト 理学療法概論，中山書店，2020.

参考書・参考資料等	(公財) 日本障がい者スポーツ協会(編), 障がいのある人のスポーツ指導教本, 株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	定期試験(筆記試験100%)
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
齊木 理友			
講義		031102L2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	理学療法に関する解剖学、生理学、運動学の知識を整理していくことで、対象となる疾患の病態生理を理解していくことを目標とする。		
授業の概要	理学療法の対象となる疾患には、運動器系をはじめとする様々な身体諸系統の機能障害をもつものが多い。一方、理学療法の実施にあたっては、適切な評価を行って能力および障害を把握して治療を行っていくことが重要である。そのため障害構造や発生機序を含めた病態生理を理解することは不可欠である。ここでは理学療法に関する解剖学、生理学、運動学の知識を整理し、対象となる疾患の病態生理の理解を深めていく。		
授業計画	第1回	筋収縮の基礎 事前学習：テキスト (p54～56、235～237、429～430) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第2回	筋力と筋力低下 事前学習：テキスト (p430～435) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第3回	筋力トレーニングの原理 事前学習：テキスト (p435～440) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第4回	筋力トレーニングの効果 事前学習：テキスト (p56～58、93～101) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第5回	関節の定義と分類 事前学習：テキスト (p165～169) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第6回	関節可動域制限および関節拘縮と軟部組織 事前学習：テキスト (p357～369) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第7回	関節拘縮の原因と病態 事前学習：テキスト (p357～369) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第8回	関節可動域制限の評価の意義 事前学習：テキスト (p369～380) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第9回	直接賦活経路と間接賦活経路 事前学習：テキスト (p511～516) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第10回	随意運動に関連する統御回路および最終共通経路 事前学習：テキスト (p516～520) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第11回	運動麻痺とその分類 事前学習：テキスト (p520～528) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第12回	運動失調と錐体外路障害、神経の回復と可塑性 事前学習：テキスト (p528～542) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第13回	痛みの定義と分類、痛みのメカニズムと伝達経路 事前学習：テキスト (p473～475) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第14回	痛みの抑制系、急性痛と慢性痛 事前学習：テキスト (p475～483) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)	
	第15回	痛みの評価 事前学習：テキスト (p483～504) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分) 定期試験	
テキスト	細田多穂他編：理学療法ハンドブック 改訂第4版 第1巻 理学療法の基礎と評価、協同医書出版、2010.		
参考書・参考資料等	中村隆一他：基礎運動学 第6版、医歯薬出版、2015.		
学生に対する評価	筆記試験100%		

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学
担当教員			
野村 友美			
講義		031201LIP	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	理学療法評価の基礎を理解することを目的とする。
授業の概要	理学療法は評価に始まり評価に終わるといわれる。理学療法を実施するにあたって、患者の持つ症状や障害を把握し問題点を明らかにすることは重要である。そのための情報収集手段として評価がある。まず、評価の基本的概念を確認するとともに、一般的な評価の手順を確認する。また、情報収集としてレントゲンやMRなどの画像評価を学ぶ。理学療法士が自ら行なった行為を記録することも重要な職務である。臨床記録法についても合わせて講義する。
授業計画	<p>第1回 理学療法評価の目的 事前学習：理学療法評価について確認する（2時間） 事後学習：理学療法評価の目的を説明できる。理学療法評価の対象について説明できる。障害に対応した検査項目を列挙し、それぞれの意義について説明できる。検査測定結果の統合と解釈の意味を説明できる。これらの到達目標を整理する（2時間）</p> <p>第2回 医療面接1 事前学習：医療面接の概要を配布資料より確認する（2時間） 事後学習：医療面接の環境整備、進め方を整理する（2時間）</p> <p>第3回 医療面接2 事前学習：医療面接の共感について確認する（2時間） 事後学習：演習形式で実施された共感する手法を確認し、練習する（2時間）</p> <p>第4回 医療面接3 事前学習：医療面接の主訴、ニーズの取り扱いについて確認する（2時間） 事後学習：演習形式で実施された共感する手法を確認し、練習する（2時間）</p> <p>第5回 医学情報収集1（画像評価胸部レントゲン） 事前学習：胸部レントゲンから得られる情報を確認する（2時間） 事後学習：異常レントゲンとの相違、出現する症状を関連付ける（2時間）</p> <p>第6回 医学情報収集2（画像評価胸部レントゲン） 事前学習：胸部レントゲンから得られる肺野の情報を確認する（2時間） 事後学習：異常レントゲンから、横隔膜の高さを確認する。その時の肺機能検査と関連づける（2時間）</p> <p>第7回 医学情報収集3（画像評価脳MR） 事前学習：MRI画像と、脳の局在部位を確認する（2時間） 事後学習：MRI画像を描き、局在部位の名称を記載できる（2時間）</p> <p>第8回 社会的情報（家族関係） 事前学習：構造的側面と機能的側面を確認する（2時間） 事後学習：バイスティックの7つの原則を理解する（2時間）</p>
テキスト	内山 靖：図解理学療法検査・測定ガイド，文光堂，2023．第3版 松澤 正，江口 勝彦：理学療法評価学 第6版補訂版，金原出版，2022
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	随時、講義中および終了時に適宜返答
備考	担当教員は、リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学
担当教員			
齊木 理友			
講義		031202L1P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	神経系疾患を理解するための評価法を実践できることを目的とする。
授業の概要	人間の生活は基本的な運動機能をベースにして必要な動作を用いて営まれている。その運動は神経系の働きによって調節されている。ここでは理学療法の対象となる症状を神経学的に理解するための検査法を学ぶ。具体的には、筋緊張、反射、感覚、脳神経、高次脳機能の検査を学習する。
授業計画	<p>第1回 神経系の解剖学について1 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第2回 神経系の解剖学について2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第3回 反射検査1 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第4回 反射検査2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第5回 筋緊張検査1 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第6回 筋緊張検査2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第7回 感覚検査1 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第8回 感覚検査2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第9回 協調性検査1 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第10回 協調性検査2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第11回 脳神経検査1 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第12回 脳神経検査2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第13回 バランス検査 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第14回 呼吸循環機能検査 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第15回 高次脳機能検査 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分) 定期試験</p>
テキスト	松澤正 著：理学療法評価学 第6版補訂版、金原出版、2022
参考書・参考資料等	田崎義昭 著：ベッドサイドの神経の診かた 第18版、南山堂、2016

学生に対する評価	筆記試験(60%)、実技試験(20%)、提出課題(20%)、なお筆記試験および実技試験の両方を受験した上で評価する。
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する また、月曜から金曜の8時半～17時までの在室時にも適時対応する。
備考	病院での実務(勤務)経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学
担当教員			
東 伸英			
講義	A T 対象科目		031203LIPA
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	運動器系の各種検査法（関節可動域測定、形態測定、関節弛緩性検査、筋タイトネス検査など）における意義や原理を理解する。また、各種検査法を身につけ、対象者に説明および実践ができる。
授業の概要	理学療法の対象となる障害に対する評価の一つとして、運動器系の各種評価技術について修得する。ここでは触診を通して筋骨格系の位置や構造を理解し、関節可動域測定、形態測定（四肢長、周径、各種アライメントの測定法）、関節弛緩性検査、筋タイトネス検査について学ぶ。各々の検査法における意義や原理を理解し検査技術を修得していくとともに、各種検査について対象者に説明および障害像にあった実践ができるように、理学療法評価技術を身につける。
授業計画	<p>第1回 形態測定・関節可動域測定の基本概念、触診の基本 事前学習：テキスト①p57～p59・p65～p76、テキスト②p1～p11、テキスト③p1～p13を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第2回 四肢長（上肢長・上腕長・前腕長）の測定 ○肩甲骨・鎖骨・上腕骨・橈骨・尺骨の触診 事前学習：テキスト①p57～p64、テキスト③p15～p79を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第3回 四肢長（棘果長・転子果長・臍果長・大腿長・下腿長）の測定 ○骨盤・大腿骨・膝・足関節周辺の触診 事前学習：テキスト①p57～p64、テキスト④p1～p85を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第4回 周径（上腕周径・前腕周径・大腿周径・下腿周径）の測定 切断における四肢長・周径の測定 事前学習：テキスト①p57～p64、テキスト③p15～p79、テキスト④p1～p85を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第5回 肩甲帯の関節可動域測定 事前学習：テキスト②p45～p61を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第6回 肩関節の関節可動域測定① 事前学習：テキスト②p62～p79を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第7回 肩関節の関節可動域測定② 事前学習：テキスト②p80～p97を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第8回 肘関節・前腕の関節可動域測定 事前学習：テキスト②p98～p111を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第9回 手関節・母指・手指の関節可動域測定 事前学習：テキスト②p112～p152を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第10回 股関節の関節可動域測定 事前学習：テキスト②p153～p189を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第11回 膝関節・足関節の関節可動域測定 事前学習：テキスト②p190～p205を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第12回 足部の関節可動域測定 事前学習：テキスト②p206～p219を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第13回 頸部の関節可動域測定 ○胸郭・脊柱に関連する諸組織の触診 事前学習：テキスト②p13～p30、テキスト④p267～p312を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第14回 体幹の関節可動域測定 事前学習：テキスト②p31～p44を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分）</p> <p>第15回 関節弛緩性検査、筋タイトネス検査、アライメントの測定 事前学習：第14回の授業でわたすテキスト⑤を読んでおく。（時間120分） 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。（時間120分） 定期試験</p>
テキスト	①松澤正 他：理学療法評価学 第6版補訂版、金原出版、2022

	②隈元庸夫 編集：臨床ROM 第2版 測定からエクササイズまで【Web動画付き】、ヒューマン・プレス、2022 ③青木隆明 監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 上肢 改訂第2版、メジカルビュー社、2022 ④青木隆明 監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 下肢・体幹 改訂第2版、メジカルビュー社、2022 ⑤配布資料
参考書・参考資料等	①福田修 監修：ROM測定 第2版、三輪書店、2015 ②齋藤慶一郎：ROM測定法 代償運動のとりえ方と制動法の理解と実践、メジカルビュー社、2016 ③伊藤俊一 監修：形態測定・感覚検査・反射検査 第2版、三輪書店、2014 ④奈良勲 他 編集：図解 理学療法検査・測定ガイド、文光堂、2009 ⑤松澤正 編集：理学療法評価学、金原出版株式会社、2016 ⑥細田多穂 他 編集：理学療法ハンドブック 改訂第4版 第1巻、協同医書出版、2010 ⑦公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻 検査測定と評価、2022
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メジャーおよび関節角度計を購入していただきます（詳細は別途案内します）。 ・大半が実技となります。服装はTシャツ・短パンとし、装飾品は外して下さい。 ・爪は短く切り、つけ爪は禁止です。 ・肩につく髪はゴムなどで結んで下さい。 ・目にかかるような長い前髪や横髪はピンなどでとめて下さい。 <p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p> <p>病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学
担当教員			
菅野 智也			
講義	A T 対象科目	031204LPA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	運動器系の徒手筋力検査法における意義や原理を理解する。また、各種検査法を身につけ、対象者に説明および実践ができる。		
授業の概要	理学療法の対象となる障害に対する評価の一つとして、運動器系の各種評価技術について修得する。ここでは徒手筋力検査法について学ぶ。筋力測定の意義や原理を理解し検査技術を修得していく。		
授業計画	第1回	徒手筋力検査法の原理 事前学習：テキスト①p2～p22を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第2回	頸部周囲筋の筋力テスト 事前学習：テキスト①p24～p44を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第3回	体幹の筋力テスト① 事前学習：テキスト①p46～p62を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第4回	体幹の筋力テスト② 事前学習：テキスト①p63～p74を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第5回	上肢の筋力テスト① 事前学習：テキスト①p94～p110を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第6回	上肢の筋力テスト② 事前学習：テキスト①p111～p129を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第7回	上肢の筋力テスト③ 事前学習：テキスト①p130～p153を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第8回	上肢の筋力テスト④ 事前学習：テキスト①p154～p182を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第9回	上肢の筋力テスト⑤ 事前学習：テキスト①p183～p202を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第10回	上肢の筋力テスト⑥ 事前学習：テキスト①p203～p221を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第11回	下肢の筋力テスト① 事前学習：テキスト①p228～p245を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第12回	下肢の筋力テスト② 事前学習：テキスト①p246～p265を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第13回	下肢の筋力テスト③ 事前学習：テキスト①p266～p283を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第14回	下肢の筋力テスト④ 事前学習：テキスト①p284～p298を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間)	
	第15回	下肢の筋力テスト⑤、顔面の筋力テスト 事前学習：テキスト①p299～p305、p308～p335を読んでおく。(時間2時間) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間2時間) 定期試験	
テキスト	①津山直一 訳：新徒手筋力検査法 第10版、協同医書出版社、2020 ②青木隆明 監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 第2版、メジカルビュー社、2022 ③青木隆明 監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 第2版、メジカルビュー社、2022 ④配布資料		
参考書・参考資料等	①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻 検査測定と評価、2022		

学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大半が実技となります。服装はTシャツ・短パンとし、装飾品は外して下さい。 ・爪は短く切り、つけ爪は禁止です。 ・肩につく髪はゴムなどで結んで下さい。 ・目にかかるような長い前髪や横髪はピンなどでとめて下さい。 <p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p> <p>スポーツ現場でのアスレティックトレーナーおよびスポーツ外来を有する病院での理学療法士として実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
齊木 理友			
講義		031205L2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	姿勢分析、バランス検査、動作分析、歩行分析の目的、評価方法を理解し、各評価を実施することができることを目標とする。また、運動および動作に運動学的観点から解釈を加えることを目標とする。
授業の概要	理学療法の実施に当たって、疾患の持つ症状や障害を把握し問題点を明らかにすることは重要である。そのため情報収集手段として評価がある。様々な評価の中に観察を通して身体障害によって起こる運動および動作の異常の原因を追究していくものがある。ここでは、姿勢分析、バランス検査、動作分析、そして歩行分析を取り上げて各評価の目的および意義、実施方法について学ぶ。
授業計画	<p>第1回 重心と重心線、立位の安定性 事前学習：テキスト (p8～10) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第2回 支持基底面と床反力、モーメント、関節トルク 事前学習：テキスト (p10～18) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第3回 運動法則、運動量と力積、姿勢観察と分析 1 (立位・座位) 事前学習：テキスト (p17～25) を読み、上記に関連する内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第4回 姿勢観察と分析 2 (機能不全と代償動作、姿勢制御) 事前学習：テキスト (p25～37) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第5回 姿勢観察と分析 3 (症例) 事前学習：テキストを読み、講義の第3回と4回を復習しておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト (p159～166、185～189) 等で講義内容を振り返り理解を深める (60分)</p> <p>第6回 バランスの基礎と検査 事前学習：上記に関連する内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第7回 動作観察と分析 1 (健常者の寝返り・起き上がり動作) 事前学習：テキスト (p38～47) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第8回 動作観察と分析 2 (健常者の立ち上がり動作) 事前学習：テキスト (p52～60) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第9回 動作観察と分析 3 (高齢者の立ち上がり動作) 事前学習：テキスト (p60～68) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第10回 動作観察と分析 4 (症例の立ち上がり動作と定量評価) 事前学習：テキストを読み、講義の第8回と9回を復習しておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第11回 動作観察と分析 5 (歩行動作の基礎) 事前学習：テキスト (p70～84) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第12回 動作観察と分析 6 (健常者の歩行動作と定量評価) 事前学習：テキスト (p85～90) を読み、講義内容を調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第13回 動作観察と分析 7 (異常歩行) 事前学習：テキスト (p90～108) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第14回 動作観察と分析 8 (症例の歩行動作 1) 事前学習：テキストを読み、講義の第11～13回を復習しておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト (p116～126) 等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第15回 動作観察と分析 9 (症例の歩行動作 2) 事前学習：テキストを読み、講義の第11～14回を復習しておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト (p166～167) 等で講義内容を振り返り理解を深める (30分) 定期試験</p>
テキスト	上杉雅之：動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析 第2版 web動画付き。医歯薬出版株式会社，2020
参考書・参考資料等	松澤正，他：理学療法評価学 第6版補訂版，金原出版株式会社，2022 石井慎一郎：動作分析 臨床活用講座-バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践-，メジカルビュー社，2013

学生に対する評価	筆記試験(80%)、レポート課題(20%)
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日から金曜日の9時～17時の在室時に対応する。
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
近藤 仁			
講義		031301L2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	運動療法治療技術である関節可動域運動、筋力増強運動、協調性運動、神経生理学的アプローチを中心に基礎学習する。
授業の概要	運動療法の基礎的な治療技術の概念や定義を学び、人体の各機能と運動療法の考え方、治療法の適応や禁忌について学習する。また本治療技術学は運動療法の基本であり、運動器系理学療法、中枢神経系理学療法、神経系理学療法、発達障害系理学療法、内部障害系理学療法、スポーツ理学療法等の治療技術に応用される。
授業計画	<p>第1回 運動療法とは何か 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第1章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第2回 筋機能と運動療法 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第2章-1を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第3回 筋力維持・増強運動の実際(徒手および自重を用いて) 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第2章-2を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第4回 筋力維持・増強運動の実際(道具を用いて) 細田多徳他編: 理学療法ハンドブック第3巻, 協同医書出版, 2010 事前学習: テキストp314-p356を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第5回 関節可動性と運動療法 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第3章-1を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第6回 関節可動域運動の実際(頸部・体幹) 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第3章-2を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第7回 関節可動域運動の実際(上肢) 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第3章-2を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第8回 関節可動域運動の実際(下肢) 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第3章-2を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第9回 ストレッチングの実際(頸部・体幹) IDストレッチング, 三輪書店, 2007 事前学習: テキストp68-p103を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第10回 ストレッチングの実際(上肢) IDストレッチング, 三輪書店, 2007 事前学習: テキストp104-p141を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第11回 ストレッチングの実際(下肢) IDストレッチング, 三輪書店, 2007 事前学習: テキストp176-p223を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第12回 バランス機能と運動療法 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第4章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第13回 代謝機能と運動療法 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第7章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>第14回 協調性機能と運動療法 運動療法学, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキスト第8章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p>

	<p>第15回 基本動作と運動療法</p> <p>運動療法学，メジカルビュー社，2020</p> <p>事前学習：テキスト第13章を読んでおく。(60分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p>
テキスト	<p>対馬栄輝：運動療法学，メジカルビュー社，2020</p> <p>鈴木重行：IDストレッチング，三輪書店，2007</p>
参考書・参考資料等	<p>加藤浩：運動器障害理学療法学，メジカルビュー社，2020</p> <p>細田多穂他編：理学療法ハンドブック第1巻，協同医書出版，2010</p> <p>公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第4巻 リコンディショニング2022</p> <p>公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻 検査測定と評価，2022</p>
学生に対する評価	定期試験（筆記試験100%）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義前後に対応する。
備考	医療機関での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
菅野 智也			
講義		031302L2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	骨折、肩関節疾患、末梢神経損傷などに対する評価と理学療法の目的を理解する。
授業の概要	各疾患の定義と病態、画像診断、治療方法(保存的治療と観血的治療)について学習する。また、骨折では変形・遷延治癒などといった代表的な合併症、さらに各疾患に関わる解剖学・運動学、理学療法評価・理学療法プログラム、傷害予防、リスク管理についても学習する。
授業計画	<p>第1回 組織再生・修復過程① 事前学習：テキスト①p16～p28を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第2回 組織再生・修復過程② 事前学習：テキスト①p29～p39を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第3回 骨折・脱臼総論① 事前学習：テキスト①p40～p48を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第4回 骨折・脱臼総論② 事前学習：テキスト①p48～p58を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第5回 上肢骨折と治療(保存的治療・観血的治療)① 事前学習：テキスト①p60～p73を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第6回 上肢骨折と治療(保存的治療・観血的治療)② 事前学習：テキスト①p73～p103を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第7回 下肢骨折と治療(保存的治療・観血的治療)① 事前学習：テキスト①p104～p120を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第8回 下肢骨折と治療(保存的治療・観血的治療)② 事前学習：テキスト①p121～p148を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第9回 下肢骨折と治療(保存的治療・観血的治療)③ 事前学習：テキスト①p148～p166を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第10回 肩関節周囲炎と治療(保存的治療・観血的治療)① 事前学習：テキスト①p276～p290を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第11回 肩関節周囲炎と治療(保存的治療・観血的治療)② 事前学習：テキスト①p291～p311を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第12回 肩腱板断裂と治療(保存的治療・観血的治療)① 事前学習：テキスト①p312～p330を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第13回 肩腱板断裂と治療(保存的治療・観血的治療)② 事前学習：テキスト①p331～p342を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第14回 末梢神経損傷の病態 事前学習：テキスト②p266～p282を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第15回 末梢神経損傷の評価と治療 事前学習：テキスト②p283～p294を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 定期試験</p>
テキスト	①加藤 浩：理学療法学テキスト運動器障害理学療法学 ②対馬 栄輝：理学療法学テキスト運動療法学

参考書・参考資料等	配布資料
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	整形外科を有する病院での理学療法士として実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
近藤 仁			
講義	A T対象科目	031303L2PA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	各スポーツ外傷に対する理学療法の目的と基本方針および展開を理解する。
授業の概要	各部位に代表的なスポーツ外傷の特徴を理解し、各外傷に対する理学療法の目的と早期復帰に必要なリスク管理を理解する。外傷特徴に加え競技特性も考慮した理学療法の考え方を学ぶ。
授業計画	<p>1 運動器の機能解剖 スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキストの総論を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>2 診断や評価に必要な各種検査法 (下肢) 適切な判断を導くための整形外科徒手検査法, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキストp11~p65を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>3 運動診断や評価に必要な各種検査法 (下肢) 適切な判断を導くための整形外科徒手検査法, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキストp67~p111を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>4 診断や評価に必要な各種検査法 (上肢) 適切な判断を導くための整形外科徒手検査法, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキストp113~p159を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>5 診断や評価に必要な各種検査法 (上肢) 適切な判断を導くための整形外科徒手検査法, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキストp161~p203を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>6 診断や評価に必要な各種検査法 (頸部・体幹) 適切な判断を導くための整形外科徒手検査法, メジカルビュー社, 2020 事前学習: テキストp205~p259を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>7 部位別に代表されるスポーツ外傷に対する理学療法 (下肢) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキストp24~p121を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>8 部位別に代表されるスポーツ外傷に対する理学療法 (下肢) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキストp122~p189を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>9 部位別に代表されるスポーツ外傷に対する理学療法 (上肢) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキストp234~p307を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>10 競技特性を考慮したスポーツ外傷に対する理学療法 (口述発表: バスケットボール) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキスト第11章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>11 競技特性を考慮したスポーツ外傷に対する理学療法 (口述発表: サッカー) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキスト第12章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>12 競技特性を考慮したスポーツ外傷に対する理学療法 (口述発表: 野球) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキスト第13章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>13 競技特性を考慮したスポーツ外傷に対する理学療法 (口述発表: 陸上競技) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキスト第14章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>14 競技特性を考慮したスポーツ外傷に対する理学療法 (口述発表: ラグビー) スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキスト第15章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分)</p> <p>15 競技特性を考慮したスポーツ外傷に対する理学療法 (口述発表: テニス)</p>

	<p>スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019 事前学習: テキスト第16章を読んでおく。(60分) 事後学習: テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(60分) 定期試験</p>
テキスト	<p>松村将司、三木貴弘: 適切な判断を導くための整形外科徒手検査法, メジカルビュー社, 2020 青木治人・清水邦明・鈴木仁人: スポーツリハビリテーションの臨床, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2019</p>
参考書・参考資料等	<p>公益財団法人日本スポーツ協会: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第4巻 リコンディショニング, 2022 臨床スポーツ医学編集委員会: スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド, 文光堂, 2015 島田洋一, 高橋仁美: 整形外科術後理学療法プログラム, メジカルビュー社, 2020 細田多穂他編: 理学療法ハンドブック第1巻, 協同医書出版, 2010 加藤浩: 運動器障害理学療法学, メジカルビュー社, 2020</p>
学生に対する評価	<p>定期試験(筆記試験80%、口述発表試験20%)</p>
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	<p>講義前後に対応する。</p>
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 医療機関での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
東 伸英			
講義		031304L2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1. 骨関節疾患を中心に各疾患の評価内容とその意義、目的を理解する。 2. 各疾患患者の障害像の把握、必要な評価項目の整理、評価の実際と留意点を理解する。 3. 各疾患の理学療法の目的と基本方針及び展開を理解する。
授業の概要	整形外科系疾患に対する評価と理学療法の目的を理解する。ここでは主に頸腰部の脊椎疾患、変形性関節症、関節リウマチなどを中心に取り上げて考える。 各疾患の定義と病態、画像診断、治療方法(保存的治療と観血的治療)、合併症について理解する。また、各疾患に関わる解剖学・運動学、理学療法評価・理学療法プログラム、傷害予防、リスク管理についても理解する。
授業計画	<p>第1回 脊椎疾患の概要 事前学習：テキスト①p370～p383を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第2回 脊椎疾患に対する手術 事前学習：テキスト①p383～p390、テキスト②p12～p55を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第3回 脊椎疾患に対する理学療法評価① 事前学習：テキスト①p390～p409を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第4回 脊椎疾患に対する理学療法評価② 事前学習：テキスト①p390～p409を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第5回 脊椎疾患に対する治療① 事前学習：テキスト①p410～p437、テキスト②p12～p55を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第6回 脊椎疾患に対する治療② 事前学習：テキスト①p410～p437、テキスト②p12～p55を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第7回 変形性股関節症の概要 事前学習：テキスト①p190～p204を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第8回 変形性股関節症に対する理学療法評価 事前学習：テキスト①p204～p216、テキスト②p12～p55を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第9回 変形性股関節症に対する治療 事前学習：テキスト①p216～p239、テキスト②p175～p204を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第10回 変形性膝関節症の概要 事前学習：テキスト①p240～p253を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第11回 変形性膝関節症に対する理学療法評価 事前学習：テキスト①p254～p264を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第12回 変形性膝関節症に対する治療 事前学習：テキスト①p264～p275、テキスト②p221～p231、p242～p256を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第13回 関節リウマチの概要 事前学習：テキスト①p542～p559を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第14回 関節リウマチに対する理学療法評価 事前学習：テキスト①p560～p565を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第15回 関節リウマチに対する治療 事前学習：テキスト①p565～p575を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分) 定期試験</p>
テキスト	①加藤浩 編集：Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学、メジカルビュー社、2020 ②島田洋一：整形外科 術後理学療法プログラム 第3版、メジカルビュー社、2020 ③松村将司 編集：適切な判断を導くための整形外科徒手検査法、メジカルビュー社、2020

	④配布資料
参考書・参考資料等	①居村茂幸：系統理学療法学 筋骨格障害系理学療法学、医歯薬出版株式会社、2006 ②福林徹：運動器の徒手検査法 機能解剖から導く手技の実際、文光堂、2012 ③石川朗：理学療法テキスト運動器障害理学療法学Ⅱ、中山書店、2011 ④石川朗：理学療法テキスト運動器障害理学療法学Ⅰ、中山書店、2011 ⑤公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック、2019 ⑥公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第4巻 リコンディショニング、2022
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
栗田 梨渚			
講義		031305L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	脊髄損傷に対する評価と理学療法を理解する。		
授業の概要	脊髄損傷の症状および障害像、その原因について学習する。理学療法の実施にあたり、疾患の持つ症状や障害像をとらえ、評価項目を抽出し、整理・評価する必要がある。まずは脊髄障害の原因となる疾患を理解し、障害像を把握する。その上で、脊髄損傷の理学療法の目的と基本方針、および展開を理解し、理学療法の実際について学習する。		
授業計画	第1回	脊髄損傷の原因、分類、特徴 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第2回	脊髄損傷高位診断 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第3回	脊髄損傷の主症状、随伴症状 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第4回	脊髄損傷の随伴症状、合併症 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第5回	脊髄損傷の理学療法評価 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第6回	呼吸理学療法 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第7回	急性期・回復期の理学療法 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第8回	車いす 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第9回	基本動作・移乗動作 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第10回	車いす操作 (実技) 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第11回	立位・歩行、補装具 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第12回	補装具 (実技) 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第13回	日常生活動作 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第14回	不全麻痺の運動療法 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第15回	車いす操作 (実技試験) 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) ・実技練習を行う 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分) 定期試験	
テキスト	岩崎洋 編：脊髄損傷理学療法マニュアル 第3版 分光堂, 2020.		

参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験80%、実技試験20%（全ての試験を受験しないと不合格になります）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	時講義中および終了時、研究室在室時に適宜返答する。
備考	小児科クリニック（医療・福祉）での実務経験および車いすアーチェリーのサポート経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
藤田 和樹			
講義		031306L2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	中枢神経疾患に対する評価と理学療法の目的を理解する。
授業の概要	脳血管障害および脳外傷を取り上げて考える。理学療法を実施するに当たって、疾患の持つ症状や障害を把握し問題点を明らかにすることは重要である。まず、これら疾患の病態と障害構造について理解を深めていき、評価の意義を考えながら能力と障害把握に必要な評価項目を整理する。さらに各疾患の病態を考慮した具体的な評価方法と留意点を学習する。
授業計画	<p>第1回 脳血管障害の病態と障害構造 事前学習：中枢神経系の解剖および生理について復習しておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第2回 脳血管障害による片麻痺患者の運動障害 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第3回 脳外傷の症状と障害の特徴 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第4回 Brunstromテストの方法 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第5回 12段階式片麻痺機能テストー上肢 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第6回 12段階式片麻痺機能テストー下肢 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第7回 12段階式片麻痺機能テストー手指 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第8回 血圧および脈拍測定、意識障害の確認、全体的印象 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第9回 関節可動域検査、亜脱臼の確認、疼痛の評価、徒手筋力検査、感覚検査 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第10回 反射検査、筋緊張検査、脳神経検査 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第11回 姿勢分析、バランス検査、動作分析、歩行分析 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第12回 高次脳機能検査 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第13回 脳画像の診かた 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第14回 症例に対する評価項目の列挙 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第15回 症例に対する評価の実施と結果の解釈 事前学習：これまでの講義内容を振り返り復習しておく (90分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p>
テキスト	石川朗, 大畑光司 編：理学療法テキスト 神経障害理学療法学I 第2版、中山書店、2020出版 松澤正ほか著：理学療法評価学 第6版、金原出版、2018年出版
参考書・参考資料等	特になし
学生に対する評価	筆記試験：100%
課題（試験やレポート等）に対応する時間	講義中および終了時に適宜返答する 10時～19時 大学院学生指導室3

トピックの方法	
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
藤田 和樹			
講義		031307L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	中枢神経疾患に対する理学療法の方針と展開を理解する
授業の概要	脳血管障害に対する理学療法治療を実施するに当たって、これら疾患の障害構造と能力について理解を深め、理学療法の目的と基本方針および展開を考え、理学療法の実際について学習する。脳血管障害による運動麻痺では、共同運動や連合反応などが正常な動きを妨げており、それらの症状の抑制や、正常な動きの促通に関する考え方を学ぶ。また感覚障害に対しては、その障害に伴う症状を理解させ運動学習する考え方を学ぶ。さらに、これらの神経学的症状が、基本動作や日常生活動作、歩行にどのように影響するか整理し、正常な運動学習の方法を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 脳血管障害の運動機能障害の特徴 事前学習：中枢神経系の解剖と生理について復習しておく (90分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第2回 脳卒中理学療法の目的と基本的態度 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第3回 運動療法(関節可動域練習、良肢位保持と体位交換) 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第4回 運動麻痺に対する介入の考え方 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第5回 姿勢調節機構の観点からみた運動療法計画および実施上の留意点 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第6回 急性期の介入 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第7回 急性期の介入2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第8回 回復期の介入 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第9回 回復期の介入2 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第10回 維持期の介入 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第11回 痙縮に対する介入 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第12回 高次脳機能障害に対する介入 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第13回 歩行獲得に向けての介入、基礎編 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第14回 歩行獲得に向けての介入、応用編 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p> <p>第15回 根拠に基づく介入の考え方 事前学習：講義内容について、事前に調べておく (60分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める (90分)</p>
テキスト	石川朗, 大畑光司 編：理学療法テキスト 神経障害理学療法学I 第2版、中山書店、2020出版
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する 10時～19時 大学院学生指導室3
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
津嶋 勇一			
講義		031308L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	パーキンソン病や失調症等に対する運動療法の方針と展開を理解する
授業の概要	疾患の持つ症状や障害を把握し問題点を明らかにすることで、病態と障害構造について理解を深め、評価項目を整理し治療について考える。神経学的症状について整理し、特に筋固縮や失調症状を神経学的観点から整理し、その評価項目の列挙を行う。筋固縮や失調症状の神経学的症状が、基本動作や日常生活動作、歩行にどのように影響するか整理し、正常な運動学習の方法を学ぶ。また、事例を提示しながら起こりうる症状を想起し、その治療方法の確認を行う。
授業計画	<p>第1回 パーキンソン病の概要と4大徴候 パーキンソン病に対する理解を確認し、大まかに疾患概要について理解する。また4大徴候(振戦、固縮、無動、姿勢反射障害)について、症状とメカニズムを理解する。そのほか、非運動症状と薬物療法について紹介する。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第2回 大脳基底核と薬物療法の副作用 大脳皮質-基底核ループ、基底核脳幹系による運動制御のメカニズムについて理解を深める。また薬物療法による副作用(ジスキネジア、ウェアリングオフなど)について知る。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第3回 パーキンソン病の重症度分類と一般的理学療法評価 Hoehn & Yahrの重症度分類、パーキンソン病統一スケール(UPDRS)について理解し、対象者の重症度、症状を評価することができる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第4回 パーキンソン病の理学療法プログラム パーキンソン病は進行性疾患であることを理解し、理学療法ガイドラインの理解または病期別に応じた一般的な理学療法プログラムを理解することができる。外的手がかりの付与について視覚刺激、聴覚刺激の有効性を理解できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第5回 パーキンソン病 国家試験問題 パーキンソン病に関連する国家試験問題を解く。匿名で答えを送信し、正答率や正解の解説を行う。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第6回 運動失調の種類 運動失調の概要を理解し、代表的な小脳性運動失調、感覚性運動失調、前庭性運動失調の違いを理解することができる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第7回 小脳の構造と機能 小脳の構造と機能について紹介する。前庭小脳、脊髄小脳、大脳小脳の違いについて理解することができる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第8回 小脳疾患の理学療法評価とプログラム 運動失調の理学療法評価とプログラムについて理解する。プログラムでは特に感覚情報の付与(重錘負荷法、弾性緊縛帯、PNF、フレネル体操)について理解する。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p> <p>第9回 脊髄小脳変性症の評価と理学療法 脊髄小脳変性症の分類(遺伝性/非遺伝性、フリードライヒ失調症、OPCA、SND、SDS)、各疾患の特徴について知る。脊髄小脳変性症に対する理学療法プログラムを理解する。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(0.5時間)</p>

	<p>時間) 第10回 運動失調 国家試験問題 運動失調に関連する国家試験問題を解く。匿名で答えを送信し、正答率や正解の解説を行う。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第11回 トピックス；記憶のメカニズム 記憶のメカニズムについて説明し、グループワークの有効性を学ぶ。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第12回 グループワーク① 神経難病 (多発性硬化症, ALS) 6グループに分かれてもらい各グループ8-10名とする。2つの神経難病について病態、評価、理学療法プログラムについて書籍などを用いて授業時間内にパワーポイントにまとめる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第13回 グループワーク② 神経難病 (多発性硬化症, ALS) 6グループに分かれてもらい各グループ8-10名とする。2つの神経難病について病態、評価、理学療法プログラムについて書籍などを用いて授業時間内にパワーポイントにまとめる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第14回 グループワーク③ 神経難病 (多発性硬化症, ALS) 発表 各グループから発表を行う。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間)</p> <p>第15回 神経難病 国家試験問題 神経難病に関連する国家試験問題を解く。匿名で答えを送信し、正答率や正解の解説を行う。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (0.5時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (0.5時間) 定期試験</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 配布資料
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験
課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法	<p>授業終了後にQRコードを提示します。 QRコードを読み込んで授業に関する感想や疑問点について送って頂き、次回授業時に返答します。</p>
備考	病院での実務 (勤務) 経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
栗田 梨渚			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学)	031309L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	小児期にみられる主な疾患・症状について、理学療法士としてどのように理解し、具体的にどう対応するかを学ぶ。
授業の概要	染色体異常であるダウン症、遺伝性疾患である筋ジストロフィー症、先天性の神経疾患である二分脊椎や発達障害、学童期にみられる骨関節疾患など、小児期にみられる主な疾患・症状について理学療法士としてどのように理解し、具体的にどう対応するかを学ぶ。
授業計画	<p>第1回 小児期の運動療法（療育） 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第2回 ダウン症の主要な症状と臨床経過及び理学療法評価・治療 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第3回 知的発達症・自閉スペクトラム症の主要な症状と臨床経過および理学療法士のかかわり 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第4回 注意欠如多動症・学習症の主要な症状と臨床経過及び理学療法士のかかわり 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第5回 発達性協調運動症の主要な症状と臨床経過及び理学療法士のかかわり 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第6回 神経発達症の理学療法評価・治療（実技） 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第7回 低出生体重児の主要な症状と臨床経過及び理学療法士のかかわり 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第8回 重症心身障害児の主要な症状と臨床経過及び理学療法評価・治療 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第9回 重症心身障害児の理学療法評価・治療（実技） 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第10回 筋ジストロフィーの主要な症状と臨床経過 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第11回 筋ジストロフィーにおける理学療法評価の項目と主要な問題点及び理学療法 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第12回 二分脊椎の主要な症状と臨床経過及び理学療法評価・治療 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第13回 ペルテス病・発育性股関節形成不全における理学療法評価と問題点及び理学療法 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第14回 そのほか様々な小児疾患 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第15回 発達評価・運動評価 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める（30分） 定期試験</p>
テキスト	浅野大喜（編集）：Crosslink basic リハビリテーションテキスト 小児理学療法学，MEDICAL VIEW，2021
参考書・参考資料等	細田多穂（監修）：小児理学療法学テキスト 改訂第4版，南江堂，2024 千住秀明（監修）：理学療法学テキストⅧ こどもの理学療法第2版，神陵文庫，2010 楠本泰士（編集）：小児リハ評価ガイド 統合と解釈を理解するための道しるべ，メジカルビュー社，2019 金子断行・他（編集）：実践に基づく 重症心身障害児者の理学療法ハンドブック，株式会社ともあ，2021 （公財）日本障がい者スポーツ協会（編），障がいのある人のスポーツ指導教本，株式会社ぎょうせい，2020

	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 小児理学療法学, 中山書店, 2022 他
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	時講義中および終了時、研究室在室時に適宜返答する。
備考	小児科クリニック（医療・福祉）での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【必修】理学
担当教員			
栗田 梨渚			
演習		031310S4P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	脳性麻痺を中心とした中枢神経疾患に対する障害の把握方法及び理学療法を理解する。		
授業の概要	脳性麻痺の定義、主要な症状やタイプ別の臨床経過を学ぶ。 脳性麻痺児の理学療法評価および治療について学ぶ。 発達障害系理学療法で学んだ知識を、グループの演習形式で行う。 症例の状態に応じた評価、治療プログラムの立案、および実践を行う。		
授業計画	第1回	脳性麻痺の総論 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第2回	痙直型両麻痺の主要な症状と臨床経過 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第3回	痙直型四肢麻痺の主要な症状と臨床経過 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第4回	痙直型片麻痺の主要な症状と臨床経過 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第5回	アテトーゼ型の主要な症状と臨床経過 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第6回	痙直型片麻痺の事例検討 痙直型片麻痺のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第7回	痙直型両麻痺の事例検討1 痙直型両麻痺のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第8回	痙直型両麻痺の事例検討2 痙直型両麻痺のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第9回	痙直型両麻痺の事例検討3 痙直型両麻痺のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第10回	アテトーゼ型の事例検討1 アテトーゼ型のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第11回	アテトーゼ型の事例検討2 アテトーゼ型のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第12回	アテトーゼ型の事例検討3 アテトーゼ型のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第13回	発達性協調運動症の主要な症状と臨床経過 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第14回	発達性協調運動症の事例検討1 発達性協調運動症のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第15回	発達性協調運動症の事例検討2 発達性協調運動症のケーススタディを行う。 事前学習：授業前にテキストの該当範囲に目を通し、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：テキスト・授業資料などで講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	

	定期試験
テキスト	浅野大喜（編集）：Crosslink basic リハビリテーションテキスト 小児理学療法学, MEDICAL VIEW, 2021
参考書・参考資料等	細田多穂（監修）：小児理学療法学テキスト改訂第3版, 南江堂, 2024 千住秀明（監修）：理学療法学テキストⅧ こどもの理学療法第2版, 神陵文庫, 2010 近藤和泉：粗大運動能力尺度, 医学書院 里宇明元：PEDIリハビリテーションのための子供の能力低下評価法, 医歯薬出版 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 小児理学療法学, 中山書店, 2022 他
学生に対する評価	レポート試験：100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	時講義中および終了時、研究室在室時に適宜返答する。
備考	小児科クリニック（医療・福祉）での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】理学
担当教員			
相良 絵利華			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学)	031311L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	内部障害における理学療法を理解することを目的とする。		
授業の概要	<p>授業の概要</p> <p>1. 内部障害系理学療法の領域, 対象, 問題の捉え方, 方法を理解する。</p> <p>2. 循環器リハビリテーションとして心臓疾患並びに末梢循環障害の病態特性, 心臓リハビリテーションの考え方 理学療法士の役割を学ぶ。</p> <p>3. 代謝系疾患として糖尿病を中心に, 糖尿病の病態, 治療の考え方, 理学療法士の役割を学ぶ。</p> <p>4. 呼吸リハビリテーションとして呼吸器疾患の病態特性, 呼吸理学療法の考え方, 理学療法士の役割を学ぶ。</p>		
授業計画	第1回	呼吸理学療法総論 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture1を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第2回	呼吸器系の解剖学・運動学 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture2を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第3回	呼吸器系の生理学 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture3を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第4回	呼吸不全の病態と呼吸器疾患 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture4を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第5回	呼吸理学療法のための評価 (1) 医療面接とフィジカルアセスメント 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture5を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第6回	呼吸理学療法のための評価 (2) その他の評価法 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture6を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第7回	呼吸理学療法基本手技 (1) コンディショニング 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture7を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第8回	呼吸理学療法基本手技 (2) 排痰法・排痰で用いる徒手の手技 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture8を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第9回	呼吸理学療法基本手技 (3) 呼吸困難改善のための手技 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture9を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第10回	呼吸理学療法基本手技 (4) 運動療法 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture10を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第11回	酸素療法と呼吸理学療法 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture11を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第12回	人工呼吸療法と呼吸理学療法 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture12を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第13回	疾患別呼吸理学療法 (1) 慢性呼吸不全 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture13を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第14回	疾患別呼吸理学療法 (2) 急性呼吸不全 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture14を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第15回	吸引 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 呼吸」Lecture15を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第16回	循環系および腎臓の構造と機能 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture1を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	
	第17回	心電図と心臓超音波検査の診かた 事前学習: テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture2を読んでおく (30分) 事後学習: テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める (30分)	

第18回	エネルギー代謝と栄養 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture3を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第19回	運動耐容能とその評価 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture4を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第20回	循環器疾患（1）心不全 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture5を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第21回	循環器疾患（2）虚血性心疾患 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture6を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第22回	循環器疾患（3）心臓弁膜症、心筋症 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture7を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第23回	循環器疾患（4）大動脈疾患、末梢動脈疾患 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture8を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第24回	循環器疾患（5）その他の心不全と基礎疾患 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture9を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第25回	糖尿病 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture10を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第26回	心臓と多臓器連関 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture11を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第27回	循環器理学療法の実際（1） 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture12を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第28回	循環器理学療法の実際（2） 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture13を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第29回	循環器理学療法の実際（3）、循環器理学療法の実際（4） 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ 循環・代謝」Lecture14・15を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
第30回	がんの理学療法 事前学習：テキスト「シンプル理学療法学シリーズ 内部障害理学療法学テキスト」28章を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）
定期試験	
テキスト	石川朗編：15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第3版、中山書店、2022年出版 石川朗編：15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝 第3版、中山書店、2024年出版 細田多穂監修：シンプル理学療法学シリーズ 内部障害理学療法学テキスト 改訂第4版、南江堂、2022年出版 高橋仁美編：動画でわかる呼吸リハビリテーション 第5版、中山書店、2020年出版
参考書・参考資料等	細田多穂編：理学療法ハンドブック [改訂第4版] 第1巻 理学療法の基礎と評価、協同医書出版、2013年出版 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会/日本呼吸器学会/日本リハビリテーション医学会/日本理学療法士協会編：呼吸リハビリテーションマニュアル-運動療法-第2版、照林社、2018年出版
学生に対する評価	筆記試験：90% 実技試験10%（全ての試験を受験した上で評価します）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時に随時対応いたします。
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	【必修】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
演習		031312S2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	課題を通じて評価を列挙・選択し実践する。得られた検査結果から問題点を抽出し、統合と解釈及び目標設定が行える。
授業の概要	中枢神経および運動器疾患を有した対象者に対して、小グループでの理学療法評価演習を行う。疾患に対して評価を列挙・選択し、評価を実践する。得られた検査結果からレポート課題を通して問題点を抽出し、統合と解釈及び目標設定までまとめ、学習効果を確認する。
授業計画	<p>第1回 中枢神経疾患（1～15回）に対するオリエンテーション 事前学習：中枢神経疾患について全体的な下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第2回 情報収集 一般情報の収集、他部門からの情報収集、その他（画像診断、手術記録、服用薬等）の情報収集 事前学習：参考書等を使用して一般情報収集について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第3～4回 評価項目の列挙・選択、評価の練習 評価（BRS、筋緊張検査、反射検査、脳神経検査、感覚検査、バランス検査、関節可動域検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第5回 評価の実施 評価（BRS、筋緊張検査、反射検査、脳神経検査、感覚検査、バランス検査、関節可動域検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第6回 評価結果の整理・考察 統合と解釈、問題点の抽出、目標の設定（STG、LTG） 事前学習：参考書等を使用して目標設定の考え方について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第7～8回 評価項目の列挙・選択、評価の練習 評価（BRS、筋緊張検査、反射検査、脳神経検査、感覚検査、バランス検査、関節可動域検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第9回 評価の実施 評価（BRS、筋緊張検査、反射検査、脳神経検査、感覚検査、バランス検査、関節可動域検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第10回 評価結果の整理・考察 統合と解釈、問題点の抽出、目標の設定（STG、LTG） 事前学習：参考書等を使用して目標設定の考え方について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第11～12回 評価項目の列挙・選択、評価の練習 評価（BRS、筋緊張検査、反射検査、脳神経検査、感覚検査、バランス検査、関節可動域検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第13回 評価の実施 評価（BRS、筋緊張検査、反射検査、脳神経検査、感覚検査、バランス検査、関節可動域検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第14回 評価結果の整理・考察 統合と解釈、問題点の抽出、目標の設定（STG、LTG） 事前学習：参考書等を使用して目標設定の考え方について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第15回 まとめ 事前学習：中枢神経疾患について全体的に理解しておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第16回 運動器疾患（16～30回）に対するオリエンテーション 事前学習：運動器疾患について全体的な下調べしておくこと（30分）</p>

	<p>事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第17回 情報収集 一般情報の収集、・他部門からの情報収集、その他（画像診断、手術記録、服用薬等）の情報収集 事前学習：参考書等を使用して一般情報収集について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第18～19回 評価項目の列举・選択、評価の練習 評価（関節可動域検査、徒手筋力検査、JOA、感覚検査、整形外科特殊検査、筋緊張検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第20回 評価の実施 評価（関節可動域検査、徒手筋力検査、JOA、感覚検査、整形外科特殊検査、筋緊張検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第21回 評価結果の整理・考察 統合と解釈、問題点の抽出、目標の設定（STG、LTG） 事前学習：参考書等を使用して目標設定の考え方について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第22～23回 評価項目の列举・選択、評価の練習 評価（関節可動域検査、徒手筋力検査、JOA、感覚検査、整形外科特殊検査、筋緊張検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第24回 評価の実施 評価（関節可動域検査、徒手筋力検査、JOA、感覚検査、整形外科特殊検査、筋緊張検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第25回 評価結果の整理・考察 統合と解釈、問題点の抽出、目標の設定（STG、LTG） 事前学習：参考書等を使用して目標設定の考え方について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第26～27回 評価項目の列举・選択、評価の練習 評価（関節可動域検査、徒手筋力検査、JOA、感覚検査、整形外科特殊検査、筋緊張検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第28回 評価の実施 評価（関節可動域検査、徒手筋力検査、JOA、感覚検査、整形外科特殊検査、筋緊張検査、姿勢・動作分析、歩行分析、ADL等） 事前学習：参考書等を使用して必要な評価について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第29回 評価結果の整理・考察、レポート課題の見直し 統合と解釈、問題点の抽出、目標の設定（STG、LTG） 事前学習：参考書等を使用して目標設定の考え方について下調べしておくこと（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p> <p>第30回 まとめ 事前学習：運動器疾患について全体的に理解すること（30分） 事後学習：得られた内容を振り返り理解を深めること（30分）</p>
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	授業で用いたテキスト、参考書、参考資料等全て、配布資料
学生に対する評価	配分：中枢神経疾患50%、運動器疾患50% (評価は臨床評価実習評価表を用い、両疾患の演習を受講した上で評価します。)
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月～金曜の午前9時から午後5時
備考	【実務経験について】 病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。 理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
村田 寛一郎			
講義		031313L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	物理療法の概要と生理的作用、実施方法、注意、適応、禁忌を理解する。
授業の概要	物理療法は運動療法と並ぶ理学療法技術体系の一つであり、物理的エネルギーを与えることにより、生体の有する自然治癒能力を賦活させるように働きかける治療法である。一般的には温熱療法、寒冷療法、電気療法、光線療法、水治療法、牽引療法が知られている。物理療法の定義、原理、方法と種類、目的、適応と禁忌について学びながら、各種の物理的刺激が生体にどのような反応を起し、実際の治療にどのように適応していくかを学習する。
授業計画	<p>第1回 物理療法の定義と体系 事前学習：配布資料を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第2回 温熱療法の概要と生理的作用 事前学習：テキスト (p35～45) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第3回 温熱療法の実施方法、治療効果、注意、適応、禁忌 事前学習：テキスト (p45～56) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第4回 高周波療法の概要と生理的作用 事前学習：テキスト (p79～98) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第5回 超音波療法の概要、生理的作用、治療効果、注意、適応、禁忌 事前学習：テキスト (p137～155) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第6回 寒冷療法の概要と生理的作用 事前学習：テキスト (p57～62) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第7回 寒冷療法の実施方法、治療効果、注意、適応、禁忌 事前学習：テキスト (p62～77) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第8回 光線療法の概要と生理的作用 事前学習：テキスト (p99～106) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第9回 光線療法の実施方法、治療効果、注意、適応、禁忌 事前学習：テキスト (p106～136) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第10回 電気療法の概要と生理的作用 事前学習：テキスト (p157～173) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第11回 電気療法の実施方法、治療効果、注意、適応、禁忌 事前学習：テキスト (p173～202) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第12回 水治療法の概要と生理的作用 事前学習：テキスト (p203～209) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第13回 水治療法の実施方法、治療効果、注意、適応、禁忌 事前学習：テキスト (p209～219) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第14回 牽引療法の概要と生理的作用 事前学習：テキスト (p221～225) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第15回 牽引療法の実施方法、治療効果、注意、適応、禁忌 事前学習：テキスト (p225～238) を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p>
テキスト	配布資料 松澤正・江口勝彦 監修：物理療法学 改訂第3版、金原出版、2021年
参考書・参考資料等	1. 細田多穂他編：理学療法ハンドブック 改訂第4版 第2巻 治療アプローチ、協同医書出版、2010. 2. 網本和 監修：標準理学療法物理学物理療法学第4版、医学書院、2013年 3. Michelle HC著：渡部一郎 監訳：EBM物理療法 第2版、医歯薬出版、2006年
学生に対する評価	筆記試験100%

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日から金曜日9時～17時の在室時。
備考	授業で配布するプリント等は出席者および公欠者のみに原則配布する。 病院および施設リハビリテーション科での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
村田 寛一郎			
演習		031314S3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	物理療法の生理的作用、実施方法、注意、適応、禁忌を理解し、物理療法を有効かつ安全に実践できる治療技術の習得を目標とする。
授業の概要	各物理療法を実施し生理学的変化を実際に体験し確認することによって、治療の目的ならびに使用上の注意点を深く理解するとともに、各物理療法の有効性と物理的特性、治療手順、機器操作法、治療姿勢、リスク管理、機器 維持管理について学習し、有効かつ安全な治療技術を習得する。
授業計画	<p>第1回 物理療法学演習の目的、グループ編成、日程、実習方法、注意事項、実技の説明 事前学習：配布資料を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第2回 ホットパック等の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p45～50）を読み、ホットパックの手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第3回 パラフィン療法等の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p51～55）を読み、パラフィン療法の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第4回 超音波療法等の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p146～155）を読み、超音波療法の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第5回 極超短波療法等の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p93～98）を読み、極超短波療法の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第6回 コールドパックの実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p62～65、68～74）を読み、コールドパックの手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第7回 極低温療法およびクリッカー等の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p66～67、74～76）を読み、極低温療法およびクリッカーの手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第8回 紫外線療法の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p106～114）を読み、紫外線療法の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第9回 直線偏光近赤外線療法の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p119～122）を読み、直線偏光近赤外線療法の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第10回 治療的電気刺激療法（TES）の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p173～174、188～192）を読み、治療的電気刺激療法（TES）の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第11回 経皮的末梢神経電気刺激療法（TENS）の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p173～181）を読み、経皮的末梢神経電気刺激療法（TENS）の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第12回 トリミックスの実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p180～184）を読み、トリミックスの手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第13回 過流浴等の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p211～213）を読み、過流浴の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第14回 交代浴等の実技練習と課題学習 事前学習：配布資料、テキスト（p213～214）を読み、交代浴の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第15回 牽引療法の実技練習と課題学習</p>

	事前学習：配布資料、テキスト（p225～235）を読み、牽引療法の手順、注意事項、適応、禁忌について確認しておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で演習内容を振り返り理解を深める（30分）
テキスト	配布資料 松澤正・江口勝彦 監修：物理療法学改訂第3版、金原出版、2021年
参考書・参考資料等	1. 細田多穂他編：理学療法ハンドブック 改訂第4版 第2巻 治療アプローチ、協同医書出版、2010. 2. 網本和 監修：標準理学療法学物理療法学第4版、医学書院、2013年 2. MichelleHC 著：渡部一郎 監訳：EBM物理療法第2版、医歯薬出版、2006年
学生に対する評価	筆記試験80%、レポート試験10%、実技試験10%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜部から金曜日9時～17時の在室時。
備考	授業で配布するプリント等は出席者および公欠者のみに原則配布する。 病院および施設リハビリテーション科での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学
担当教員			
相良 絵利華			
講義		031315LIP	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	ADL（日常生活活動）の概念と範囲を理解し、その評価法および日常生活活動における指導技術や介助技術を修得する。
授業の概要	高齢者や障害者の自立・社会参加を促し、質の高い生活を送ることができるようにするためには、障害構造を理解した上で、日常生活活動能力を高めることが目標の一つとなる。日常生活活動の概念と範囲を理解し、その評価法及び日常生活活動における指導技術や介助技術を修得する。また、生活の質を高め、活動範囲を広げていくために必要な補装具や福祉用具の構造や使用法について、対象者に説明・使用できることを目標に実践的に学ぶ。
授業計画	<p>第1回 ADL総論① 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture1を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第2回 ADL総論② 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture1を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第3回 ADL評価① 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture2を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第4回 ADL評価② 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture2を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第5回 ADL評価③ 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture2を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第6回 ADL評価④ 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture2を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第7回 歩行動作と歩行補助具① 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture4を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第8回 歩行動作と歩行補助具② 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture4を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第9回 移動動作（車椅子移動） 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture5を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第10回 福祉・日常生活用具 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture11を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第11回 松葉杖、平行棒、車椅子等の扱い方、指導と介助 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture4, 5, 11を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第12回 グループワーク（松葉杖の扱い方、指導と介助） 事前学習：配布資料およびテキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture4を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第13回 グループワーク（平行棒・杖・歩行器・歩行車の扱い方、指導と介助） 事前学習：配布資料およびテキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture4を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第14回 グループワーク（車椅子の扱い方、指導と介助） 事前学習：配布資料テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture5, 11を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第15回 まとめ・復習 事前学習：テキスト「15レクチャーシリーズ ADL・実習」Lecture1, 2, 4, 5, 11を読んでおく（30分） 事後学習：テキストおよび配布資料、ノート等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分） 定期試験</p>

テキスト	石川朗編：15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト ADL・実習、中山書店、2021年出版 千野直一編：実践リハビリテーション・シリーズ 脳卒中の機能評価－SIASとFIM [基礎編]、金原出版、2012年出版
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験：80% レポート試験20%（全ての試験を受験した上で評価します。）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時に随時対応いたします。
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】理学
担当教員			
野村 友美			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学)	031316L2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	各障害の状況や身体の状態に合わせた姿勢・動作の介助が適切に行なえるよう介助を行なう上での知識や技術、介助法のポイント・留意点など演習を通じて習得することを目標とする
授業の概要	日常生活活動・QOLの概念を踏まえた上で、日常生活の自立のために必要となる日常生活動作の指導方法を学習する。脳卒中、脊髄損傷、関節リウマチ、脳性麻痺、骨・関節疾患、神経・筋疾患、呼吸器・循環器疾患など各疾患の病態や障害及び日常生活動作の制限因子を理解し、適切な評価の実施方法や日常生活動作の指導方法を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 リフティングとトランスファー、リフティング時の基本姿勢・注意点 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第2回 ベッド上・寝返り・起き上がり動作時の身体力学・動作介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第3回 ベッド⇄車椅子間などの移動動作時の身体力学・動作介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第4回 骨関節疾患患者の各動作の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第5回 骨関節疾患患者の各動作の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第6回 骨関節疾患患者の各動作の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第7回 基本動作における全介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第8回 脊髄損傷患者の起居・移乗・移動動作の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第9回 神経・筋疾患患者の各動作の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第10回 片麻痺患者の起居・移乗動作の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第11回 片麻痺患者の歩行・階段昇降・跨ぎ動作の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第12回 片麻痺患者の日常生活動作・生活関連活動の特徴、各動作の指導法と介助法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第13回 グループワーク 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第14回 グループワーク 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第15回 グループワーク 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分) 定期試験</p>
テキスト	石川朗編：理学療法・作業療法テキスト ADL・実習，中山書店
参考書・参考資料等	(公財)日本障がい者スポーツ協会(編)，障がいのある人のスポーツ指導教本，株式会社ぎょうせい 鶴見隆正編：標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版，医学書院

学生に対する評価	筆記試験：80% 実技試験：20%（全ての試験を受験した上で評価します。）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	在室中随時
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】理学
担当教員			
菅原 慎弥・佐治 弘基			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学)	031317L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1)理学療法における義肢・装具の役割と意義を理解する。 2)義肢・装具の適応となる疾患や障害を学び、義肢・装具の構造と機能を理解する。 3)疾患や障害に対する義肢・装具の適応と適合判定能力を養う。
授業の概要	(オムニバス方式/全30回) 1～26回は菅原慎弥が単独で行う。 27～30回はクラスを2つに分け、菅原慎弥の27, 28回の授業と、佐治弘基の29, 30回の授業を同時に開催する。 (菅原慎弥/全26回) 義肢学では、股義足、大腿義足、下腿義足、および義手などについてその構造と機能を教授する。あわせて、各種の障害に対してこれらがどのように適応されるのかを理解する。さらに義足歩行におけるアライメントの重要性とチェックすべき要点について学ぶ。 装具学では、体幹装具、長下肢装具、短下肢装具、足部装具、および上肢装具などの種類について学ぶ。また、疾病にともなう惹起する障害に対してこれらがどのように適用されるのかを理解する。 (佐治弘基/全4回) 模擬体験義足を使用し、異常歩行出現時のアライメント修正方法について説明する。
授業計画	<p>第1回 装具学総論 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第2回 下肢装具の構成部品とそのチェックアウト (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第3回 靴形装具の構成部品とそのチェックアウト (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第4回 足継手の制御機構 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第5回 疾患別の装具療法①脳卒中片麻痺の装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第6回 疾患別の装具療法②対麻痺の装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第7回 疾患別の装具療法③整形外科的装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第8回 疾患別の装具療法④頸椎疾患・胸腰椎疾患の装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第9回 疾患別の装具療法⑤末梢神経障害の装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第10回 疾患別の装具療法⑥脊柱側弯症・小児疾患の装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第11回 疾患別の装具療法⑦小児疾患の装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)</p> <p>第12回 疾患別の装具療法⑧関節リウマチの装具 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分)</p>

第13回	事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分) 靴形装具・短下肢装具装着における歩行分析 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第14回	中間テスト (担当：菅原 慎弥)
第15回	義肢学総論 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第16回	下肢切断の理学療法評価 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第17回	大腿義足ソケットの種類と適合評価 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第18回	膝義足ソケットの種類と適合評価 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第19回	大腿義足・膝義足アライメント (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第20回	下腿義足ソケットの種類と適合評価 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第21回	サイム義足ソケットの種類と適合評価 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第22回	下腿義足・サイム義足アライメント (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第23回	股義足ソケットの種類 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第24回	股義足のアライメント (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第25回	足部部分義足の種類と適合評価 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第26回	継手の種類とその設定調整方法 (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第27回	下肢切断者に対する理学療法プログラム (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第28回	義足装着のための筋力強化トレーニング (担当：菅原 慎弥) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第29回	大腿義足体験とアライメント調整 (担当：佐治 弘基) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分)
第30回	大腿義足体験とアライメント調整 (担当：佐治 弘基) 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく (30分) 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める (30分) 定期試験
テキスト	高田治実監修 PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 羊土社 2020

参考書・参考資料等	(公財) 日本障がい者スポーツ協会(編), 障がいのある人のスポーツ指導教本, 株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験: 100%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	講義中および研究室在室時随時(菅原 慎弥) 講義中および終了時に適宜返答(佐治 弘基)
備考	総合病院での実務経験を有しており、その知験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【必修】理学
担当教員			
藤田 和樹			
講義		031318L4P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	神経系疾患に対する理学療法について理解する。
授業の概要	神経系治療技術の評価・治療の基本概念と基礎技術を教授する。脳の機能解剖、神経解剖を基本として、様々な臨床症状について理解し、姿勢の異常や歩行の異常に対しての治療を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 痙縮および疼痛に対するアプローチ（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第2回 麻痺筋に対する治療的電気刺激とバイオフィードバック療法（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第3回 ニューロモデュレーション（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第4回 高次脳機能障害に対する理学療法（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第5回 課題指向型アプローチ（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第6回 トレッドミルトレーニング（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第7回 装具を使用した歩行練習（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p> <p>第8回 エビデンスに基づく介入の考え方（担当：藤田和樹） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（30分） 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り、理解を深める（30分）</p>
テキスト	配布資料
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	レポート課題：100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する 藤田：10時～19時 大学院学生指導室3
備考	【実務経験について】 病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。 理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

講義科目名称： 運動器系治療技術 I（運動機能障害の評価と治療） 授業コード： 303300A

英文科目名称： Orthopaedic Therapeutics I (Evaluation and Treatment)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学
担当教員			
齊木 理友			
講義		031319L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	運動器系の機能異常・機能障害の評価・治療の基本理念と関節機能異常の評価・治療技術を習得する。
授業の概要	運動器系治療技術の基礎科学、評価・治療の基本概念と基礎技術を教授する。基礎科学としては臨床応用するための神経筋骨格系の解剖・運動学、評価・治療の基本概念としては観察、運動機能評価、神経学的検査、診断学的検査などについて講義する。基礎技術としては脊柱と四肢の評価・治療手技の実技指導を行う。評価治療技術には観察、触診、運動機能評価、神経学的検査、診断学的検査、関節モビライゼーションなどを含む。
授業計画	<p>第1回 運動器障害理学療法総論と基本方針 事前学習：テキスト（Crosslink p2～15）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第2回 運動器障害理学療法の基礎科学 1 事前学習：テキスト（Crosslink p16～26）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第3回 運動器障害理学療法の基礎科学 2 事前学習：テキスト（Crosslink p26～39）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第4回 運動器障害理学療法の評価治療技術の基礎 事前学習：テキスト（触診技術 上肢 p2～13、触診技術 下肢 p30～53）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第5回 膝関節の機能障害に対する評価治療技術 1 事前学習：テキスト（触診技術 下肢 p92～117）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第6回 膝関節の機能障害に対する評価治療技術 2 事前学習：テキスト（術後理学療法プログラム p206～241）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第7回 膝関節の機能障害に対する評価治療技術 3 事前学習：テキスト（術後理学療法プログラム p242～256）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第8回 股関節の機能障害に対する評価治療技術 1 事前学習：テキスト（触診技術 下肢 p2～27、140～179）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第9回 股関節の機能障害に対する評価治療技術 2 事前学習：テキスト（Crosslink p204～215）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第10回 股関節の機能障害に対する評価治療技術 3 事前学習：テキスト（Crosslink p216～223）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第11回 脊柱の機能障害に対する評価治療技術 1 事前学習：テキスト（触診技術 下肢 p286～311）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第12回 脊柱の機能障害に対する評価治療技術 2 事前学習：テキスト（Crosslink p390～427）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第13回 肩関節の機能障害に対する評価治療技術 1 事前学習：テキスト（触診技術 上肢 p16～48、p162～230）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第14回 肩関節の機能障害に対する評価治療技術 2 事前学習：テキスト（Crosslink p291～311、p331～342）を読み、講義内容について調べておく（60分） 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）</p> <p>第15回 足関節・足部の機能障害に対する評価治療技術 事前学習：テキスト（術後理学療法プログラム p272～278）を読み、講義内容について調べてお</p>

	<p>く (60分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分) 定期試験</p>
テキスト	<p>①配布資料 ②加藤浩 編集：Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学、メジカルビュー社、2020 ③島田洋一：整形外科 術後理学療法プログラム 第3版、メジカルビュー社、2020 ④青木隆明 監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 上肢 第2版、メジカルビュー社、2022 ⑤青木隆明 監修：運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 下肢・体幹 第2版、メジカルビュー社、2022</p>
参考書・参考資料等	<p>・松村将司 編集：適切な判断を導くための整形外科徒手検査法、メジカルビュー社、2020</p>
学生に対する評価	<p>筆記試験を70%、実技試験を30%とし、両方を受験した上で評価する。</p>
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	<p>講義中および終了時に適宜返答する。 また、月曜から金曜日の9時から17時の在室時にも対応する。</p>
備考	<p>病院での実務（勤務）、臨床経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【必修】理学
担当教員			
齊木 理友			
講義		031320L4P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	脊柱と四肢の機能障害に対する評価・治療の基本手技とそれを実践するための臨床推論を習得する。
授業の概要	運動器系治療における評価・治療とそれを実践するための臨床推論について演習し、脊柱と四肢の評価・治療における実践的手技の実習を行う。実践的手技としては、関節モビライゼーション、運動併用関節モビライゼーション (MWM; mobilization with movements)、軟部組織モビライゼーション、神経モビライゼーションを行う。また、実践的手技については、口頭試問と実技試験を行う。
授業計画	<p>第1回 運動器障害理学療法における評価治療と臨床推論の基礎1 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第2回 運動器障害理学療法における評価治療と臨床推論の基礎2 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第3回 膝関節の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論1 (関節モビライゼーション、MWM) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第4回 膝関節の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論2 (軟部組織及び神経モビライゼーション) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第5回 膝関節の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論3 (臨床推論の課題報告) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第6回 股関節の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論1 (関節モビライゼーション、MWM) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第7回 股関節の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論2 (軟部組織及び神経モビライゼーション) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第8回 股関節の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論3 (臨床推論の課題報告) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第9回 体幹の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論1 (関節モビライゼーション) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第10回 体幹の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論2 (MWM) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第11回 体幹の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論3 (軟部組織及び神経モビライゼーション) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第12回 体幹の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論4 (臨床推論の課題報告) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第13回 肩甲带上肢の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論1 (関節モビライゼーション、MWM) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第14回 肩甲带上肢の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論2 (軟部組織及び神経モビライゼーション) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分)</p> <p>第15回 肩甲带上肢の機能障害に対する評価治療技術と臨床推論3 (臨床推論の課題報告) 事前学習：講義内容について調べておく (30分) 事後学習：配布資料およびテキスト等で講義内容を振り返り理解を深める (30分) 定期試験</p>
テキスト	・配布資料
参考書・参考資料等	・藤縄理：徒手理学療法、三輪書店、2017 ・藤縄理、亀尾徹監訳：マニュアルセラピーに対するクリニカルリーズニングの全て、協同医書出版社、2010

学生に対する評価	実技試験(30%)、課題発表(70%)
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。 また、月曜から金曜日の9時から17時の在室時にも適時対応する。
備考	病院での実務（勤務）、臨床経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】理学
担当教員			
藤本 昭			
講義		031401L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	地域リハビリテーション及び地域理学療法学の概念や定義、その歴史と現状、並びに今後の展開を理解する。
授業の概要	地域リハビリテーション及び地域理学療法学の概念や定義、その歴史と現状、今後の展開を理解するとともに、地域リハビリテーションに関する法規・制度の内容、関連施設の内容と位置付け、関連職種の内容や役割、その他の社会資源を学び、理学療法士が行うべき地域支援活動や役割、地域における連携の重要性を学習する。
授業計画	<p>第1回 地域リハビリテーションの概念について① 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第2回 地域リハビリテーションの概念について② 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第3回 リハビリテーション医療の流れ 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第4回 急性期リハビリテーションについて 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第5回 回復期リハビリテーションについて 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第6回 維持期リハビリテーションについて① 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第7回 維持期リハビリテーションについて② 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第8回 訪問リハビリテーション 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第9回 終末期リハビリテーション 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第10回 介護保険とリハビリテーションについて① 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第11回 介護保険とリハビリテーションについて② 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第12回 ボランティア概論 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第13回 症例検討・演習課題① 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第14回 症例検討・演習課題② 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分)</p> <p>第15回 地域における理学療法の役割についてのまとめ 事前学習：講義内容について事前に調べておく (120分) 事後学習：配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める (120分) 定期試験</p>
テキスト	石川 朗：理学療法テキスト 地域理学療法学，中山書店，2021.
参考書・参考資料等	

学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>【実務経験について】</p> <p>病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。</p> <p>理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】理学
担当教員			
野村 友美			
講義		031402L3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	障害者や高齢者を取り巻く生活環境を知り、生活・行動様式を踏まえた上で、住宅構造や改修に関わる知識を身につける。
授業の概要	高齢者や障害者の自立・社会参加を積極的に促すためには、そうした人々をとり巻く環境を知り、環境整備に関する理解を深め、実践できるような技術を身に付けることが重要になってくる。高齢者・障害者の生活・行動様式を踏まえた上で、住居及び周辺環境に焦点をあて、住宅構造や住宅改修に関わる知識や技術、福祉機器の構造や使用方法などを理解し、実際にモデルケースを想定して個々の障害に合った環境整備について学ぶ。
授業計画	<p>第1回 生活環境の概念 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第2回 生活環境の評価と改善計画 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第3回 生活環境と法的諸制度 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第4回 住宅改修の基礎知識 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第5回 福祉機器について 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第6回 高齢者に対する環境整備 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第7回 脳血管障害、パーキンソン病・内部障害・糖尿病患者に対する環境整備 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第8回 脊髄損傷患者、脳性麻痺患者に対する環境整備 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第9回 関節リウマチ患者、神経難病（筋ジストロフィー・ALS）患者に対する環境整備 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（30分）</p> <p>第10回 切断・視覚・聴覚・言語・高次脳機能障害者、および認知症患者に対する環境整備 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分）</p> <p>第11回 グループワーク 事前学習：事前に提示した課題について調べておく（120分） 事後学習：課題の不足部分を確認・理解を深める（120分）</p> <p>第12回 グループワーク 事前学習：事前に提示した課題について調べておく（120分） 事後学習：課題の不足部分を確認・理解を深める（120分）</p> <p>第13回 グループワーク 事前学習：事前に提示した課題について調べておく（120分） 事後学習：課題の不足部分を確認・理解を深める（120分）</p> <p>第14回 グループワーク 事前学習：事前に提示した課題について調べておく（120分） 事後学習：課題の不足部分を確認・理解を深める（120分）</p> <p>第15回 生活環境に対する諸制度と街づくり 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、講義内容について調べておく（120分） 事後学習：授業資料・ノートなどを見返し、理解を深める（120分） 定期試験</p>
テキスト	石川朗編：理学療法・作業療法テキスト ADL・実習，中山書店
参考書・参考資料等	配布資料 奈良 勲：日常生活活動学・生活環境学、第5版 医学書院

学生に対する評価	筆記試験：60% グループワーク課題：40%（全ての試験を受験した上で評価します。）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	在室時随時
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	1	【必修】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
実習	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学)	031501PIP	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	指導者の指導・監督のもと対象者の見学を行う。
授業の概要	1年次の授業が終了した時期に臨床現場の見学実習を行う。ここでは、社会人としての適切な振る舞いは言うに及ばず、医療専門職である理学療法士としての基本的な態度を身につけることと理学療法業務の流れを理解することを主な目的とする。具体的には臨床実習指導者（以下、指導者）の指導のもと、対象者との会話、評価・治療手技の観察などを行う。この実習を通じて理学療法の代表的な対象疾患の臨床像を理解し、2年次の学習への動機付けとなることを目標とする。
授業計画	<p>事前学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：臨床実習要綱を読み学外実習の内容について理解を深めておく。また、医療面接の練習をする（60分） 事後学習：オリエンテーションの内容を振り返るとともに臨床実習要綱を熟読し、学生個人ポートフォリオの作成を通じて学外実習のイメージを具現化する（100分） 学外実習（各実習施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①理学療法の対象者との関係性構築 ②チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割 ③対象者に対する理学療法実践 <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・フィジカルアセスメント <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、質問項目をまとめておくとともに、実習の内容について確認しておく（60分） 事後学習：毎日、自ら経験したことと臨床実習指導者から説明を受けたことを基軸にし、自己の学びを整理してまとめていき、学習ポートフォリオに綴じて整理していく中で理解を深める（100分） 事後学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凝縮ポートフォリオの作成 ・体験疾患リストの作成 ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、実習全体の体験内容を凝縮ポートフォリオ、体験疾患リストとしてまとめる。医療面接の内容を確認するとともに練習する（60分） 事後学習：学習ポートフォリオで学外実習の内容を振り返り理解を深める（100分）</p>
テキスト	配布資料 臨床実習要綱
参考書・参考資料等	（公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本、株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	〃配分：事前学習で行われるOSCE 10%、事後学習で行われるOSCE 40%、ソーシャルスキル 30%、ポートフォリオ 20%とする。 （事前学習・学外実習・事後学習の参加をもって評価します。）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月～金曜の午前9時～午後5時
備考	【実務経験について】 病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。 理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	1	【必須】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
実習		031502P3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	社会福祉施設での実習
授業の概要	通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション現場の見学実習を行う。ここでは、地域リハビリテーション活動の直接的支援活動として、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションで理学療法士が携わるときに必要な知識を身につける。また、地域リハビリテーションに関する法規・制度の内容、関連施設の内容と位置付け、関連職種の内容や役割、その他の社会資源を学び、理学療法士が行うべき地域支援活動や役割、地域における連携の重要性を学習することを目標とする
授業計画	<p>事前学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・レポート課題 <p>事前学習：臨床実習要綱を読み学外実習の内容について理解を深めておく（60分）</p> <p>事後学習：オリエンテーションの内容を振り返るとともに臨床実習要綱を熟読し、学生個人ポートフォリオの作成を通じて学外実習のイメージを具現化する（100分）</p> <p>学外実習（各実習施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①理学療法の対象者との関係性構築 ②チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割 ③地域包括ケアシステム（特に、通所リハビリテーション）における理学療法士の役割と、それに関与する関連専門職の役割の理解 <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、質問項目をまとめておくとともに、実習の内容について確認しておく（60分）</p> <p>事後学習：毎日、自ら経験したことと臨床実習指導者から説明を受けたことを基軸にし、自己の学びを整理してまとめていき、学習ポートフォリオに綴じて整理していく中で理解を深める（100分）</p> <p>事後学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凝縮ポートフォリオの作成 <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、実習全体の体験内容を凝縮ポートフォリオとしてまとめる（60分）</p> <p>事後学習：学習ポートフォリオで学外実習の内容を振り返り理解を深める（100分）</p>
テキスト	配布資料 臨床実習要綱
参考書・参考資料等	特になし
学生に対する評価	参加状況とポートフォリオから総合評価する。 （事前学習・学外実習・事後学習の参加をもって評価します。）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月～金曜の午前9時～午後5時
備考	【実務経験について】 病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。 理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	3	【必修】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
実習		031503P2P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	指導者の指導・監督のもとで対象者に検査・測定が安全かつ適切に行えることを目的とする。
授業の概要	理学療法の対象疾患その症状に対して、臨床の現場で指導者の指導・監督のもと、理学療法の基本的な評価を行う。その際、他部署との連携、対象者の人間性に配慮する。また、各種検査技術を実践するだけでなく、対象者の状態に配慮し、安全かつ適切に実施できるように心がける。
授業計画	<p>事前学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：臨床実習要綱を読み学外実習の内容について理解を深めておく。また、理学療法評価技術（関節可動域検査、形態測定、徒手筋力検査、感覚検査、脳神経検査、反射検査、筋緊張検査、片麻痺運動機能検査）を練習する（60分）</p> <p>事後学習：オリエンテーションの内容を振り返るとともに臨床実習要綱を熟読し、学生個人ポートフォリオの作成を通じて学外実習のイメージを具現化する（100分）</p> <p>学外実習（各実習施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①理学療法の対象者との関係性構築 ②チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割 ③理学療法プロセスの理解 ④対象者に対する理学療法実践 <ul style="list-style-type: none"> ・動作介助（誘導補助）技術 ・リスク管理技術 ・理学療法評価技術（検査・測定技術） <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、質問項目をまとめておくとともに、実習の内容について確認しておく（60分）</p> <p>事後学習：毎日、自ら経験したことを臨床実習指導者から説明を受けたことを基軸にし、自己の学びを整理してまとめていき、学習ポートフォリオに綴じて整理していく中で理解を深める（100分）</p> <p>事後学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凝縮ポートフォリオの作成 ・体験疾患リストの作成 ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、実習全体の体験内容を凝縮ポートフォリオ、体験疾患リストとしてまとめる。理学療法評価技術（関節可動域検査、形態測定、徒手筋力検査、感覚検査、脳神経検査、反射検査、筋緊張検査、片麻痺運動機能検査）を練習する（60分）</p> <p>事後学習：学習ポートフォリオで学外実習の内容を振り返り理解を深める（100分）</p>
テキスト	配布資料 臨床実習要綱
参考書・参考資料等	細田多穂他編：理学療法ハンドブック 改訂第4版 第4巻 疾患別・理学療法の臨床思考、協同医書出版、2010。
学生に対する評価	配分：事前学習で行われるOSCE 10%、事後学習で行われるOSCE 40%、ソーシャルスキル 30%、ポートフォリオ 20%とする。 （事前学習・学外実習・事後学習の参加をもって評価します。）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月～金曜の午前9時～午後5時
備考	【実務経験について】 病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。 理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	7	【必修】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
実習		031504P3P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	指導者の指導・監督のもとで治療の一部を体験し、その有効性などについて言及することを目的とする。
授業の概要	対象者の評価に基づいて問題点の抽出、治療目標の設定、治療プログラムの作成、治療の実施を含めた総合的な実習を行う。また、単なる疾病や外傷の治癒にとらわれることなく、代償機能の活用や各種環境調整等多面的なアプローチの可能性について考察するように心がける。
授業計画	<p>事前学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：臨床実習要綱を読み学外実習の内容について理解を深めておく。また、理学療法治療技術を練習する（60分）</p> <p>事後学習：オリエンテーションの内容を振り返るとともに臨床実習要綱を熟読し、学生個人ポートフォリオの作成を通じて学外実習のイメージを具現化する（100分）</p> <p>ion：OSCE）</p> <p>学外実習（各実習施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①理学療法の対象者との関係性構築 ②チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割 ③理学療法プロセスの理解 ④対象者に対する理学療法実践 <ul style="list-style-type: none"> ・動作介助（誘導補助）技術 ・リスク管理技術 ・理学療法評価技術（検査・測定技術） ・理学療法治療技術） <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、質問項目をまとめておくとともに、実習の内容について確認しておく（60分）</p> <p>事後学習：毎日、自ら経験したと臨床実習指導者から説明を受けたことを基軸にし、自己の学びを整理してまとめていき、学習ポートフォリオに綴じて整理していく中で理解を深める（100分）</p> <p>事後学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凝縮ポートフォリオの作成 ・体験疾患リストの作成 ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、実習全体の体験内容を凝縮ポートフォリオ、体験疾患リストとしてまとめる。理学療法治療技術を練習する（60分）</p> <p>事後学習：学習ポートフォリオで学外実習の内容を振り返り理解を深める（100分）</p>
テキスト	配布資料 臨床実習要綱
参考書・参考資料等	細田多穂他編：理学療法ハンドブック 改訂第4版 第4巻 疾患別・理学療法の臨床思考、協同医書出版、2010。
学生に対する評価	配分：事前学習で行われるOSCE 10%、事後学習で行われるOSCE 40%、ソーシャルスキル 30%、ポートフォリオ 20%とする。 （事前学習・学外実習・事後学習の参加をもって評価します。）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月～金曜の午前9時～午後5時
備考	【実務経験について】 病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。 理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	8	【必修】理学
担当教員			
堀 秀昭・藤本 昭・近藤 仁・村田 寛一郎・東 伸英・菅野 智也・藤田 和樹・菅原 慎弥・相良 絵利華・齊木 理友・野村 友美・栗田 梨渚			
実習		031505P4P	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	指導者の指導・監督のもとで治療の一部を体験し、その有効性などについて言及することを目的とする。
授業の概要	対象者の評価に基づいて問題点の抽出、治療目標の設定、治療プログラムの作成、治療の実施を含めた総合的な実習を行う。また、単なる疾病や外傷の治癒にとらわれることなく、代償機能の活用や各種環境調整等多面的なアプローチの可能性について考察するように心がける。
授業計画	<p>事前学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：臨床実習要綱を読み学外実習の内容について理解を深めておく。また、理学療法治療技術を練習する。（60分）</p> <p>事後学習：オリエンテーションの内容を振り返るとともに臨床実習要綱を熟読し、学生個人ポートフォリオの作成を通じて学外実習のイメージを具現化する（100分）</p> <p>学外実習（各実習施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①理学療法の対象者との関係性構築 ②チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割 ③理学療法プロセスの理解 ④対象者に対する理学療法実践 <ul style="list-style-type: none"> ・動作介助（誘導補助）技術 ・リスク管理技術 ・理学療法評価技術（検査・測定技術） ・理学療法治療技術） <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、質問項目をまとめておくとともに、実習の内容について確認しておく（60分）</p> <p>事後学習：毎日、自ら経験したことを臨床実習指導者から説明を受けたことを基軸にし、自己の学びを整理してまとめていき、学習ポートフォリオに綴じて整理していく中で理解を深める（100分）</p> <p>事後学習（学内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凝縮ポートフォリオの作成 ・体験疾患リストの作成 ・客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：OSCE） <p>事前学習：学習ポートフォリオを振り返り、実習全体の体験内容を凝縮ポートフォリオ、体験疾患リストとしてまとめる。理学療法治療技術を練習する（60分）</p> <p>事後学習：学習ポートフォリオで学外実習の内容を振り返り理解を深める（100分）</p>
テキスト	配布資料 臨床実習要綱
参考書・参考資料等	細田多穂他編：理学療法ハンドブック 改訂第4版 第4巻 疾患別・理学療法の臨床思考, 協同医書出版, 2010.
学生に対する評価	配分：事前学習で行われるOSCE 10%、事後学習で行われるOSCE 40%、ソーシャルスキル 30%、ポートフォリオ 20%とする。 (事前学習・学外実習・事後学習の参加をもって評価します。)
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月～金曜の午前9時～午後5時
備考	【実務経験について】 病院での急性期病棟等で勤務した経験を基に、当講義を進める。 理学療法士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【自由】理学
担当教員			
片岡 雅彦			
講義	A T対象科目	077001L3A	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	<p>1 社会や人間にとってスポーツがどのような意義と価値をもっているかを認識し、我が国におけるスポーツ振興の方法論を論及する。</p> <p>2 現代におけるスポーツの自治、紛争、倫理について、現状を把握し、問題点等の諸課題を事案を通してどのように解決しているのかを理解する。</p> <p>3 時代をリードするコーチングについて、様々な環境に応じたコーチングがなされている。時代に応じたコーチングとはどのようなコーチングが求められるか理解する。</p> <p>4 スポーツ組織の経営的な意味と価値、その機能などについての基礎的な理解を得る。</p> <p>5 障がい者について理解するとともに、障がい者がスポーツをする現状と課題を理解し、障がい者スポーツの制度、組織について理解する。</p>
授業の概要	<p>現代社会における人々の生活とスポーツはあらゆる側面で深く関係している。そしてその関与の仕方は多様である。「スポーツとは何か」についての定義づけを明確にし、スポーツ発展の経緯と現代スポーツの考え方（社会環境の変化とスポーツを取り巻く環境）について理解を深める。現代スポーツの考え方を明らかにし、スポーツを文化として捉えることの重要性について理解を深め、スポーツ技術・戦術以外のスポーツの文化的内容であるスポーツ観及びスポーツ規範の重要性について学習する。</p>
授業計画	<p>第1回 スポーツの意義と価値について説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第2回 スポーツの文化的特性について説明できる。「スポーツ宣言日本」、オリンピズムにおけるスポーツの意義と価値を捉えることができる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第3回 スポーツの自治—ガバナンスとコンプライアンス—について説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第4回 暴力・ハラスメントについて説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第5回 スポーツのインテグリティについて説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第6回 スポーツ事故における指導者の法的責任やスポーツ仲裁、倫理について説明できる。時代をリードするコーチングについて説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第7回 様々なコーチング環境（ジュニア期、年齢区分、至適年齢、遺伝、運動部活動）におけるコーチングの留意点について説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第8回 中高年者へのコーチング、性別を考慮したコーチングについて説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第9回 多様な文化的背景を考慮したコーチングについて説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第10回 ハイパフォーマンススポーツやそのコーチングについて説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第11回 スポーツ組織のマネジメントについて説明できる。 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第12回 地域におけるスポーツクラブ「スポーツ少年団」の組織について説明できる。</p>

	<p>事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第13回 スポーツ組織の特性について説明できる。</p> <p>事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第14回 障がい者・障がいの理解と、障がい者のスポーツの現状と課題について説明できる。</p> <p>事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>第15回 障がい者のスポーツ指導者制度、指導者の育成について説明できる。（公財）日本障がい者スポーツ協会のビジョンについて説明できる。</p> <p>事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）</p> <p>定期試験</p>
テキスト	リファレンスブック 公益財団法人 日本スポーツ協会 発行
参考書・参考資料等	公認アスレティックトレーナー専門科目 必要に応じて資料を配布する
学生に対する評価	筆記試験70%、毎時の簡易レポート30%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【自由】理学
担当教員			
佐伯 聡史			
講義	A T対象科目	077002L1A	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	体力の概念をはじめ、トレーニングに関する基礎知識を学び、トレーニングの原理、方法について理解する。
授業の概要	<p>講義はまずトレーニング科学に関わる正しい理解のための原理原則を学ぶ。 トレーニングの方法は多様である。競技スポーツ、発達発育期、中高年など年齢別、目的別、性別、体力水準、経験別に検討されなければならない。したがって多様化したトレーニング理論はその人の身体能力や運動能力を始め、心理的能力、社会的など多面的な情報を基にプログラミングされる。 また、それぞれのトレーニング方法を指導する際に、目的や強化される部位についての的確に示すことができ、正確な方法を指導できる力を身につけることである。立案されたトレーニング計画を実際に実施していくには、トレーニング環境、トレーニング負荷の増減、トレーニングに伴う疲労の問題など様々な問題があることを理解し、それらに対処する能力を養う。 ※日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替</p>
授業計画	<p>第1回 トレーニングの基本的な考え方と理論体系について理解する。 (テキスト P. 132-139) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第2回 トレーニング計画論について理解する。 (テキスト P. 139-152) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第3回 トレーニングと休養、および、体力トレーニングの基礎について理解する。 (テキスト P. 157-164) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第4回 骨格筋と、運動のためのエネルギー供給機構について理解する。 (テキスト P. 164-174) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第5回 体力トレーニングの原理原則について理解する。 (テキスト P. 174-184) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第6回 体力トレーニングの分類について理解する。 (テキスト P. 184-191) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第7回 スキルトレーニングについて理解する。 (テキスト P. 192-199) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間)</p> <p>第8回 バイオメカニクスについて理解する。 (テキスト P. 200-202) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う (2時間) 定期試験</p>

	(
テキスト	・日本スポーツ協会 Reference Book
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	定期試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【自由】理学
担当教員			
近藤 仁			
講義	A T対象科目	077003L1A	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSP0-AT）の役割・業務と専門性や、業務を遂行する上で必要となる多様な素養の位置づけを理解し、持続的に学び関係職種との連携を推進するための知識と態度の習得を目標とする。
授業の概要	授業到達の目標を次のようにあげる。 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度におけるアスレティックトレーナーの位置づけを理解し、その必要性や役割を説明できる。 教育課程とカリキュラム構成、求められる知識や考え方、技能、国内外の関連資格の歴史や制度、役割について説明できる。
授業計画	<p>第1回 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSP0-AT）の役割と資格制度 事前学習：テキスト①p2～p15を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第2回 JSP0-ATの教育、歴史、関連資格 事前学習：テキスト①p16～p39を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第3回 安全・健康管理、スポーツ外傷・障害の予防、救急対応 事前学習：テキスト①p40～p43、p50～p53を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第4回 コンディショニング、リコンディショニング 事前学習：テキスト①p44～p49を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第5回 JSP0-ATとしての倫理と責任、法的諸問題、リスクマネジメント 事前学習：テキスト①p54～p73を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第6回 JSP0-ATの活動環境と職域 事前学習：テキスト①p74～p87を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第7回 JSP0-ATの健康管理 事前学習：テキスト①p88～p95を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第8回 感染症対策、メンタルヘルス 事前学習：テキスト①p96～p111を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第9回 スポーツ医・科学チームスタッフ、スポーツドクター 事前学習：テキスト①p112～p118を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第10回 スポーツデンティスト、スポーツ栄養士、スポーツファーマシスト、スポーツ指導者 事前学習：テキスト①p119～p133を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第11回 関係者とのコミュニケーション 事前学習：テキスト①p176～p198を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第12回 対象者とのコミュニケーション 事前学習：テキスト①p199～p213を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第13回 エビデンスと学術活動 事前学習：テキスト①p134～p140を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第14回 学術活動と研究 事前学習：テキスト①p141～p145を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）</p> <p>第15回 JSP0-ATの研究と生涯教育 事前学習：テキスト①p146～p175を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分） 定期試験</p>
テキスト	①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1巻 アスレティックトレーナーの役割、2022 ②古賀英之，他：予防に導くスポーツ整形外科。文光堂，2019

参考書・参考資料等	公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック，2019
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義前後に対応する
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 医療機関での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	3	【自由】理学
担当教員			
菅原慎弥			
演習	AT		
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの役割における「コンディショニング」の位置づけを理解した上で、科学的根拠に基づいた予防対応を組織的に計画し実践するために必要な知識、態度や技能を習得することをねらいとする。
授業の概要	対象者のパフォーマンス発揮に必要な要因を分析し、目標を達成するために現状と目標値の差を最小化するための支援を安全かつ効果的に行うための知識、技能、態度を習得することをねらいとする。具体的な目標を次のようにあげる。 コンディショニングの計画立案と実践に必要な知識をもとに、安全かつ効果的に対象者のコンディショニング支援を行うための環境整備およびコンディショニング計画と実践ができるようになることをねらいとする。
授業計画	<p>第1回 JSP0-ATの役割としてのコンディショニング 事前学習：テキスト①p2～p6を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第2回 コンディショニングにおける基礎知識 事前学習：テキスト①p7～p15を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第3回 コンディショニングプログラム 事前学習：テキスト①p16～p29を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第4回 トレーニング負荷のモニタリング 事前学習：テキスト①p30～p36を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第5回 ウォーミングアップとリカバリー① 事前学習：テキスト①p37～p41を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第6回 ウォーミングアップとリカバリー② 事前学習：テキスト①p42～p48を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第7回 競技特性の運動生理学的、バイオメカニクスの分析① 事前学習：テキスト①p49～p51を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第8回 競技特性の運動生理学的、バイオメカニクスの分析② 事前学習：テキスト①p49～p51を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第9回 競技特性の運動生理学的、バイオメカニクスの分析③ 事前学習：テキスト①p52～p55を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第10回 競技特性の運動生理学的、バイオメカニクスの分析④ 事前学習：テキスト①p52～p55を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第11回 競技特性分析の例① 事前学習：テキスト①p56～p58を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第12回 競技特性分析の例② 事前学習：テキスト①p59～p61を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第13回 分析した結果の活用① 事前学習：テキスト①p62～p63を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第14回 分析した結果の活用② 事前学習：テキスト①p64～p66を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第15回 基本動作・専門動作の習得(運動連鎖の考え方) 事前学習：テキスト①p67～p72を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第16回 ストレングストレーニング① 事前学習：テキスト①p73～p75を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第17回 ストレングストレーニング② 事前学習：テキスト①p76～p80を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>

第18回	<p>ストレングストレーニング③</p> <p>事前学習：テキスト①p81～p86を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第19回	<p>スプリントトレーニング①</p> <p>事前学習：テキスト①p87～p92を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第20回	<p>スプリントトレーニング②</p> <p>事前学習：テキスト①p93～p99を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第21回	<p>スプリントトレーニング③</p> <p>事前学習：テキスト①p100～p102を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第22回	<p>アジリテイトトレーニング①</p> <p>事前学習：テキスト①p103～p105を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第23回	<p>アジリテイトトレーニング②</p> <p>事前学習：テキスト①p106～p111を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第24回	<p>アジリテイトトレーニング③</p> <p>事前学習：テキスト①p112～p115を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第25回	<p>エンデュランストレーニング①</p> <p>事前学習：テキスト①p116～p121を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第26回	<p>エンデュランストレーニング②</p> <p>事前学習：テキスト①p122～p125を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第27回	<p>エンデュランストレーニング③</p> <p>事前学習：テキスト①p126～p131を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第28回	<p>バランストレーニング/神経一筋協調性トレーニング①</p> <p>事前学習：テキスト①p132～p136を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第29回	<p>バランストレーニング/神経一筋協調性トレーニング②</p> <p>事前学習：テキスト①p137～p139を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第30回	<p>バランストレーニング/神経一筋協調性トレーニング③</p> <p>事前学習：テキスト①p140～p144を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第31回	<p>ストレッチング①</p> <p>事前学習：テキスト①p145～p148を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第32回	<p>ストレッチング②</p> <p>事前学習：テキスト①p148～p153を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第33回	<p>外的環境への対応①</p> <p>事前学習：テキスト①p156～p162を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第34回	<p>外的環境への対応②</p> <p>事前学習：テキスト①p163～p168を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第35回	<p>女性アスリートの特性</p> <p>事前学習：テキスト①p169～p174を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第36回	<p>成長期の特性①</p> <p>事前学習：テキスト①p175～p180を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第37回	<p>成長期の特性②</p> <p>事前学習：テキスト①p181～p187を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第38回	<p>成長期の特性③</p> <p>事前学習：テキスト①p188～p192を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第39回	<p>高齢者の特徴①</p> <p>事前学習：テキスト①p193～p195を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第40回	<p>高齢者の特徴②</p> <p>事前学習：テキスト①p196～p198を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第41回	<p>高齢者の特徴③</p> <p>事前学習：テキスト①p199～p200を読んでおく。(時間30分)</p> <p>事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>
第42回	<p>障がい者</p> <p>事前学習：テキスト①p201～p205を読んでおく。(時間30分)</p>

	<p>第43回 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分) 減量、増量① 事前学習：テキスト①p206～p209を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第44回 減量、増量② 事前学習：テキスト①p210～p212を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第45回 ICTおよび各種テクノロジーを活用したコンディショニング事例 事前学習：テキスト①p213～p217を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>定期試験</p>
テキスト	①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第3巻 コンディショニング2022
参考書・参考資料等	①公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック、2019
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	2	【必須】AT
担当教員			
近藤 仁			
演習	AT		
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSP0-AT）の役割における「リコンディショニング」の位置づけを理解したうえで、これらに必要な知識、態度や技能を習得することを目標とする。		
授業の概要	授業到達の具体的な目標を次のようにあげる。 リコンディショニングの目的や内容の概要について説明できる。また、リコンディショニングで用いる代表的な手法について理解し、対象者に応じて安全で効果的な方法を選択し、リコンディショニングプログラムを計画と実践ができるようになることをねらいとする。		
授業計画	第1回	リコンディショニングの概要、過程と内容 事前学習：テキスト①p2～p11を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第2回	リコンディショニングで用いる代表的な手法（エクササイズ、徒手的アプローチ） 事前学習：テキスト①p12～p14, p35～p39を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第3回	リコンディショニングで用いる代表的な手法（テーピング、インソール、ブレース） 事前学習：テキスト①p15～p24を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第4回	リコンディショニングで用いる代表的な手法（物理的刺激） 事前学習：テキスト①p25～p34を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第5回	リコンディショニングにおける評価とプログラミング 事前学習：テキスト①p40～p49を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第6回	機能的問題に応じた評価と対応（バランス機能） 事前学習：テキスト①p81～p88を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第7回	機能的問題に応じた評価と対応（全身持久力） 事前学習：テキスト①p89～p94を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第8回	機能的問題に応じた評価と対応（姿勢、アライメント） 事前学習：テキスト①p95～p102を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第9回	機能的問題に応じた評価と対応（筋力、体重管理） 事前学習：テキスト①p62～p69, p103～p107を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第10回	機能的問題に応じた評価と対応（スポーツ動作） 事前学習：テキスト①p109～p117を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第11回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（頭頸部） 事前学習：テキスト①p118～p127を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第12回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（胸部） 事前学習：テキスト①p128～p151を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第13回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（腰部） 事前学習：テキスト①p135～p151を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第14回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（肩） 事前学習：テキスト①p152～p165を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第15回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（肘・前腕） 事前学習：テキスト①p166～p175を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第16回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（手関節・手） 事前学習：テキスト①p176～p183を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第17回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（骨盤帯・股関節） 事前学習：テキスト①p184～p191を読んでおく。（30分） 事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。（30分）	
	第18回	部位別の状態に応じたリコンディショニング（大腿部） 事前学習：テキスト①p192～p203を読んでおく。（30分）	

	<p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第19回 部位別の状態に応じたリコンディショニング(膝関節)</p> <p>事前学習：テキスト①p204～p222を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第20回 部位別の状態に応じたリコンディショニング(下腿部)</p> <p>事前学習：テキスト①p223～p232を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第21回 部位別の状態に応じたリコンディショニング(足関節・足部)</p> <p>事前学習：テキスト①p233～p248を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第22回 部位別の状態に応じたリコンディショニング(パラスポーツプレーヤー)</p> <p>事前学習：テキスト①p249～p255を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第23回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(走動作)</p> <p>事前学習：テキスト① p256～p266を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第24回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(跳動作)</p> <p>事前学習：テキスト① p267～p271を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第25回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(方向転換)</p> <p>事前学習：テキスト① p272～p278を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第26回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(投球動作)</p> <p>事前学習：テキスト① p279～p286を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第27回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(打撃動作)</p> <p>事前学習：テキスト① p287～p291を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第28回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(泳動作)</p> <p>事前学習：テキスト① p292～p298を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第29回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(あたり動作)</p> <p>事前学習：テキスト① p299～p304を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>第30回 スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング(滑走動作)</p> <p>事前学習：テキスト① p305～p310を読んでおく。(30分)</p> <p>事後学習：テキストで講義内容を振り返り理解を深める。(30分)</p> <p>定期試験</p>
テキスト	<p>①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第4巻 リコンディショニング、2022</p> <p>②青木治人・清水邦明・鈴木仁人：スポーツリハビリテーションの臨床、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2019</p> <p>③対馬栄輝：運動療法学、メジカルビュー社、2020</p> <p>④鈴木重行：IDストレッチング、三輪書店、2007</p>
参考書・参考資料等	<p>①公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック、2019</p> <p>②加藤浩：運動器障害理学療法学、メジカルビュー社、2020</p>
学生に対する評価	筆記試験100%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	<p>※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替</p> <p>病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	1	【必須】AT
担当教員			
菅野 智也			
演習	AT		
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	スポーツ現場における外傷・傷害の対応について説明・実践でき、競技特性を考慮した救急体制構築や緊急時対応計画の立案に必要な要素、具体的な立案方法について説明・実践できる。
授業の概要	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの役割における「救急対応」の位置づけを理解したうえで、医療資格保持者へ引き継ぐためにできる最高レベルの救急対応の実践的な知識、態度や技術を習得することをねらいとする。合わせて、スポーツ活動現場における救急対応の特性と意義を理解することをねらいとする。 具体的な目標を次のようにあげる。 スポーツ現場における外傷・傷害の対応について説明・実践でき、競技特性を考慮した救急体制構築や緊急時対応計画の立案に必要な要素、具体的な立案方法について説明・実践できる。
授業計画	<p>第1回 各部位のRICE処置の実践 事前学習：テキストp57～p66を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第2回 骨折・脱臼の病態と医学的留意事項・救急対応の意義について 事前学習：テキストp67～p71を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第3回 骨折・脱臼の救急対応としての固定処置について 事前学習：テキストp71～p77を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第4回 骨折・脱臼の救急対応としての固定処置の実践① 事前学習：テキストp71～p77を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第5回 骨折・脱臼の救急対応としての固定処置の実践② 事前学習：テキストp71～p77を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第6回 脳震盪の救急対応について 事前学習：テキストp78～p89を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第7回 頭部・頸部・脊椎における重傷外傷の病態と医学的留意事項・救急対応の意義について 事前学習：テキストp90～p96を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第8回 頭部・頸部・脊椎における重傷外傷の救急対応の実践 事前学習：テキストp96～p108を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第9回 特殊な外傷の救急対応について 事前学習：テキストp109～p121を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第10回 陸上競技、ラグビーにおける救急対応について 事前学習：テキストp164～p173を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第11回 サッカー、アメリカンフットボール、野球・ソフトボールにおける救急対応について 事前学習：テキストp174～p188を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第12回 バレーボール、バスケットボール、体操、柔道における救急対応について 事前学習：テキストp189～p208を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第13回 バドミントン、テニス、ゴルフにおける救急対応について 事前学習：テキストp209～p223を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第14回 スキー、スケート、アイスホッケー、水泳における救急対応について 事前学習：テキストp224～p245を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第15回 ライフセービング、ウエイトトレーニング、障がい者スポーツにおける救急対応について 事前学習：テキストp246～p261を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>定期試験</p>
テキスト	①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第5巻 救急対応、2022
参考書・参考資料等	①公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック、2019

学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく。

講義科目名称： 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 授業コード：
防

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	3	【必須】AT
担当教員			
東 伸英			
演習	AT		
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの役割における「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」の位置づけを理解した上で、科学的根拠に基づいた予防対応を組織的に計画し実践するために必要な知識、態度や技能を習得することをねらいとする。
授業の概要	科学的根拠に基づいた予防対応を組織的に計画し実践するために必要な知識、態度を習得することをねらいとする。具体的な目標を次のようにあげる。 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防の目的や意義およびアスレティックトレーナーとして果たすべき役割について説明できる。 スポーツ外傷・障害の予防の概念や発生要因について理解し、科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害の予防を計画し実践できる。 対象者の基本データを収集する目的や意義について理解し、根拠となる各種評価を組織的に計画し実践できる。
授業計画	<p>第1回 スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 事前学習：テキスト①p1～p10を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第2回 スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の事態 事前学習：テキスト①p11～p22を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第3回 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 事前学習：テキスト①p23～p34を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第4回 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSP0-ATの役割① 事前学習：テキスト①p35～p38を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第5回 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSP0-ATの役割② 事前学習：テキスト①p39～p54を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第6回 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSP0-ATの役割③ 事前学習：テキスト①p55～p59を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第7回 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSP0-ATの役割④ 事前学習：テキスト①p60～p70を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第8回 健康管理① 事前学習：テキスト①p71～p76を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第9回 健康管理② 事前学習：テキスト①p77～p82を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第10回 スポーツ外傷・障害の予防① 事前学習：テキスト①p83～p86を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第11回 スポーツ外傷・障害の予防② 事前学習：テキスト①p87～p97を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第12回 スポーツ外傷・障害の予防③ 事前学習：テキスト①p97～p103を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第13回 スポーツ外傷・障害の予防④ 事前学習：テキスト①p104～p108を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第14回 スポーツ外傷・障害の予防⑤ 事前学習：テキスト①p109～p114を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第15回 スポーツ外傷・障害の予防⑥ 事前学習：テキスト①p115～p125を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p> <p>第16回 スポーツ外傷・障害の予防⑦ 事前学習：テキスト①p125～p135を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)</p>

第42回	事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因・対応⑮
第43回	事前学習：テキスト①p329～p339を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因・対応⑯
第44回	事前学習：テキスト①p339～p347を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因・対応⑰
第45回	事前学習：テキスト①p347～p359を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因・対応⑱
定期試験	事前学習：テキスト①p359～p370を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノートおよび配布資料に整理する。(時間30分)
テキスト	①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第2巻 安全・健康管理 およびスポーツ外傷・障害の予防、2022 ②配布資料
参考書・参考資料等	①公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック、2019
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく。

講義科目名称： 現場実習 I（見学）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1	1	【必須】AT
担当教員			
近藤仁, 東伸英, 菅野智也, 菅原慎弥			
実習	AT		
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSP0-AT）の役割（コンピテンシー・業務）についてスポーツ現場等で学ぶ機会を提供し、JSP0-ATのコンピテンシーの習得に必要な技能を身につけることをねらいとする。
授業の概要	本実習の目的は、学内での講義・演習を通して学んだ知識・技術を実際の現場で応用することである。具体的な目標を次のようにあげる。 ①アスレティックトレーナーまたはメディカルスタッフとしての態度、資質、行動を自覚させこれを育てる。 ②専門職につく一人としての協調性および独自性を養い、アスレティックリハビリテーションにおけるチームアプローチを理解する。 ③現場におけるアスレティックトレーナー活動の見学を通し学内で修得した知識や技術を統合させ、応用力を育てる。
授業計画	実習時間 30時間 実習先：公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが所属している医療機関および実習先に指定している高等学校、大学、社会人のチーム
テキスト	①公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック、2019 ②公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1巻 アスレティックトレーナーの役割、2022 ③公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第2巻 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防、2022 ④公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第3巻 コンディショニング、2022 ⑤公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第4巻 リコンディショニング、2022 ⑥公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第5巻 救急対応、2022 ⑦公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻 検査・測定と評価、2022
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	レポート試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	実習中および実習終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく

講義科目名称： 現場実習Ⅱ（総合）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2-3	5	【必須】AT
担当教員			
近藤仁, 東伸英, 菅野智也, 菅原慎弥			
実習	AT		
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSP0-AT）の役割（コンピテンシー・業務）についてスポーツ現場等で学ぶ機会を提供し、JSP0-ATのコンピテンシーの習得に必要な技能を身につけることをねらいとする。
授業の概要	本実習の目的は、学内での講義・演習、現場実習Ⅰ（見学）を通して学んだ知識・技術を実際の現場で応用することである。具体的な目標を次のようにあげる。 ①アスレティックリハビリテーションを実施する上での検査・測定と評価を実施し、統合と解釈を行い、問題点の抽出を行う。 ②アスレティックリハビリテーションプログラムを作成・実施し、その整合性や有効性について考え、応用力を育てる。 ③①②を総合的に理解し、ゴール設定について考えることができる。
授業計画	実習時間 150時間 実習先：公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが所属している医療機関および実習先に指定している高等学校、大学、社会人のチーム
テキスト	①公益財団法人日本スポーツ協会：リファレンスブック、2019 ②公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1巻 アスレティックトレーナーの役割、2022 ③公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第2巻 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防、2022 ④公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第3巻 コンディショニング、2022 ⑤公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第4巻 リコンディショニング、2022 ⑥公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第5巻 救急対応、2022 ⑦公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻 検査・測定と評価、2022
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	レポート試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	実習中および実習終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく。